

令和二年度

# 果物の消費に関するアンケート調査報告書

令和3年2月

公益財団法人中央果実協会

# はしがき

国民の健康増進と生活習慣病予防等を目的に文部省、厚生省(当時)及び農林水産省が連携して策定した食生活指針の具体的な推進を図るため、1日当たりの各食品の適正な摂取量の目安が「食事バランスガイド」(厚生労働省と農林水産省が合同で策定)で示されています。この中で、果物は1日200gの摂取が目標となっていますが、現状ではその半分程度にとどまっています。

また、果物の消費に関して、消費者はもっと増やしたいという意向があるものの、こうした意向が実際の購買行動につながっていないのが現状です。

一方、単身世帯や夫婦のみの世帯の増加、世帯員数の減少などの世帯構成の変化、食の外部化、簡便化の進行、安全志向、健康志向の高まり等、果物消費を取り巻く社会経済情勢が大きく変化しています。さらに、今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、外食が減少する一方で、在宅勤務や料理宅配サービスの充実などにより家庭での食事が増加するなど、食を巡る状況が大きく変わった年となりました。

このため、令和2年度においては、経年で調査を行っている果物の摂取状況、摂取意向・意識及び「毎日くだもの200グラム運動」の周知状況等について調査を行うとともに、新型コロナウイルス感染拡大に関連した調査を行い、今後の果物の消費拡大のための基礎資料とすることにしました。

本書が、果物の消費拡大や我が国の果樹農業の発展のため、関係の皆様幅広く活用していただければ幸いです。

令和3年2月

公益財団法人 中央果実協会  
理事長 村上秀徳



## 1. アンケート調査の実施概要

【1】調査目的	… …	6
【2】本調査で把握すべきこと	… …	6
【3】調査方法	… …	6
【4】本調査における言葉の定義	… …	7
【5】調査項目	… …	7
【6】回答者プロフィール	… …	9
【7】分析軸について	… …	10

## 2. アンケート調査の分析結果

### (1) 日常の果物の消費行動

①果物の摂取量（一日平均）	… …	14
②-1 果物の摂取量（一日平均）が現状である理由	… …	15
②-2 果物の摂取量（一日平均）が現状である理由	… …	16
③果物の購入頻度	… …	17
④果物の摂取頻度	… …	18
⑤-1 果物の摂取時間帯（摂取場面）	… …	19
⑤-2 果物の摂取時間帯（摂取場面）	… …	20
⑥-1 果物の摂取理由	… …	21
⑥-2 果物の摂取理由	… …	22
⑦-1 果物を毎日は摂らない理由	… …	23
⑦-2 果物を毎日は摂らない理由	… …	24
⑧果物の摂取方法	… …	25
⑨果物の摂取を増加できると思う方法	… …	26
⑩果物のイメージ	… …	27
⑪果物のカテゴリー認識	… …	31
まとめ	… …	32

### (2) 今後の果物の摂取意向

①今後の果物の摂取量の変化	… …	34
②果物の消費量を増やすための提供方法	… …	35
まとめ	… …	37

### (3) 果樹振興法14品目について

①-1 果樹振興法14品目の喫食	… …	39
①-2 果樹振興法14品目の喫食（月1回以上喫食）	… …	40
②果樹振興法14品目のうち増やしたいもの	… …	41
まとめ	… …	42

（４）果物消費拡大施策について	
①果物購入時の希望情報	… … 44
②－１果物消費拡大施策の認知	… … 45
②－２果物消費拡大施策の認知（認知計）	… … 46
②－３果物消費拡大施策の認知（認知別の果物摂取量）	… … 47
まとめ	… … 48
（５）コロナウィルス感染症の果物消費への影響	
①新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化	… … 50
②摂取量増加者の増加理由	… … 51
③摂取量が増加した品目	… … 52
④摂取の増加量	… … 53
⑤摂取量減少者の減少理由	… … 54
⑥－１果物以外で摂取が増えた食品	… … 55
⑥－２果物以外で摂取が減った食品	… … 56
まとめ	… … 57
３．調査のまとめ	… … 60
４．調査票（調査画面）	… … 65

## 1. アンケート調査の実施概要

## アンケート調査の実施概要

### 【1】調査目的

全国の消費者を対象にアンケート調査を行い、今後のくだものの消費拡大方策について検討を行うための基礎資料とする。

なお、本調査は、株式会社読売広告社へ委託して実施した。

### 【2】本調査で把握すべきこと

- 消費者の果物摂取の現状
- 今後の果物の摂取意向
- 果物を摂取できている人の現状
- 果物購入行動
- コロナウィルスの影響

### 【3】調査方法

#### (1) 調査客体

全国2,000名を以下性別・年齢の割付により抽出した。

- 調査地域：全国
- 調査対象：満20歳以上70歳未満の男女個人
- 集計・分析者数：合計2,000名
- 抽出方法：平成27年度国勢調査の調査対象都府県ごとの人口構成比に合わせて、性・年齢別に割付を行い、無作為抽出する。

#### (2) 調査方法

インターネット調査

#### (3) 調査期間

令和2年10月30日（金）～11月5日（木）

#### (4) 回収状況

有効票 合計：2,000サンプル

#### 【4】本調査における言葉の定義

本調査において『果物』とは、「生鮮果物」に「果物加工品」を含めたものを指す。「生鮮果物」及び「果物加工品」の主な例は下記の通り。

- 「生鮮果物」の主な例：温州（うんしゅう）みかん、オレンジ、グレープフルーツ、その他かんきつ類（いよかん、はっさく等）、りんご、ぶどう、日本なし、西洋なし（ラ・フランス等）、もも、おうとう（さくらんぼ）、びわ、柿、栗、うめ、すもも、キウイフルーツ、パインアップル、いちじく、バナナ、いちご、すいか、メロン
- 「果物加工品」の主な例：果汁（ジュース）、果物缶詰、カットフルーツ、ジャム類（フルーツジャム）、ドライフルーツ、フルーツゼリー、フルーツヨーグルト、フルーツケーキ  
※なお、果汁（ジュース）については、果汁100%のものに限る（果物分10%以上を含む）。

また、単数選択は（SA）、複数選択は（MA）と表示した。

#### 【5】調査項目

（1）日常の果物の消費行動

- ①果物の摂取量（一日平均）
- ②果物の摂取量（一日平均）が現状である理由
- ③果物の購入頻度
- ④果物の摂取頻度
- ⑤果物の摂取時間帯（摂取場面）
- ⑥果物の摂取理由
- ⑦果物を毎日は摂らない理由
- ⑧果物の摂取方法
- ⑨果物の摂取を増加できると思う方法
- ⑩果物のイメージ
- ⑪果物のカテゴリー認識



## 1. アンケート調査の実施概要

### (2) 今後の果物の摂取意向

- ①今後の果物の摂取量の変化
- ②果物の消費量を増やすための提供方法

### (3) 果樹振興法14品目について

- ①果樹振興法14品目の喫食
- ②果樹振興法14品目のうち増やしたいもの

### (4) 果物消費拡大施策について

- ①果物購入時の希望情報
- ②果物消費拡大施策の認知

### (5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響

- ①新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化
- ②摂取量増加者の増加理由
- ③摂取量が増加した品目
- ④摂取の増加量
- ⑤摂取量減少者の減少理由
- ⑥果物以外で摂取が増えた食品
- ⑦果物以外で摂取が減った食品

1. アンケート調査の実施概要

【6】回答者プロフィール（構成割合：％）

<性別>		
	男性	女性
全体 (n=2,000)	50.1	50.0

<年齢>										
	20才 ～24才	25才 ～29才	30才 ～34才	35才 ～39才	40才 ～44才	45才 ～49才	50才 ～54才	55才 ～59才	60才以上	
全体 (n=2,000)	6.5	9.0	8.0	11.5	10.0	13.0	10.1	9.3	22.7	

<未既婚>		
	未婚	既婚
全体 (n=2,000)	47.2	52.8

<子供有無>		
	子供なし	子供あり
全体 (n=2,000)	54.5	45.6

<職業>												
	公務員	経営者 ・役員	会社員 (事務系)	会社員 (技術系)	会社員 (その他)	自営業	自由業	専業主婦 (主夫)	パート・アル バイト	学生	その他	無職
全体 (n=2,000)	0.4	1.8	16.2	12.1	13.5	5.4	2.2	17.2	12.6	4.1	3.6	11.2

<世帯年収>											
	200万未満	200～400万 未満	400～600万 未満	600～800万 未満	800～ 1000万未満	1000～ 1200万未満	1200～ 1500万未満	1500～ 2000万未満	2000万円 以上	わからない	無回答
全体 (n=2,000)	8.3	19.9	20.5	12.0	8.2	3.1	2.5	1.2	1.1	12.8	10.7

<個人年収>											
	200万未満	200～400万 未満	400～600万 未満	600～800万 未満	800～ 1000万未満	1000～ 1200万未満	1200～ 1500万未満	1500～ 2000万未満	2000万円 以上	わからない	無回答
全体 (n=2,000)	37.1	20.5	13.9	6.2	2.5	1.0	0.5	0.3	0.4	7.5	10.2

<居住地>													
	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	
全体 (n=2,000)	5.6	0.4	0.7	1.6	0.5	0.8	0.7	1.0	0.9	1.1	6.9	5.4	
	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	
	15.3	9.2	1.4	0.3	0.7	0.5	0.3	1.2	1.3	2.7	7.0	1.3	
	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	
	0.7	1.8	9.2	5.0	1.0	0.8	0.6	0.4	1.2	2.1	0.7	0.4	
	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県		
	0.8	0.9	0.5	3.6	0.3	0.8	0.7	0.4	0.6	1.2	0.4		

## 【7】分析軸について

すべての設問で分析するものは、

- 全体
- 性別
- 年代別
- 性別×年代別
- 果物摂取量別

→200g以上：Q 5で「300g以上」「250g～300g未満」「200g～250g未満」と回答した層

→100g～200g未満：Q 5で「150g～200g未満」「100g～150g未満」と回答した層

→100g未満：Q 5で「50g～100g未満」「50g未満」と回答した層

とする。

## 1. アンケート調査の実施概要



## (1) 日常の果物の消費行動

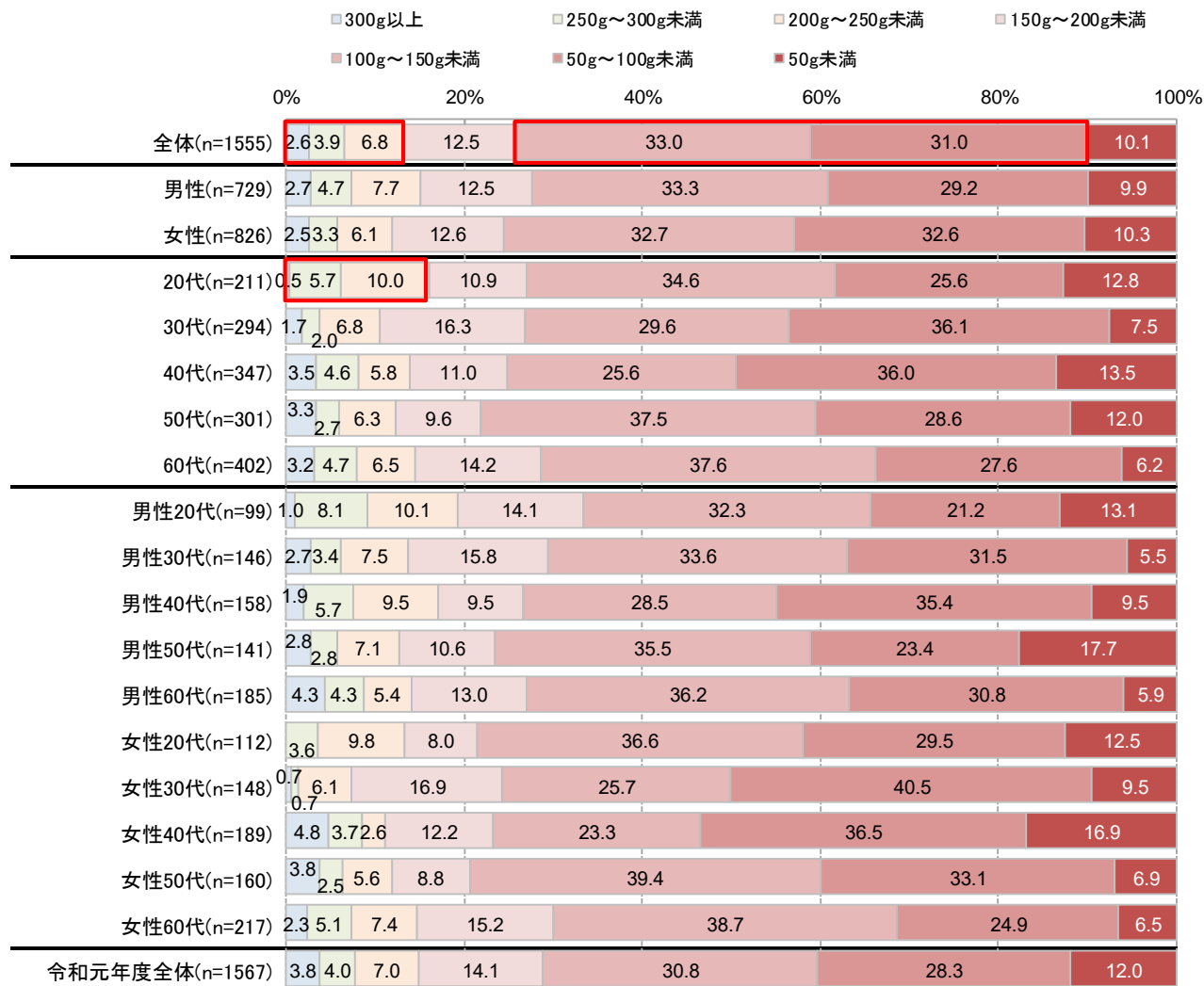
①果物の摂取量（一日平均） [果物月1回以上喫食層]

- 果物を一日平均200g以上摂取できている人は、全体では13.4%。
- 全体では「100g～150g未満」「50g～100g未満」の順に高く、これらを合わせた「50g～150g未満」で全体の6割超を占めている。
- 令和元年度結果と比較すると、一日平均200g以上摂取の割合は、やや減少した。
- 一日平均200g以上摂取できている割合を年代別で見ると、『20代』は他の層と比べて高めとなっている。

Q5. あなたが果物を食べる場合、一日あたりどの程度の量を食べていますか。

※果物100gの目安…りんごなら半分、みかんなら1個、バナナなら1本に相当。(SA)

※コメントで触れている箇所は



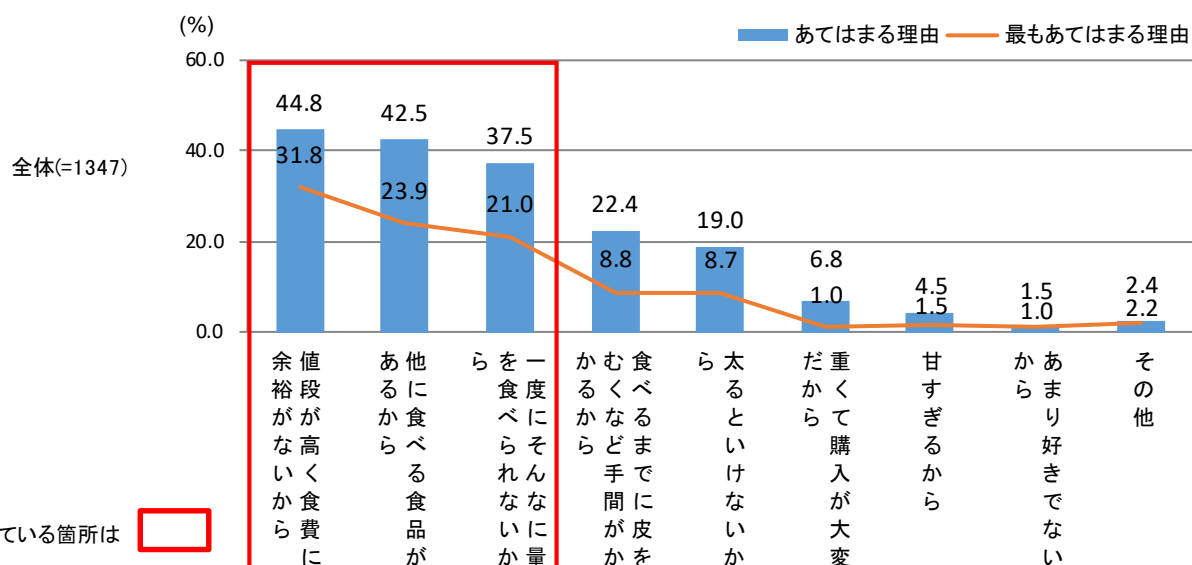
②-1 果物の摂取量(一日平均)が現状である理由 [1日摂取量200g未満層]

- あてはまる理由(複数回答)では、全体で「値段が高く食費に余裕がないから」が最も高い。次いで、「他に食べる食品があるから」「一度にそんなに量を食べられないから」が4割前後で続いており、3大理由を形成している。
- 令和元年度結果と比較すると、「値段が高く食費に余裕がないから」が増加する一方、「一度にそんなに量を食べられないから」が減少し、順位が入れ替わった。
- 年代別でみると、『20~40代』では「値段が高く食費に余裕がないから」の割合が、他の層と比べて高い。一方、『60代』では「他に食べる食品があるから」が5割半ば、「一度にそんなに量を食べられないから」が4割台後半で、ともに他の層と比べて高い。

Q7. 国では一日に【Q5の選択内容】よりも多く果物を食べることを推奨しています。

あなたが現状の果物摂取量にとどまっている理由をお教え下さい。(MA)

その中で最もあてはまる理由。(SA)



※コメントで触れている箇所は



あてはまる理由スコア (MA)

		全体 (n=1347)	44.8	42.5	37.5	22.4	19.0	6.8	4.5	1.5	2.4
性別	男性 (n=619)	37.5	45.6	35.5	21.2	14.2	3.7	2.9	1.8	2.6	
	女性 (n=728)	51.0	39.8	39.1	23.5	23.1	9.3	5.8	1.2	2.2	
年代	20代 (n=177)	54.8	35.6	33.3	25.4	11.3	7.9	2.8	1.7	1.7	
	30代 (n=263)	51.7	36.9	33.5	27.4	15.6	5.7	4.9	1.9	1.9	
	40代 (n=299)	52.5	35.5	33.4	20.4	17.7	9.4	4.0	2.7	2.3	
	50代 (n=264)	40.5	43.9	36.0	19.7	23.5	6.1	4.5	1.1	1.5	
	60代 (n=344)	30.8	55.2	47.4	20.9	23.3	5.2	5.2	0.3	3.8	
性別年代	男性20代 (n=80)	42.5	37.5	31.3	18.8	6.3	6.3	2.5	2.5	1.3	
	男性30代 (n=126)	42.1	46.0	31.0	26.2	10.3	1.6	4.0	2.4	2.4	
	男性40代 (n=131)	38.9	36.6	35.1	18.3	15.3	8.4	2.3	3.1	1.5	
	男性50代 (n=123)	34.1	44.7	34.1	21.1	17.1	0.8	2.4	1.6	0.8	
	男性60代 (n=159)	32.7	57.2	42.8	20.8	18.2	2.5	3.1	0.0	5.7	
	女性20代 (n=97)	64.9	34.0	35.1	30.9	15.5	9.3	3.1	1.0	2.1	
	女性30代 (n=137)	60.6	28.5	35.8	28.5	20.4	9.5	5.8	1.5	1.5	
	女性40代 (n=168)	63.1	34.5	32.1	22.0	19.6	10.1	5.4	2.4	3.0	
女性50代 (n=141)	46.1	43.3	37.6	18.4	29.1	10.6	6.4	0.7	2.1		
女性60代 (n=185)	29.2	53.5	51.4	21.1	27.6	7.6	7.0	0.5	2.2		
果物摂取量	100g~200g未満 (n=708)	40.3	44.5	40.1	20.9	21.5	6.5	4.2	0.6	3.0	
	100g未満 (n=639)	49.8	40.2	34.6	24.1	16.3	7.0	4.7	2.5	1.7	
令和元年度全体 (n=1335)		37.2	42.8	42.8	20.4	16.6	4.3	4.8	2.5	2.0	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。



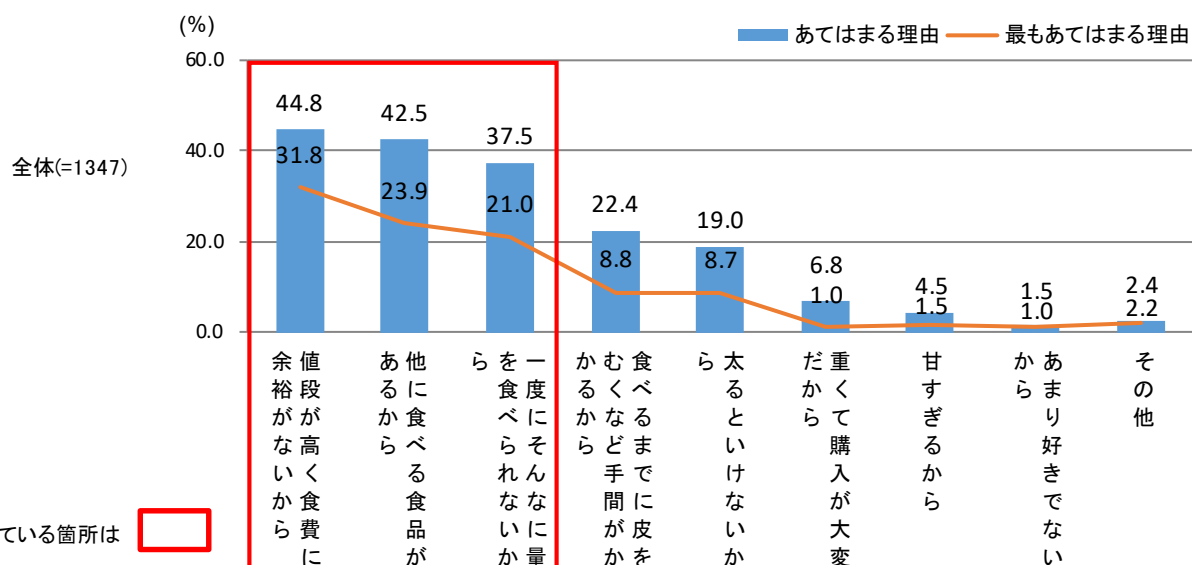
②-2 果物の摂取量(一日平均)が現状である理由 [1日摂取量200g未満層]

- 最もあてはまる理由では、全体で「値段が高く食費に余裕がないから」が最も高い。「他に食べる食品があるから」「一度にそんなに量を食べられないから」が続いており、あてはまる理由と同一の構成・順位となった。
- 令和元年度結果と比較すると、「値段が高く食費に余裕がないから」が増加する一方、「一度にそんなに量を食べられないから」が減少し、順位が入れ替わった。
- 年代別でみると、『20～50代』では共通して「値段が高く食費に余裕がないから」の割合が最も高い中、『60代』では「他に食べる食品があるから」の割合が最も高い。

Q7. 国では一日に【Q5の選択内容】よりも多く果物を食べることを推奨しています。

あなたが現状の果物摂取量にとどまっている理由をお教え下さい。(MA)

その中で最もあてはまる理由。(SA)



※コメントで触れている箇所は



最もあてはまる理由スコア (SA)

		全体	1347	31.8	23.9	21.0	8.8	8.7	1.0	1.5	1.0	2.2
性別	男性	619	26.5	30.2	20.0	10.2	7.3	0.6	1.0	1.6	2.6	
	女性	728	36.4	18.5	21.8	7.7	9.9	1.4	1.9	0.5	1.8	
年代	20代	177	37.9	20.9	19.8	12.4	3.4	1.1	1.1	1.7	1.7	
	30代	263	40.3	19.8	18.6	8.4	7.2	0.8	1.9	1.1	1.9	
	40代	299	39.5	18.7	16.7	9.0	9.7	1.7	1.0	1.7	2.0	
	50代	264	26.9	25.8	22.7	8.0	11.4	0.8	2.7	0.8	1.1	
	60代	344	19.5	31.7	25.9	7.8	9.6	0.9	0.9	0.3	3.5	
性別年代	男性20代	80	30.0	26.3	22.5	11.3	2.5	2.5	1.3	2.5	1.3	
	男性30代	126	31.7	27.0	17.5	11.1	5.6	0.8	1.6	2.4	2.4	
	男性40代	131	29.0	23.7	21.4	9.9	9.9	0.8	1.5	2.3	1.5	
	男性50代	123	23.6	32.5	17.9	12.2	10.6	0.0	0.8	1.6	0.8	
	男性60代	159	20.8	38.4	21.4	7.5	6.3	0.0	0.0	0.0	5.7	
	女性20代	97	44.3	16.5	17.5	13.4	4.1	0.0	1.0	1.0	2.1	
	女性30代	137	48.2	13.1	19.7	5.8	8.8	0.7	2.2	0.0	1.5	
	女性40代	168	47.6	14.9	13.1	8.3	9.5	2.4	0.6	1.2	2.4	
女性50代	141	29.8	19.9	27.0	4.3	12.1	1.4	4.3	0.0	1.4		
女性60代	185	18.4	25.9	29.7	8.1	12.4	1.6	1.6	0.5	1.6		
果物摂取量	100g～200g未満	708	28.1	25.6	23.7	8.1	9.6	0.8	0.8	0.6	2.7	
	100g未満	639	36.0	22.1	18.0	9.7	7.7	1.3	2.2	1.6	1.6	
令和元年度全体		1335	25.5	24.6	27.1	7.5	8.6	1.0	1.9	1.8	1.9	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

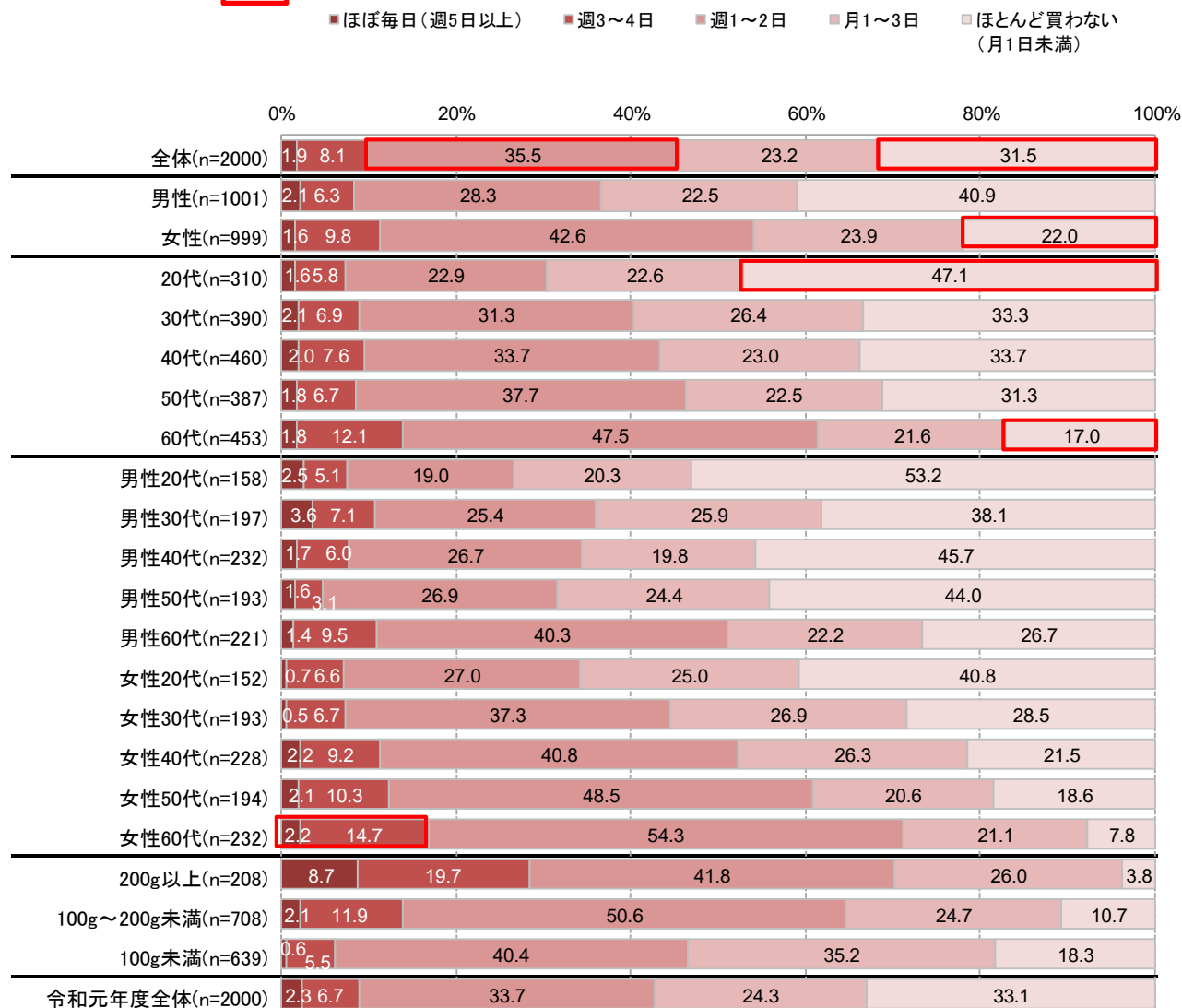
全体と比べて5～10ポイント未満低い。

### ③果物の購入頻度

- 全体では「週1～2日」が最も高い。次いで、「ほとんど買わない」が続いている。
- 性別で見ると、『女性』は男性と比べて購入頻度が高い傾向であり、「ほとんど買わない」人の割合は2割強にとどまっている。
- 年代別で見ると、『60代』は他の層と比べて購入頻度が高い傾向であり、「ほとんど買わない」人の割合は2割に満たない。一方、『20代』は「ほとんど買わない」人の割合が5割に近く、他の層と比べて高い。
- 性別×年代で見ると、『女性60代』では「週3～4日」以上、果物を購入する人の割合が1割台後半で、他の層と比べて高め。

Q1. あなたは果物（生鮮果物と果物加工品）をどの程度の頻度で買い、また食べますか。（SA）

※コメントで触れている箇所は  

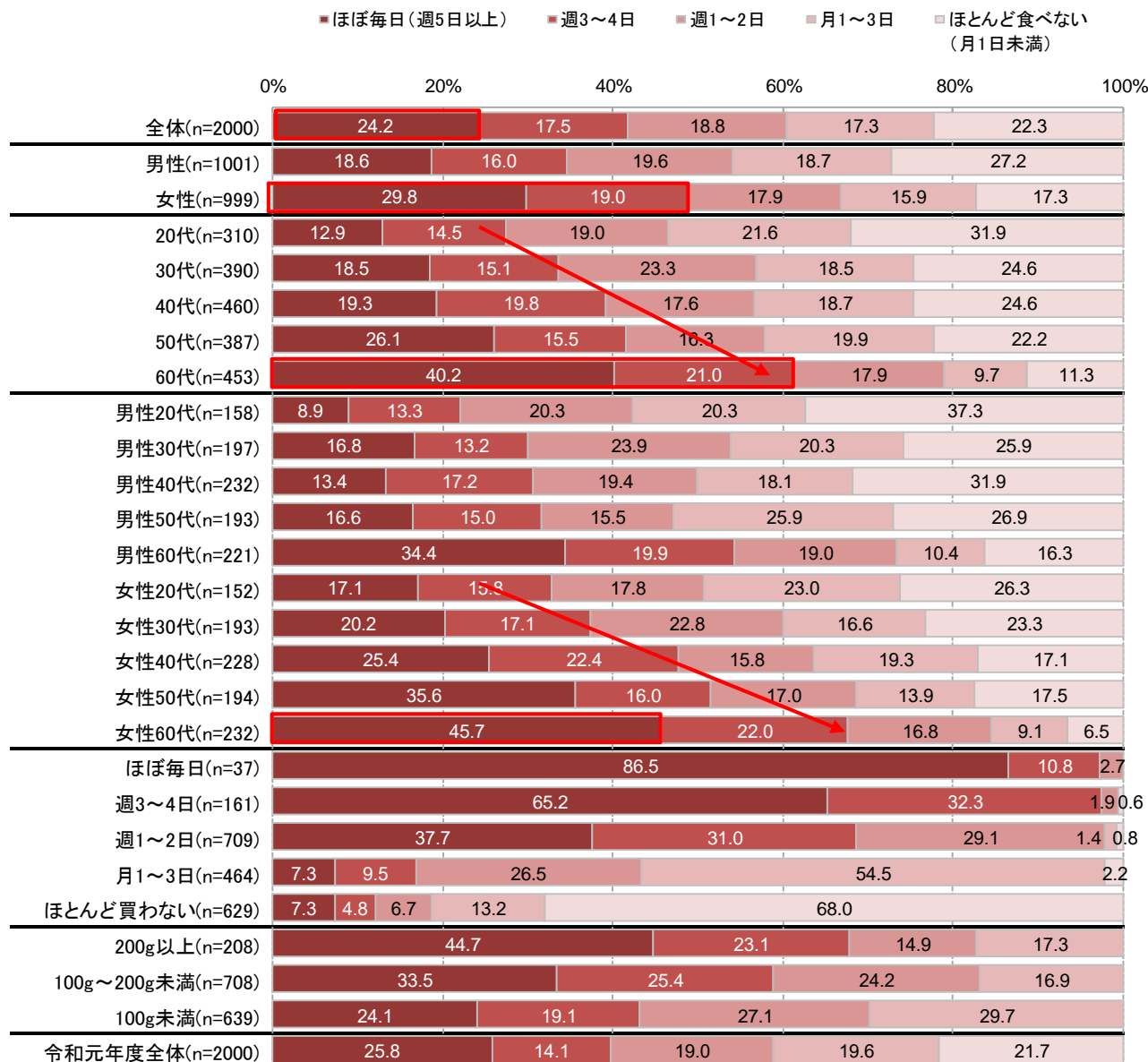


### ④果物の摂取頻度

- 全体では「ほぼ毎日」が2割台半ばで最も高い。次いで、「ほとんど食べない」「週1～2日」「週3～4日」「月1～3日」が、いずれも2割前後となった。
- 性別で見ると、『女性』は、男性と比べて「ほぼ毎日」「週3～4日」の割合が高く、摂取頻度が高い傾向がうかがえる。
- 年代別で見ると、年代が高くなるほど「週3～4日」以上の割合が増加する傾向が見られ、『60代』では「ほぼ毎日」が4割、「週3～4日」が2割強で、6割超が「週3～4日」以上摂取している。
- 性別×年代で見ると、『女性』は年代が高くなるほど「週3～4日」以上の割合が増加する傾向が顕著であり、『女性60代』では、「ほぼ毎日」が4割台半ばに及ぶ。

Q1. あなたは果物（生鮮果物と果物加工品）をどの程度の頻度で買い、また食べますか。（SA）

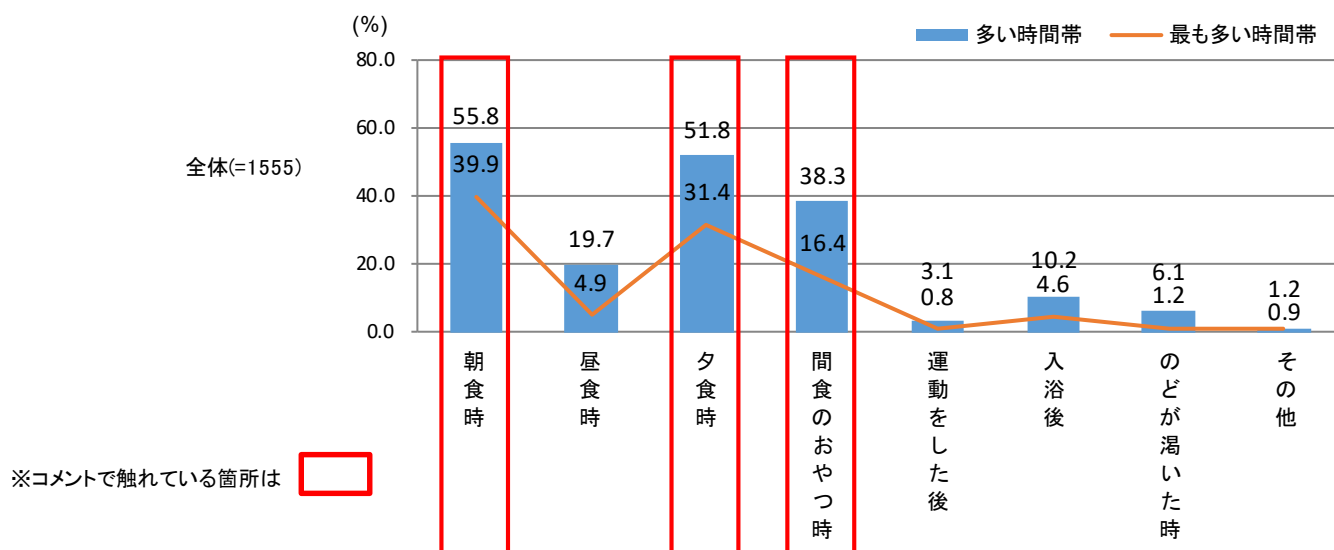
※コメントで触れている箇所は



⑤-1 果物の摂取時間帯（摂取場面） [果物月1回以上喫食層]

- 多い時間帯（複数回答）では、全体で「朝食時」「夕食時」が5割超と高い。「間食のおやつ時」が3割後半で、それに続くかたちとなっている。
- 令和元年度結果と比較すると、「朝食時」「夕食時」の割合がともに増加する一方、「間食のおやつ時」はやや減少した。
- 性別でみると、『女性』は「朝食時」が6割強、「間食のおやつ時」が4割台前半で、ともに『男性』より顕著に高い。
- 性別×年代でみると、『男性20～50代』は「夕食時」、『男性60代』と全年代の『女性』は「朝食時」の割合が、最も高くなっている。

Q2. 果物を食べるのはいつが多いですか。（MA） その中で最も多い時間帯。（SA）



多い時間帯スコア (MA)

		全体 (n=1555)	55.8	19.7	51.8	38.3	3.1	10.2	6.1	1.2
性別	男性 (n=729)	49.0	18.1	56.1	32.9	4.4	11.4	5.6	0.8	
	女性 (n=826)	61.7	21.2	48.1	43.1	1.9	9.2	6.5	1.5	
年代	20代 (n=211)	52.1	15.6	52.1	37.4	1.4	9.5	6.6	0.0	
	30代 (n=294)	55.4	19.0	55.4	38.8	4.1	11.9	6.8	0.3	
	40代 (n=347)	54.2	18.4	54.8	34.3	2.3	11.5	4.9	0.9	
	50代 (n=301)	52.5	16.6	53.5	37.9	2.3	10.3	6.6	2.3	
	60代 (n=402)	61.7	25.9	45.3	42.3	4.5	8.2	6.0	1.7	
性別年代	男性20代 (n=99)	43.4	13.1	51.5	33.3	2.0	10.1	4.0	0.0	
	男性30代 (n=146)	50.7	18.5	53.4	34.2	6.2	11.0	7.5	0.0	
	男性40代 (n=158)	46.8	15.2	57.6	27.2	3.8	16.5	5.7	0.6	
	男性50代 (n=141)	41.1	13.5	62.4	36.9	2.8	12.1	4.3	1.4	
	男性60代 (n=185)	58.4	26.5	54.6	33.5	5.9	7.6	5.9	1.6	
	女性20代 (n=112)	59.8	17.9	52.7	41.1	0.9	8.9	8.9	0.0	
	女性30代 (n=148)	60.1	19.6	57.4	43.2	2.0	12.8	6.1	0.7	
	女性40代 (n=189)	60.3	21.2	52.4	40.2	1.1	7.4	4.2	1.1	
	女性50代 (n=160)	62.5	19.4	45.6	38.8	1.9	8.8	8.8	3.1	
女性60代 (n=217)	64.5	25.3	37.3	49.8	3.2	8.8	6.0	1.8		
果物摂取量	200g以上 (n=208)	52.9	31.3	56.7	40.4	6.7	14.9	5.8	0.5	
	100g～200g未満 (n=708)	58.3	20.6	51.7	43.2	3.2	11.4	7.5	1.6	
	100g未満 (n=639)	53.8	15.0	50.4	32.2	1.7	7.4	4.7	0.9	
令和元年度全体 (n=1567)		52.4	23.0	48.1	40.4	2.8	12.6	7.0	1.6	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

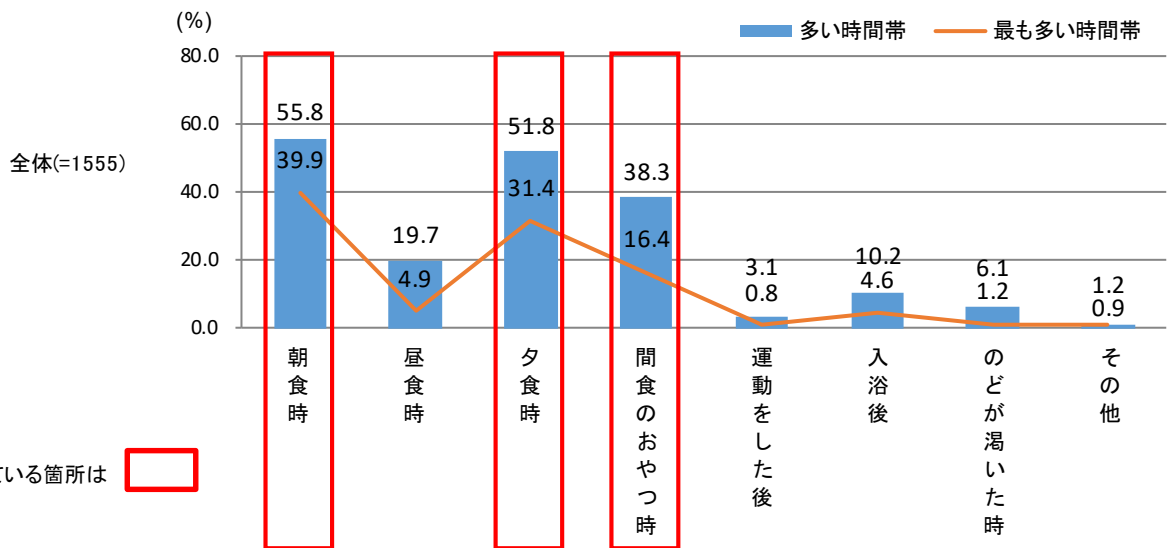
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

⑤-2 果物の摂取時間帯（摂取場面） [果物月1回以上喫食層]

- 最も多い時間帯では、全体で「朝食時」が最も高く、「夕食時」「間食のおやつ時」がそれに続くかたちとなっている。
- 令和元年度結果と比較すると、「朝食時」が増加し、「間食のおやつ時」が減少した。
- 性別でみると、『男性』は「夕食時」が『女性』より高く、『女性』は「朝食時」が『男性』より高い。
- 年代別でみると、『60代』では「夕食時」の割合が他の層より低い。
- 性別×年代でみると、『男性20～50代』と『女性30代』では「夕食時」の割合が最も高く、『男性60代』『女性20代』『女性40～60代』は「朝食時」の割合が最も高い。

Q2. 果物を食べるのはいつが多いですか。(MA) その中で最も多い時間帯。(SA)



※コメントで触れている箇所は

最も多い時間帯スコア (SA)

		全体 (n=1555)	39.9	4.9	31.4	16.4	0.8	4.6	1.2	0.9
性別	男性 (n=729)	34.8	5.2	37.3	14.3	1.6	5.1	1.1	0.5	
	女性 (n=826)	44.3	4.6	26.3	18.3	0.0	4.1	1.2	1.2	
年代	20代 (n=211)	36.5	4.3	33.6	19.9	0.0	4.3	1.4	0.0	
	30代 (n=294)	33.0	3.1	39.5	17.7	1.0	4.1	1.4	0.3	
	40代 (n=347)	40.3	4.6	34.3	14.1	0.9	4.6	0.6	0.6	
	50代 (n=301)	39.2	4.7	33.2	14.6	0.3	4.3	2.0	1.7	
	60代 (n=402)	46.8	7.0	20.6	16.9	1.2	5.2	0.7	1.5	
性別年代	男性20代 (n=99)	29.3	6.1	37.4	20.2	0.0	5.1	2.0	0.0	
	男性30代 (n=146)	30.8	3.4	41.1	17.8	2.1	2.7	2.1	0.0	
	男性40代 (n=158)	33.5	4.4	39.9	12.7	1.9	6.3	0.6	0.6	
	男性50代 (n=141)	31.2	5.0	43.3	11.3	0.7	7.1	0.7	0.7	
	男性60代 (n=185)	44.9	7.0	27.6	11.9	2.7	4.3	0.5	1.1	
	女性20代 (n=112)	42.9	2.7	30.4	19.6	0.0	3.6	0.9	0.0	
	女性30代 (n=148)	35.1	2.7	37.8	17.6	0.0	5.4	0.7	0.7	
	女性40代 (n=189)	46.0	4.8	29.6	15.3	0.0	3.2	0.5	0.5	
	女性50代 (n=160)	46.3	4.4	24.4	17.5	0.0	1.9	3.1	2.5	
	女性60代 (n=217)	48.4	6.9	14.7	21.2	0.0	6.0	0.9	1.8	
果物摂取量	200g以上 (n=208)	32.7	9.1	33.2	15.4	1.4	5.8	1.9	0.5	
	100g～200g未満 (n=708)	41.9	4.1	28.7	17.5	1.0	4.5	1.1	1.1	
	100g未満 (n=639)	39.9	4.4	34.0	15.5	0.3	4.2	0.9	0.8	
令和元年度全体 (n=1567)		35.6	6.9	30.1	19.2	0.3	5.6	1.1	1.2	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

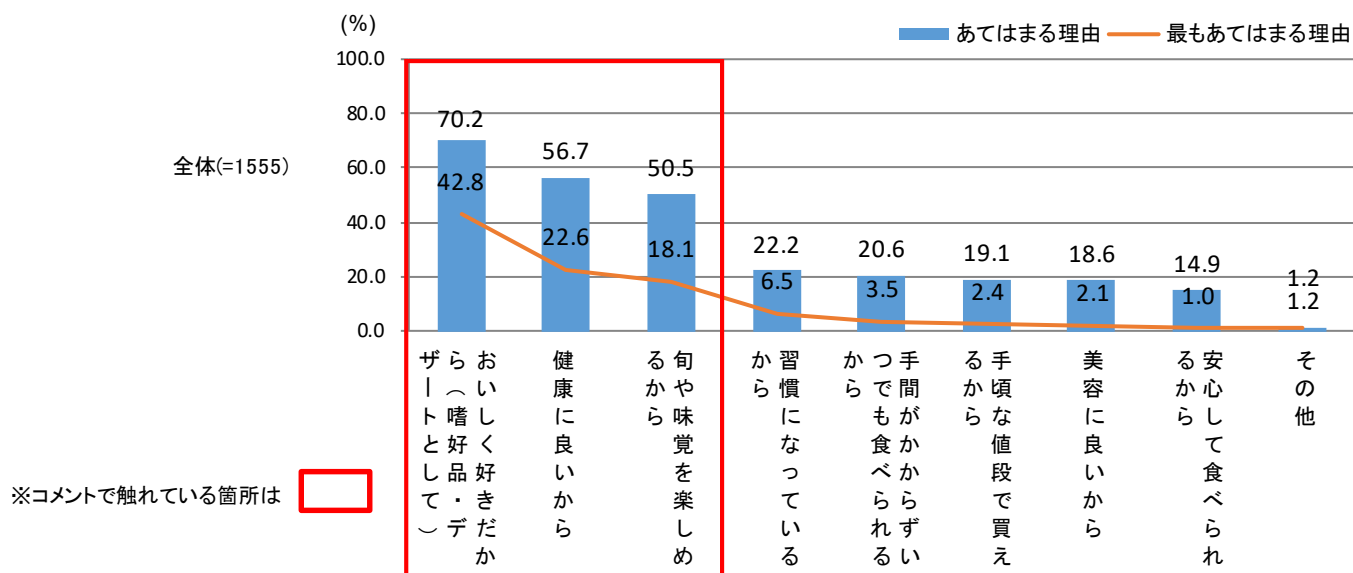
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

### ⑥-1 果物の摂取理由 [果物月1回以上喫食層]

- あてはまる理由（複数回答）では、全体で「おいしく好きだから」が最も高く、「健康に良いから」「旬や味覚を楽しめるから」が続いている。
- 令和元年度結果と比較すると、「おいしく好きだから」が増加する一方、「健康に良いから」がやや減少した。
- 性別でみると、『女性』では「おいしく好きだから」「旬や味覚を楽しめるから」「美容に良いから」が男性より顕著に高い。
- 性別×年代でみると、『女性20代』では「美容に良いから」、『女性60代』では「習慣になっているから」がそれぞれ他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、『100g未満』の層は、他の層と比べて全般的に低スコア。

Q3. 果物を食べる理由はなんですか。(MA) その中で最もあてはまる理由。(SA)



あてはまる理由スコア (MA)

		全体 (n=1555)	70.2	56.7	50.5	22.2	20.6	19.1	18.6	14.9	1.2
性別	男性 (n=729)	63.5	53.5	44.6	19.3	18.0	18.1	10.0	12.3	1.2	
	女性 (n=826)	76.2	59.4	55.7	24.7	22.9	20.0	26.2	17.2	1.1	
年代	20代 (n=211)	70.1	48.8	47.9	15.2	20.9	12.8	26.1	13.3	1.4	
	30代 (n=294)	67.0	54.8	50.0	21.4	17.0	19.7	20.4	13.9	1.4	
	40代 (n=347)	68.9	59.9	50.1	21.9	20.5	18.2	20.5	14.4	1.7	
	50代 (n=301)	72.4	58.1	46.5	20.6	20.3	21.6	17.3	15.0	0.7	
	60代 (n=402)	72.1	58.2	55.5	27.9	23.4	20.9	12.7	16.9	0.7	
性別年代	男性20代 (n=99)	63.6	38.4	40.4	12.1	13.1	12.1	17.2	11.1	1.0	
	男性30代 (n=146)	61.0	52.7	45.9	20.5	17.1	19.2	12.3	13.7	0.7	
	男性40代 (n=158)	59.5	58.2	42.4	22.2	18.4	17.1	10.8	12.0	1.9	
	男性50代 (n=141)	66.7	53.9	36.9	14.9	21.3	22.0	7.1	12.1	1.4	
	男性60代 (n=185)	66.5	57.8	53.5	23.2	18.4	18.4	5.9	12.4	1.1	
	女性20代 (n=112)	75.9	58.0	54.5	17.9	27.7	13.4	33.9	15.2	1.8	
	女性30代 (n=148)	73.0	56.8	54.1	22.3	16.9	20.3	28.4	14.2	2.0	
	女性40代 (n=189)	76.7	61.4	56.6	21.7	22.2	19.0	28.6	16.4	1.6	
女性50代 (n=160)	77.5	61.9	55.0	25.6	19.4	21.3	26.3	17.5	0.0		
女性60代 (n=217)	77.0	58.5	57.1	31.8	27.6	23.0	18.4	20.7	0.5		
果物摂取量	200g以上 (n=208)	72.6	55.3	53.4	34.1	18.8	21.2	22.1	16.3	1.0	
	100g~200g未満 (n=708)	73.7	60.9	54.0	20.9	23.6	21.3	21.8	17.8	1.0	
	100g未満 (n=639)	65.6	52.4	45.7	19.7	17.8	16.0	13.9	11.3	1.4	
令和元年度全体 (n=1567)		66.4	59.5	49.3	22.2	22.8	18.6	18.8	15.9	0.6	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

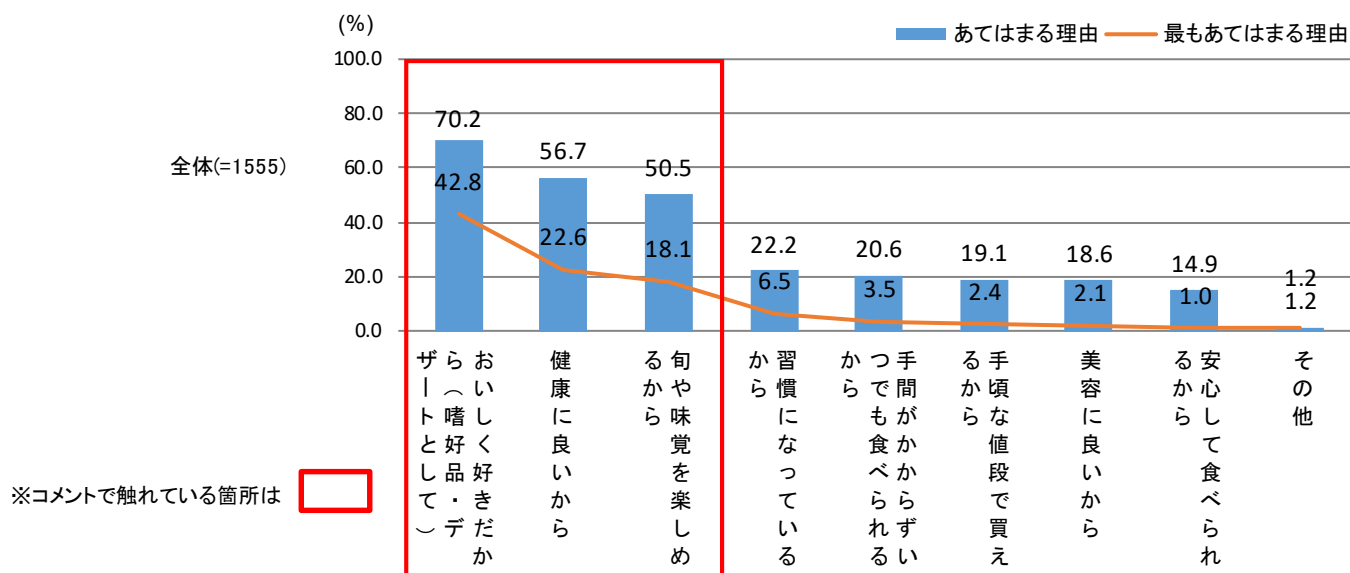
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### ⑥-2 果物の摂取理由 [果物月1回以上喫食層]

- 最もあてはまる理由では、全体で「おいしく好きだから」が最も高く、「健康に良いから」「旬や味覚を楽しめるから」が続いている。
- 令和元年度結果と比較すると、「健康によいから」がやや減少した。
- 年代別でみると、『20代』では「おいしく好きだから」が5割に近い。
- 性別×年代でみると、『男性40代』では「健康に良いから」が3割弱で、他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、『100g未満』の層では、他の層と比べて「健康に良いから」が高く、「おいしく好きだから」が低い。

Q3. 果物を食べる理由はなんですか。(MA) その中で最もあてはまる理由。(SA)



最もあてはまる理由スコア (SA)

		全体 (n=1555)	42.8	22.6	18.1	6.5	3.5	2.4	2.1	1.0	1.2
性別	男性 (n=729)		41.2	23.0	18.2	7.3	3.8	2.3	1.8	1.1	1.2
	女性 (n=826)		44.2	22.2	17.9	5.8	3.3	2.4	2.3	0.8	1.1
年代	20代 (n=211)		49.3	18.5	13.7	5.2	5.2	1.4	4.3	0.9	1.4
	30代 (n=294)		41.5	22.8	18.4	7.8	1.4	3.1	2.4	1.4	1.4
	40代 (n=347)		40.6	27.1	16.7	5.8	3.7	1.7	1.7	0.9	1.7
	50代 (n=301)		43.9	21.6	18.9	4.0	4.0	3.7	2.7	0.7	0.7
	60代 (n=402)		41.3	21.4	20.6	8.7	3.7	2.0	0.5	1.0	0.7
性別年代	男性20代 (n=99)		50.5	13.1	16.2	7.1	5.1	2.0	5.1	0.0	1.0
	男性30代 (n=146)		33.6	25.3	19.9	10.3	2.7	3.4	2.1	2.1	0.7
	男性40代 (n=158)		39.2	28.5	16.5	7.6	3.8	0.6	1.3	0.6	1.9
	男性50代 (n=141)		46.1	20.6	17.7	2.1	5.0	5.0	1.4	0.7	1.4
	男性60代 (n=185)		40.0	23.8	20.0	8.6	3.2	1.1	0.5	1.6	1.1
	女性20代 (n=112)		48.2	23.2	11.6	3.6	5.4	0.9	3.6	1.8	1.8
	女性30代 (n=148)		49.3	20.3	16.9	5.4	0.0	2.7	2.7	0.7	2.0
	女性40代 (n=189)		41.8	25.9	16.9	4.2	3.7	2.6	2.1	1.1	1.6
女性50代 (n=160)		41.9	22.5	20.0	5.6	3.1	2.5	3.8	0.6	0.0	
女性60代 (n=217)		42.4	19.4	21.2	8.8	4.1	2.8	0.5	0.5	0.5	
果物摂取量	200g以上 (n=208)		46.6	16.8	16.8	11.1	2.9	2.4	1.0	1.4	1.0
	100g~200g未満 (n=708)		44.9	21.9	18.5	4.5	3.2	2.1	3.2	0.6	1.0
	100g未満 (n=639)		39.1	25.2	18.0	7.2	4.1	2.7	1.1	1.3	1.4
令和元年度全体 (n=1567)			40.5	26.0	15.8	6.2	4.2	2.8	2.7	1.3	0.5

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

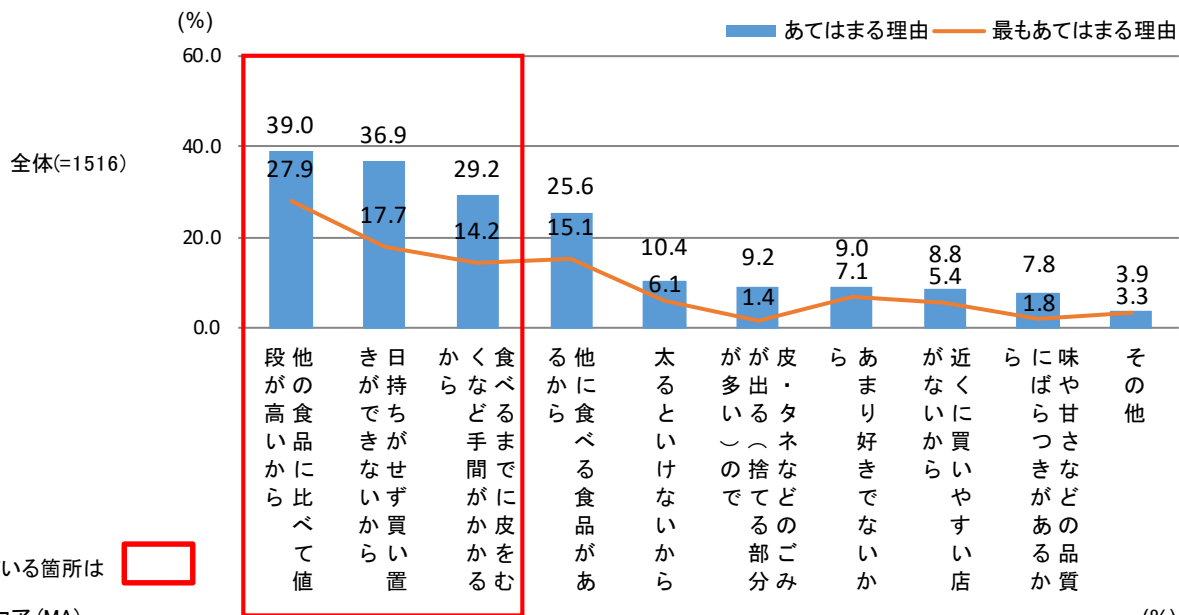
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

⑦-1 果物を毎日摂らない理由 [毎日摂取者を除く]

- あてはまる理由（複数回答）では、全体で「他の食品に比べて値段が高いから」が最も高く、次いで「日持ちがせず買い置きができないから」「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」が続いている。
- 令和元年度結果と比較すると、「他の食品に比べて値段が高いから」が微増している。
- 性別で見ると、『女性』は「他の食品に比べて値段が高いから」が『男性』と比べて顕著に高い。
- 年代別で見ると、『60代』では「他に食べる食品があるから」が他の層に比べて高く、最大の理由になっている。
- 果物摂取量別で見ると、『200g以上』の層では、他の層と比べて「太るといけないから」が顕著に高い。

Q4. 果物を（毎日）食べない理由は何ですか。（MA） その中で最もあてはまる理由。（SA）



※コメントで触れている箇所は

あてはまる理由スコア (MA)

		全体 (n=1516)	39.0	36.9	29.2	25.6	10.4	9.2	9.0	8.8	7.8	3.9
性別	男性 (n=815)	31.9	35.7	25.9	26.5	9.2	9.8	9.9	10.3	6.5	3.3	
	女性 (n=701)	47.2	38.2	33.1	24.5	11.8	8.6	8.0	7.0	9.3	4.6	
年代	20代 (n=270)	44.8	36.3	29.3	20.0	7.0	5.6	10.0	11.5	7.4	1.9	
	30代 (n=318)	38.1	38.7	30.8	26.1	8.2	12.6	11.3	7.2	6.9	2.8	
	40代 (n=371)	41.0	35.8	30.2	18.3	10.5	8.6	10.2	7.3	6.5	5.4	
	50代 (n=286)	39.9	37.4	29.4	25.2	12.9	10.1	8.0	8.0	10.1	4.2	
	60代 (n=271)	30.6	36.2	25.8	41.0	13.7	8.9	4.8	10.7	8.5	4.8	
性別年代	男性20代 (n=144)	36.8	37.5	22.9	20.8	4.9	7.6	11.1	13.9	6.3	1.4	
	男性30代 (n=164)	29.9	42.1	25.0	29.3	7.3	13.4	8.5	8.5	7.3	1.2	
	男性40代 (n=201)	31.8	32.8	26.9	22.4	10.4	7.5	12.4	7.0	5.0	5.0	
	男性50代 (n=161)	34.2	33.5	27.3	22.4	12.4	9.3	11.2	9.3	7.5	4.3	
	男性60代 (n=145)	26.9	33.1	26.9	39.3	10.3	11.7	5.5	14.5	6.9	4.1	
	女性20代 (n=126)	54.0	34.9	36.5	19.0	9.5	3.2	8.7	8.7	8.7	2.4	
	女性30代 (n=154)	46.8	35.1	37.0	22.7	9.1	11.7	14.3	5.8	6.5	4.5	
	女性40代 (n=170)	51.8	39.4	34.1	13.5	10.6	10.0	7.6	7.6	8.2	5.9	
女性50代 (n=125)	47.2	42.4	32.0	28.8	13.6	11.2	4.0	6.4	13.6	4.0		
女性60代 (n=126)	34.9	39.7	24.6	42.9	17.5	5.6	4.0	6.3	10.3	5.6		
果物摂取量	200g以上 (n=115)	36.5	44.3	23.5	21.7	20.0	6.1	5.2	13.0	11.3	4.3	
	100g~200g未満 (n=471)	39.7	44.4	26.1	29.1	13.4	9.3	1.1	8.7	7.4	3.2	
	100g未満 (n=485)	43.9	37.3	29.5	26.6	9.7	7.4	3.7	7.6	7.4	3.7	
令和元年度全体 (n=1485)		36.4	34.7	29.3	25.2	10.4	9.9	10.8	8.1	8.4	4.0	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

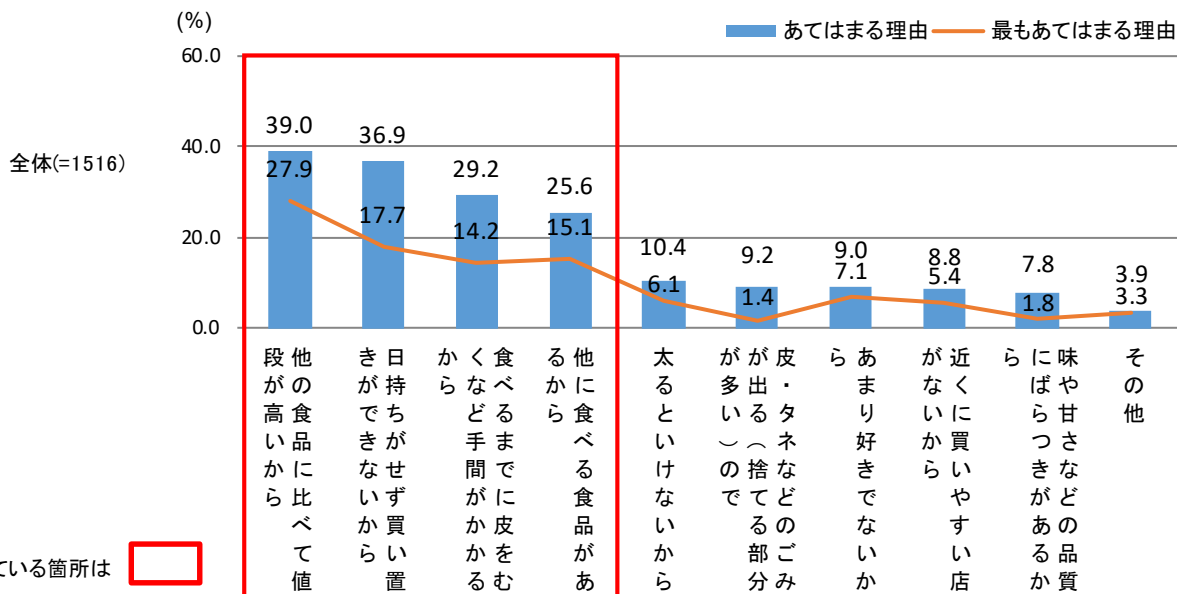
全体と比べて5~10ポイント未満低い。



⑦-2 果物を毎日は摂らない理由 [毎日摂取者を除く]

- 最もあてはまる理由では、全体で「他の食品に比べて値段が高いから」が最も高く、次いで「日持ちがせず買い置きができないから」「他に食べる食品があるから」「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」が続いている。
- 令和元年度結果と比較すると、「他の食品に比べて値段が高いから」が微増している。
- 性別でみると、『女性』は「他の食品に比べて値段が高いから」が『男性』と比べて高い。
- 年代別でみると、『60代』では「他に食べる食品があるから」が他の層より高く、「他の食品に比べて値段が高いから」が他の層より低い。
- 果物摂取量別でみると、『100g未満』の層では、他の層と比べて「他の食品に比べて値段が高いから」が高い。

Q4. 果物を(毎日)食べない理由は何ですか。(MA) その中で最もあてはまる理由。(SA)



※コメントで触れている箇所は



最もあてはまる理由スコア (SA)

		全体 (n=1516)	27.9	17.7	14.2	15.1	6.1	1.4	7.1	5.4	1.8	3.3
性別	男性 (n=815)	21.6	18.9	15.0	18.0	6.1	1.6	7.6	6.7	1.6	2.8	
	女性 (n=701)	35.2	16.4	13.3	11.7	6.0	1.1	6.4	3.9	2.1	3.9	
年代	20代 (n=270)	32.6	16.3	14.1	13.3	4.8	0.7	8.5	6.3	1.5	1.9	
	30代 (n=318)	27.4	17.6	16.7	16.0	5.3	2.5	7.5	4.1	0.9	1.9	
	40代 (n=371)	31.3	18.3	13.5	11.9	5.4	1.1	7.3	4.6	2.2	4.6	
	50代 (n=286)	28.3	16.8	13.3	12.9	7.0	1.4	7.3	6.6	2.8	3.5	
	60代 (n=271)	18.8	19.6	13.3	22.5	8.1	1.1	4.4	5.9	1.8	4.4	
性別年代	男性20代 (n=144)	26.4	20.1	12.5	16.0	4.2	0.7	8.3	9.0	1.4	1.4	
	男性30代 (n=164)	19.5	21.3	15.9	20.1	6.1	3.0	6.1	6.1	0.6	1.2	
	男性40代 (n=201)	21.9	18.4	17.9	16.4	6.0	0.5	8.0	3.5	3.0	4.5	
	男性50代 (n=161)	24.2	17.4	13.0	12.4	7.5	1.9	10.6	7.5	2.5	3.1	
	男性60代 (n=145)	15.9	17.2	14.5	26.2	6.9	2.1	4.8	9.0	0.0	3.4	
	女性20代 (n=126)	39.7	11.9	15.9	10.3	5.6	0.8	8.7	3.2	1.6	2.4	
	女性30代 (n=154)	35.7	13.6	17.5	11.7	4.5	1.9	9.1	1.9	1.3	2.6	
	女性40代 (n=170)	42.4	18.2	8.2	6.5	4.7	1.8	6.5	5.9	1.2	4.7	
女性50代 (n=125)	33.6	16.0	13.6	13.6	6.4	0.8	3.2	5.6	3.2	4.0		
女性60代 (n=126)	22.2	22.2	11.9	18.3	9.5	0.0	4.0	2.4	4.0	5.6		
果物摂取量	200g以上 (n=115)	22.6	28.7	9.6	11.3	14.8	0.9	2.6	4.3	0.9	4.3	
	100g~200g未満 (n=471)	28.7	23.1	12.5	16.6	7.2	1.5	1.1	4.7	1.7	3.0	
	100g未満 (n=485)	34.0	18.1	13.6	15.7	5.4	1.2	2.9	4.3	1.9	2.9	
令和元年度全体 (n=1485)		25.0	17.5	14.9	15.6	6.1	2.4	8.8	4.6	1.5	3.6	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

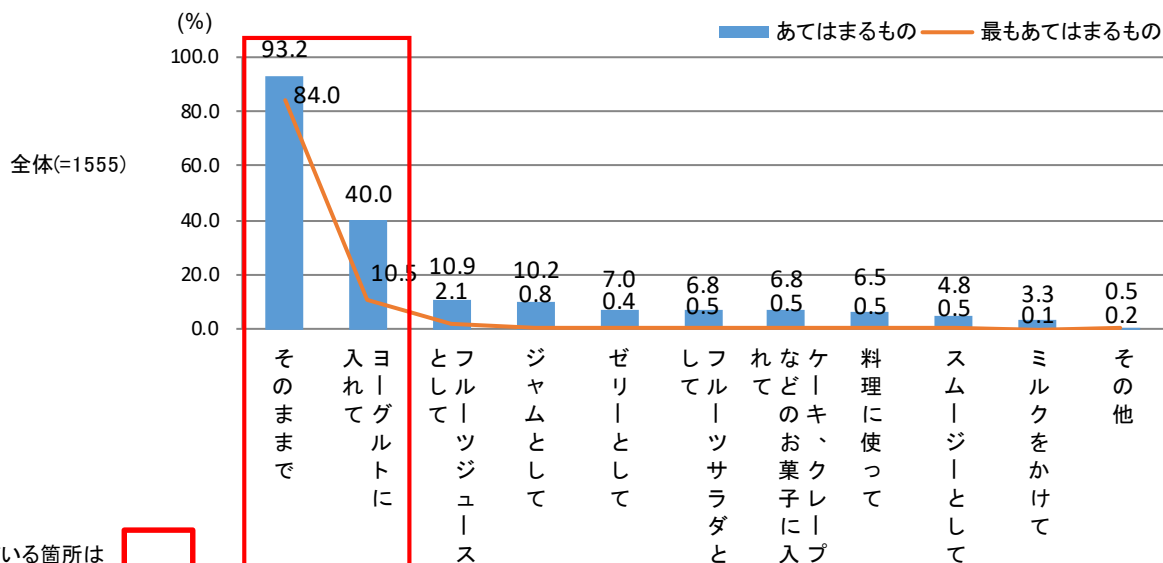
### ⑧果物の摂取方法 [果物月1回以上喫食層]

- あてはまるものは、全体では「そのまま」が突出しており、次いで「ヨーグルトに入れて」が高い。最もあてはまるものも、全体では「そのまま」が突出して高く、以下では「ヨーグルトに入れて」が唯一1割を超えた。
- 性別×年代でみると、『女性20代』は「ヨーグルトに入れて」が5割で、他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では、他の層と比べて「そのまま」がやや低く、「フルーツサラダとして」「ケーキ、クレープなどのお菓子に入れて」が高い。

Q8. あなたは主にどのような食べ方・手段で、果物を食べていますか？

当てはまるものをすべてお選びください。(MA)

また、最も当てはまるものをひとつお選びください。(SA)



※コメントで触れている箇所は

あてはまるものスコア (MA)

		全体 (n=1555)	93.2	40.0	10.9	10.2	7.0	6.8	6.8	6.5	4.8	3.3	0.5
性別	男性	(n=729)	92.3	35.3	10.2	8.0	6.7	5.9	5.5	5.9	4.0	3.0	0.3
	女性	(n=826)	94.1	44.2	11.5	12.2	7.3	7.6	7.9	7.0	5.6	3.5	0.6
年代	20代	(n=211)	90.5	41.2	10.9	10.9	9.0	3.8	10.4	6.2	4.7	0.9	0.5
	30代	(n=294)	90.8	36.7	12.6	8.5	11.6	5.8	10.2	7.1	6.1	3.4	0.3
	40代	(n=347)	91.6	38.9	11.2	7.8	7.2	5.8	6.6	5.5	4.0	3.7	0.6
	50代	(n=301)	94.7	39.5	8.3	10.3	6.3	7.6	3.7	8.0	4.0	2.3	0.0
	60代	(n=402)	96.8	43.0	11.2	13.2	3.0	9.5	4.7	6.0	5.2	4.7	0.7
性別年代	男性20代	(n=99)	84.8	31.3	8.1	12.1	7.1	5.1	9.1	9.1	3.0	1.0	0.0
	男性30代	(n=146)	89.0	33.6	12.3	6.2	13.0	4.8	9.6	6.2	4.8	2.7	0.0
	男性40代	(n=158)	91.8	31.6	8.9	5.1	4.4	7.0	4.4	4.4	3.2	4.4	0.6
	男性50代	(n=141)	95.0	34.8	10.6	7.8	7.8	5.0	3.5	5.7	2.8	2.1	0.0
	男性60代	(n=185)	97.3	42.2	10.3	9.7	2.7	7.0	2.7	5.4	5.4	3.8	0.5
	女性20代	(n=112)	95.5	50.0	13.4	9.8	10.7	2.7	11.6	3.6	6.3	0.9	0.9
	女性30代	(n=148)	92.6	39.9	12.8	10.8	10.1	6.8	10.8	8.1	7.4	4.1	0.7
	女性40代	(n=189)	91.5	45.0	13.2	10.1	9.5	4.8	8.5	6.3	4.8	3.2	0.5
果物摂取量	200g以上	(n=208)	88.0	46.2	15.4	11.5	11.1	13.5	13.5	10.6	8.2	7.2	0.5
	100g~200g未満	(n=708)	94.5	42.4	11.3	10.6	6.9	6.1	6.4	6.5	5.6	3.5	0.4
	100g未満	(n=639)	93.6	35.4	8.9	9.4	5.8	5.5	5.0	5.2	2.8	1.7	0.5
	令和元年度全体	(n=1567)	95.3	35.8	9.0	9.6	5.3	5.7	6.1	4.2	3.7	3.1	0.2

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

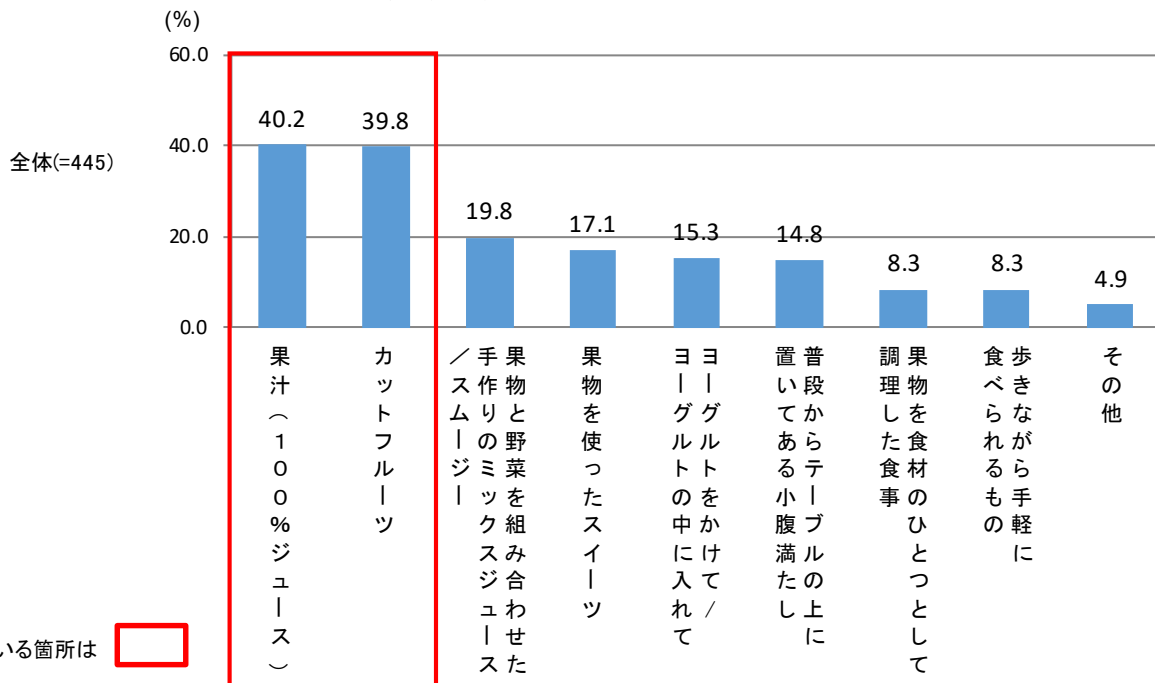
全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### ⑨果物の摂取を増加できると思う方法〔果物非喫食層〕

- 全体では、「果汁（100%ジュース）」「カットフルーツ」が並んで高く、以下「果物と野菜を組み合わせた手作りのミックスジュース/スムージー」「果物を使ったスイーツ」「ヨーグルトをかけて/ヨーグルトの中に入れて」「普段からテーブルの上に置いてある小腹満たし」の順となっている。
- 性別で見ると、『女性』では「果物を使ったスイーツ」「普段からテーブルの上に置いてある小腹満たし」が『男性』より顕著に高い。
- 年代別で見ると、『20代』では「歩きながら手軽に食べられるもの」、『30代』では「果物を食材のひとつとして調理した食事」が、それぞれ他の層より高い。

Q9. どのような食べ方であれば、今までよりも多く果物を食べる事ができると思いますか。

当てはまるものを全て選んでください。(MA)



※コメントで触れている箇所は

		全体	(n=445)	40.2	39.8	19.8	17.1	15.3	14.8	8.3	8.3	4.9
性別	男性	(n=272)	41.9	38.6	19.9	13.6	12.1	11.0	6.3	8.5	6.3	
	女性	(n=173)	37.6	41.6	19.7	22.5	20.2	20.8	11.6	8.1	2.9	
年代	20代	(n=99)	42.4	43.4	19.2	15.2	13.1	18.2	6.1	15.2	5.1	
	30代	(n=96)	44.8	36.5	27.1	20.8	16.7	17.7	17.7	6.3	3.1	
	40代	(n=113)	36.3	40.7	14.2	20.4	15.9	13.3	8.0	8.8	3.5	
	50代	(n=86)	40.7	38.4	22.1	14.0	17.4	10.5	3.5	5.8	5.8	
	60代	(n=51)	35.3	39.2	15.7	11.8	11.8	13.7	3.9	2.0	9.8	
性別年代	男性20代	(n=59)	40.7	37.3	16.9	11.9	8.5	15.3	5.1	16.9	6.8	
	男性30代	(n=51)	41.2	43.1	27.5	21.6	15.7	17.6	13.7	3.9	2.0	
	男性40代	(n=74)	37.8	39.2	13.5	12.2	13.5	8.1	6.8	8.1	5.4	
	男性50代	(n=52)	50.0	34.6	26.9	13.5	13.5	5.8	1.9	7.7	7.7	
	男性60代	(n=36)	41.7	38.9	16.7	8.3	8.3	8.3	2.8	2.8	11.1	
	女性20代	(n=40)	45.0	52.5	22.5	20.0	20.0	22.5	7.5	12.5	2.5	
	女性30代	(n=45)	48.9	28.9	26.7	20.0	17.8	17.8	22.2	8.9	4.4	
	女性40代	(n=39)	33.3	43.6	15.4	35.9	20.5	23.1	10.3	10.3	0.0	
女性50代	(n=34)	26.5	44.1	14.7	14.7	23.5	17.6	5.9	2.9	2.9		
女性60代	(n=15)	20.0	40.0	13.3	20.0	20.0	26.7	6.7	0.0	6.7		
令和元年度全体		(n=433)	40.2	40.2	20.6	17.1	15.9	15.0	9.7	7.4	6.5	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

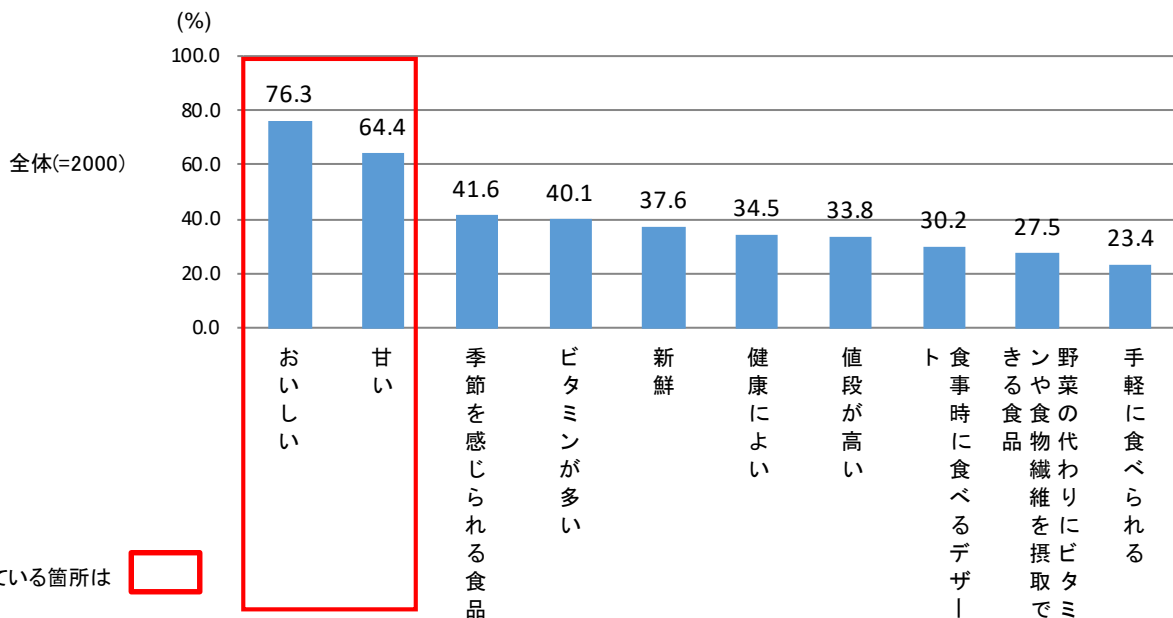
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### ⑩果物のイメージ

- 全体では、「おいしい」が最も高く、次いで「甘い」が続く。以下、「季節を感じられる食品」「ビタミンが多い」「新鮮」「健康によい」の順となった。
- 性別でみると、『女性』は「おいしい」「季節を感じられる食品」「ビタミンが多い」「健康によい」「値段が高い」「野菜の代わりにビタミンや食物繊維を摂取できる食品」「手軽に食べられる」「傷むのが早い」「生活に彩りや潤いを添えてくれる存在」「美肌に効果がある」「家族に食べさせたい」というイメージが『男性』より顕著に高い。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では、「季節を感じられる食品」「傷むのが早い」の割合が他の層と比べて顕著に低い。

Q10. あなたは果物にどのようなイメージがありますか。(MA)



		全体 (n=2000)	76.3	64.4	41.6	40.1	37.6	34.5	33.8	30.2	27.5	23.4
性別	男性 (n=1001)	71.1	64.3	30.4	33.0	32.6	26.9	26.3	26.1	22.3	17.1	
	女性 (n=999)	81.5	64.4	52.9	47.2	42.5	42.0	41.2	34.2	32.7	29.7	
年代	20代 (n=310)	81.0	69.4	32.9	37.1	39.0	35.5	30.3	29.7	29.4	15.8	
	30代 (n=390)	75.6	65.9	38.5	40.3	33.6	31.3	34.4	29.7	28.2	20.3	
	40代 (n=460)	74.1	65.7	41.5	41.5	37.0	32.8	40.4	26.5	27.8	21.3	
	50代 (n=387)	73.9	62.8	40.3	41.1	35.9	31.8	33.1	28.9	25.3	22.0	
	60代 (n=453)	77.9	59.6	51.4	39.7	41.9	40.4	29.4	35.5	27.2	34.7	
性別年代	男性20代 (n=158)	73.4	62.0	22.8	23.4	33.5	24.7	20.3	25.3	24.1	10.8	
	男性30代 (n=197)	71.6	62.9	31.0	36.5	32.5	22.8	25.9	22.3	30.5	17.8	
	男性40代 (n=232)	66.8	70.3	27.2	32.8	31.5	24.1	31.0	22.4	19.0	12.9	
	男性50代 (n=193)	66.3	62.2	28.5	32.6	30.1	28.0	27.5	25.4	17.6	17.1	
	男性60代 (n=221)	77.8	62.9	40.3	37.1	35.3	33.9	24.9	34.4	21.3	25.3	
	女性20代 (n=152)	88.8	77.0	43.4	51.3	44.7	46.7	40.8	34.2	34.9	21.1	
	女性30代 (n=193)	79.8	68.9	46.1	44.0	34.7	39.9	43.0	37.3	25.9	22.8	
	女性40代 (n=228)	81.6	61.0	56.1	50.4	42.5	41.7	50.0	30.7	36.8	29.8	
	女性50代 (n=194)	81.4	63.4	52.1	49.5	41.8	35.6	38.7	32.5	33.0	26.8	
女性60代 (n=232)	78.0	56.5	62.1	42.2	48.3	46.6	33.6	36.6	32.8	43.5		
果物摂取量	200g以上 (n=208)	83.2	63.5	36.5	39.9	48.1	36.1	25.0	28.4	25.5	28.8	
	100g~200g未満 (n=708)	86.2	67.4	47.5	46.5	44.4	43.2	30.4	36.0	32.1	32.1	
	100g未満 (n=639)	79.7	66.5	45.5	40.8	35.5	34.7	37.6	34.4	30.2	23.6	
令和元年度全体 (n=2000)		75.6	61.7	38.4	40.2	37.2	35.9	30.1	30.1	27.5	23.0	

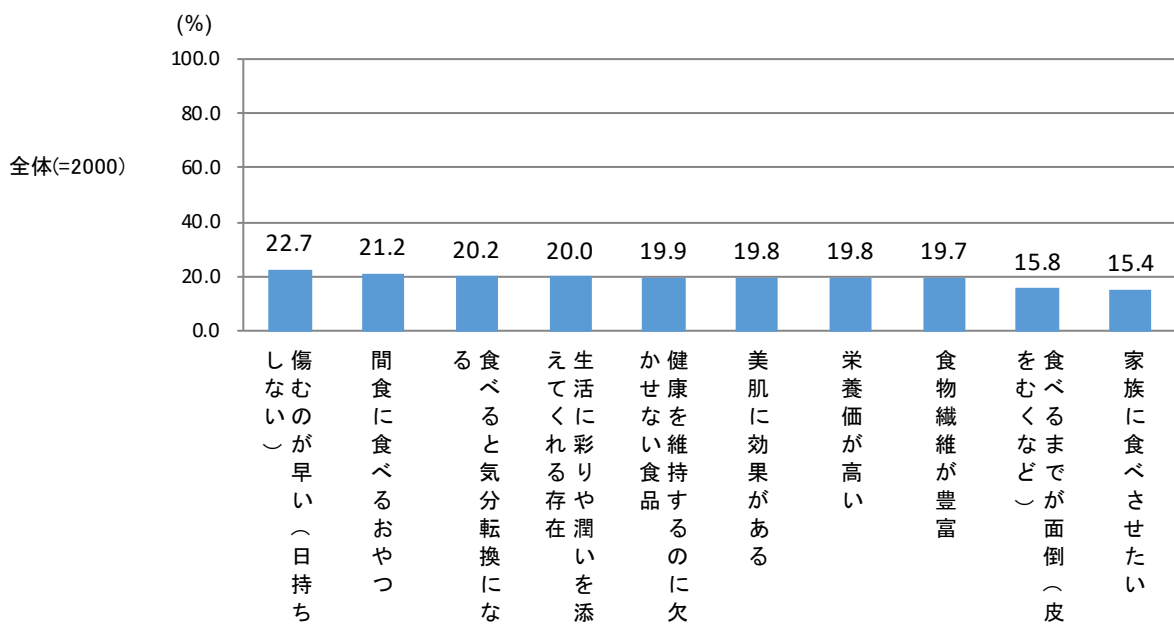
全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

2. アンケート調査の分析結果 — (1) 日常の果物の消費行動



		全体	(n=2000)	22.7	21.2	20.2	20.0	19.9	19.8	19.8	19.7	15.8	15.4
性別	男性	(n=1001)	16.7	17.5	15.5	12.4	17.7	8.8	17.4	17.6	11.8	8.5	
	女性	(n=999)	28.6	24.9	24.8	27.5	22.1	30.8	22.2	21.8	19.7	22.2	
年代	20代	(n=310)	21.9	23.2	24.8	21.0	17.4	25.2	26.1	13.2	14.2	7.7	
	30代	(n=390)	26.7	20.8	19.7	18.7	17.9	21.0	23.1	17.7	19.7	15.9	
	40代	(n=460)	24.3	17.6	18.5	20.2	20.9	21.5	20.4	20.4	17.2	17.8	
	50代	(n=387)	21.4	21.7	19.4	18.3	21.2	17.6	15.5	19.4	16.3	17.1	
	60代	(n=453)	19.0	23.4	19.6	21.4	21.2	15.2	15.7	25.4	11.5	16.1	
性別年代	男性20代	(n=158)	13.3	19.6	17.7	14.6	12.0	8.9	19.0	9.5	9.5	4.4	
	男性30代	(n=197)	19.3	16.2	13.7	13.2	18.8	11.7	20.8	17.3	15.2	11.2	
	男性40代	(n=232)	19.0	14.7	15.1	11.2	19.0	10.8	17.2	17.2	12.1	9.1	
	男性50代	(n=193)	17.6	21.2	15.0	8.3	17.1	7.3	14.5	15.5	14.5	10.4	
	男性60代	(n=221)	13.6	16.7	16.3	14.9	19.9	5.4	15.8	25.8	7.7	6.8	
	女性20代	(n=152)	30.9	27.0	32.2	27.6	23.0	42.1	33.6	17.1	19.1	11.2	
	女性30代	(n=193)	34.2	25.4	25.9	24.4	17.1	30.6	25.4	18.1	24.4	20.7	
	女性40代	(n=228)	29.8	20.6	21.9	29.4	22.8	32.5	23.7	23.7	22.4	26.8	
	女性50代	(n=194)	25.3	22.2	23.7	28.4	25.3	27.8	16.5	23.2	18.0	23.7	
女性60代	(n=232)	24.1	29.7	22.8	27.6	22.4	24.6	15.5	25.0	15.1	25.0		
果物摂取量	200g以上	(n=208)	13.0	27.4	23.6	20.7	25.0	19.7	22.1	26.0	9.1	17.3	
	100g~200g未満	(n=708)	22.7	26.3	25.7	25.6	25.7	23.2	23.6	24.7	15.4	19.8	
	100g未満	(n=639)	26.6	19.1	19.9	20.5	19.2	19.7	19.7	18.0	16.9	17.8	
令和元年度全体		(n=2000)	22.4	22.0	19.6	18.3	20.6	20.7	19.0	19.6	15.5	16.0	

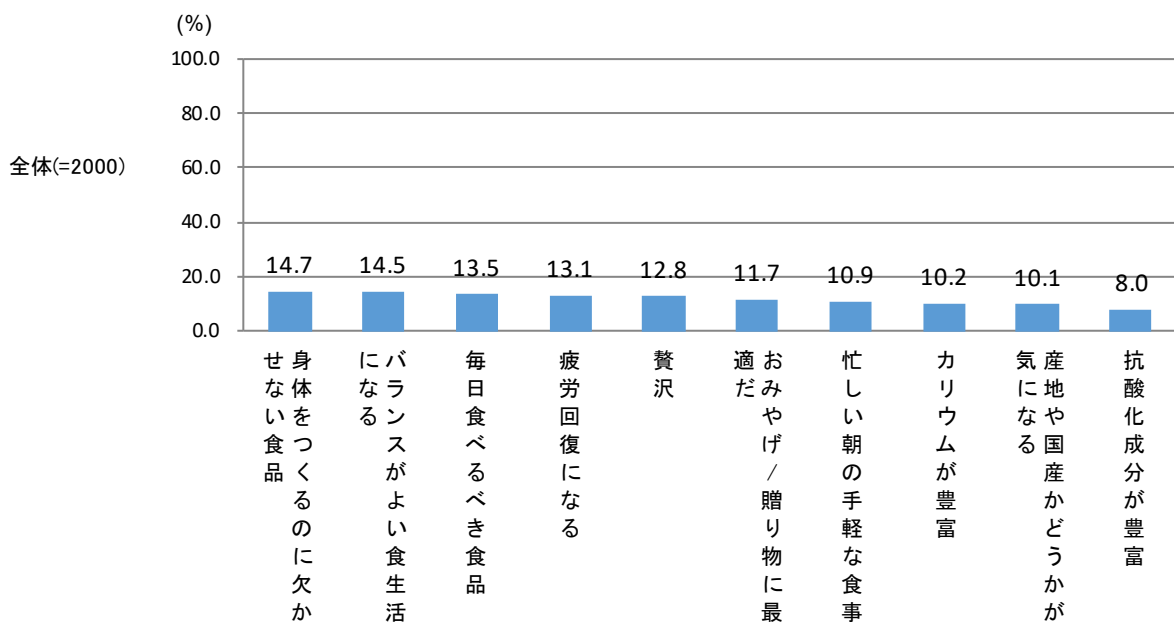
全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

2. アンケート調査の分析結果 — (1) 日常の果物の消費行動



		全体 (n=2000)	14.7	14.5	13.5	13.1	12.8	11.7	10.9	10.2	10.1	8.0
性別	男性 (n=1001)	13.6	11.6	11.4	12.0	8.6	10.2	7.0	7.6	5.6	6.3	
	女性 (n=999)	15.8	17.4	15.6	14.2	17.0	13.2	14.8	12.7	14.5	9.6	
年代	20代 (n=310)	15.8	14.8	11.6	11.6	16.8	13.9	12.9	6.5	4.8	6.5	
	30代 (n=390)	13.8	14.4	11.3	11.0	14.6	12.1	10.5	10.8	8.5	8.5	
	40代 (n=460)	17.0	15.7	13.9	10.9	15.9	10.4	10.7	9.3	12.8	8.3	
	50代 (n=387)	13.7	13.2	12.1	16.3	14.0	12.7	11.1	10.9	12.1	7.8	
	60代 (n=453)	13.2	14.3	17.4	15.5	4.4	10.4	9.9	12.4	10.4	8.4	
性別年代	男性20代 (n=158)	10.8	8.2	7.6	8.9	8.9	11.4	8.9	5.1	3.2	5.7	
	男性30代 (n=197)	12.7	14.2	10.2	12.7	8.6	11.7	5.1	11.7	6.1	8.1	
	男性40代 (n=232)	17.7	13.4	13.8	11.2	11.6	10.3	7.3	8.6	5.6	6.9	
	男性50代 (n=193)	11.9	9.8	7.3	15.0	9.8	9.3	6.7	5.7	7.3	3.6	
	男性60代 (n=221)	13.6	11.3	16.3	11.8	4.1	8.6	7.2	6.3	5.4	6.8	
	女性20代 (n=152)	21.1	21.7	15.8	14.5	25.0	16.4	17.1	7.9	6.6	7.2	
	女性30代 (n=193)	15.0	14.5	12.4	9.3	20.7	12.4	16.1	9.8	10.9	8.8	
	女性40代 (n=228)	16.2	18.0	14.0	10.5	20.2	10.5	14.0	10.1	20.2	9.6	
	女性50代 (n=194)	15.5	16.5	17.0	17.5	18.0	16.0	15.5	16.0	17.0	11.9	
女性60代 (n=232)	12.9	17.2	18.5	19.0	4.7	12.1	12.5	18.1	15.1	9.9		
果物摂取量	200g以上 (n=208)	23.1	17.3	23.1	14.9	9.6	13.5	14.9	18.8	10.1	13.5	
	100g~200g未満 (n=708)	16.5	17.8	18.2	17.7	11.2	13.3	15.0	11.4	10.2	9.5	
	100g未満 (n=639)	14.1	15.0	11.4	11.4	13.6	11.7	10.5	10.0	11.6	6.7	
令和元年度全体 (n=2000)		14.6	14.8	13.9	12.9	10.2	9.9	12.6	9.9	10.5	7.2	

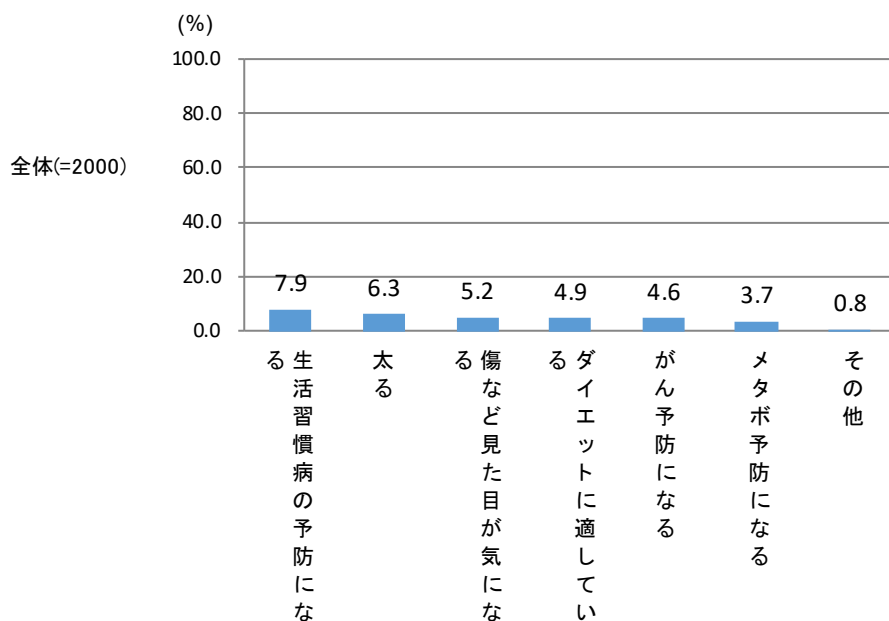
全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

2. アンケート調査の分析結果 — (1) 日常の果物の消費行動



		全体	(n=2000)	7.9	6.3	5.2	4.9	4.6	3.7	0.8
性別	男性	(n=1001)	7.0	4.1	4.0	4.0	4.2	4.3	1.1	
	女性	(n=999)	8.8	8.4	6.3	5.7	5.0	3.1	0.5	
年代	20代	(n=310)	5.5	2.3	5.5	10.0	4.8	3.9	0.0	
	30代	(n=390)	7.7	4.9	6.9	3.6	3.6	2.1	1.0	
	40代	(n=460)	8.7	6.5	5.9	5.2	5.2	4.3	0.7	
	50代	(n=387)	7.5	8.0	5.7	4.4	5.4	4.4	1.3	
	60代	(n=453)	9.3	8.4	2.2	2.4	4.0	3.8	0.9	
性別年代	男性20代	(n=158)	5.1	0.6	5.1	7.0	5.1	4.4	0.0	
	男性30代	(n=197)	8.6	5.1	5.1	2.5	5.1	3.0	1.0	
	男性40代	(n=232)	9.1	5.2	4.3	4.7	5.6	5.6	0.9	
	男性50代	(n=193)	5.2	4.7	5.2	3.6	3.6	4.7	2.1	
	男性60代	(n=221)	6.3	4.1	0.9	2.7	1.8	3.6	1.4	
	女性20代	(n=152)	5.9	3.9	5.9	13.2	4.6	3.3	0.0	
	女性30代	(n=193)	6.7	4.7	8.8	4.7	2.1	1.0	1.0	
	女性40代	(n=228)	8.3	7.9	7.5	5.7	4.8	3.1	0.4	
女性50代	(n=194)	9.8	11.3	6.2	5.2	7.2	4.1	0.5		
女性60代	(n=232)	12.1	12.5	3.4	2.2	6.0	3.9	0.4		
果物摂取量	200g以上	(n=208)	13.0	7.7	4.3	7.7	8.7	5.8	1.4	
	100g～200g未満	(n=708)	10.0	6.5	5.1	5.6	5.5	4.8	0.3	
	100g未満	(n=639)	6.9	6.1	5.3	4.4	3.9	2.3	0.6	
令和元年度全体		(n=2000)	8.6	5.3	4.3	4.8	4.8	3.1	0.5	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5～10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5～10ポイント未満低い。

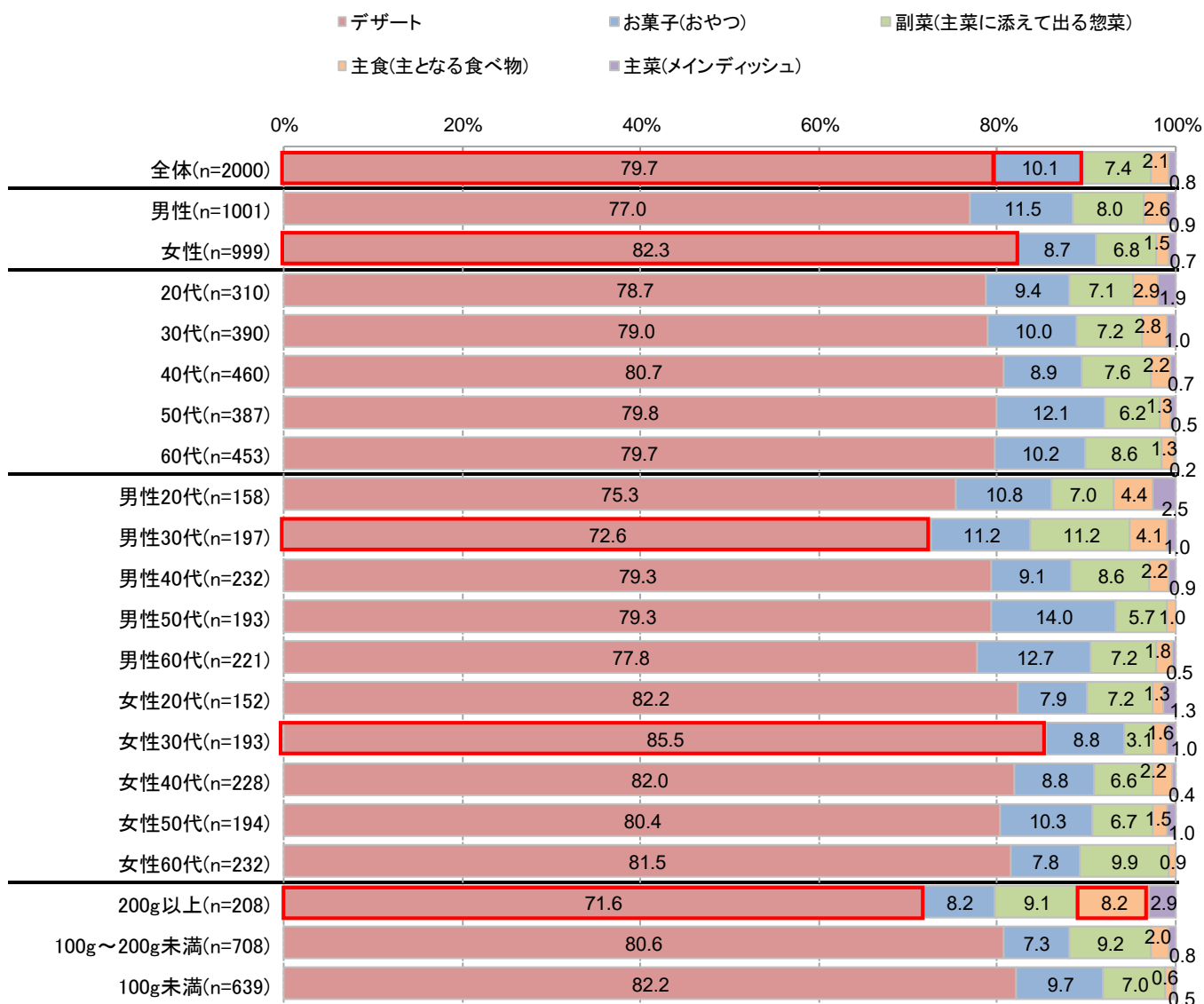
### ⑪果物のカテゴリー認識

- 全体では「デザート」が突出している。次いで、「お菓子」が1割となった。
- 性別で見ると、『女性』では「デザート」の割合が『男性』より高い。
- 性別×年代で見ると、『男性30代』は「デザート」が7割台前半にとどまってお、他の層よりやや低い。また、『女性30代』は「デザート」が8割台半ばで、他の層よりやや高い。
- 果物摂取量別で見ると、『200g以上』の層では、他の層と比べて「デザート」が低く、「主食」がやや高い。

Q11. あなたにとって果物は、以下のどのカテゴリーに入る食べ物とお考えですか。

もっとも近いと思うものをひとつ選んでください。必ずひとつ選んでください。(SA)

※コメントで触れている箇所は





### (1) 日常の果物の消費行動 まとめ

- 果物を200g以上摂取できている人の割合は13.4%で、令和元年度調査(14.8%)からやや減少。
  - 果物をほぼ毎日摂取している人は24.2%。週1回以上摂取している人は60.5%で、令和元年度調査(58.8%)から微増している。  
→摂取量は減少傾向だが、摂取頻度は減少傾向に歯止め。
  - 女性、高齢層は、男性、若年層よりも摂取頻度が高い。
  - 「おいしく好きだから」果物を摂取する人が増加傾向。
  - 果物を毎日は摂らない理由では、「他の食品に比べて値段が高いから」が最多かつ増加傾向。
  - 大半の場合において、果物は「そのまま」で摂取されている。
- 
- 1日あたりの果物の摂取量では、「100g～150g未満」が33.0%で最多。次いで「50g～100g未満」が31.0%で、50g～150g未満が6割超を占めるボリュームゾーン。200g以上摂取できている人は13.4%。(p14)
  - 200g以上摂取できている人の割合は、令和元年度調査の14.8%から減少している。(p14)
  - 1日あたりの摂取量が200g未満の人の摂取できていない理由は、「値段が高く食費に余裕がないから」「他に食べる食品があるから」「一度にそんなに量を食べられないから」が上位となっている。(p15～16)
  - 果物の摂取頻度では「ほぼ毎日」が24.2%で最多。次いで、「ほとんど食べない」「週1～2日」「週3～4日」「月1～3日」が、いずれも2割前後となった。(p18)
  - 女性や60代は、男性や若年層よりも摂取頻度が高い傾向がみられる。(p18)
  - 摂取している時間帯では「朝食時」「夕食時」がトップ2。次に「間食のおやつ時」が続く。(p19～20)
  - 令和元年度調査と比較すると、「朝食時」が増加し、「間食のおやつ時」が減少。(p20)
  - 男性20～50代と女性30代は「夕食時」、男性60代、女性20代、40～60代は「朝食時」の割合が、それぞれ最も高い。(p20)
  - 摂取理由は「おいしく好きだから」「健康に良いから」「旬や味覚を楽しめるから」の順。(p21～22)
  - 令和元年度調査と比較すると、「おいしく好きだから」が増加し、「健康によいから」がやや減少。(p21)
  - 果物摂取量が少ない層は全般的に低スコアで、果物を食べる理由に乏しい。(p21)
  - 一方、果物を毎日は摂らない理由は、「他の食品に比べて値段が高いから」「日持ちがせず買い置きができないから」「食べるまでに皮をむくなど手間がかかるから」が中心。(p23～24)
  - 令和元年度調査と比較すると、「他の食品に比べて値段が高いから」が微増。(p23～24)
  - 60代では「他に食べる食品があるから」が最大の理由。(p23～24)
  - 果物の摂取方法では「そのまま」が突出して高い。(p25)
  - 果物の摂取を増加できると思う方法(食べ方)では「果汁」「カットフルーツ」が並んだ。(p26)
  - 果物のイメージでは「おいしい」が76.3%でトップ。次いで「甘い」が64.4%で、この2つがイメージの中心である。(p27～30)
  - 女性は「おいしい」「季節を感じられる食品」「ビタミンが多い」「健康によい」「値段が高い」「野菜の代わりにビタミンや食物繊維を摂取できる食品」「手軽に食べられる」「傷むのが早い」「生活に彩りや潤いを添えてくれる存在」「美肌に効果がある」「家族に食べさせたい」というイメージが男性より顕著に高い。(p27～30)
  - 果物摂取量が多い層では、「季節を感じられる食品」「傷むのが早い」の割合が低い。(p27～30)

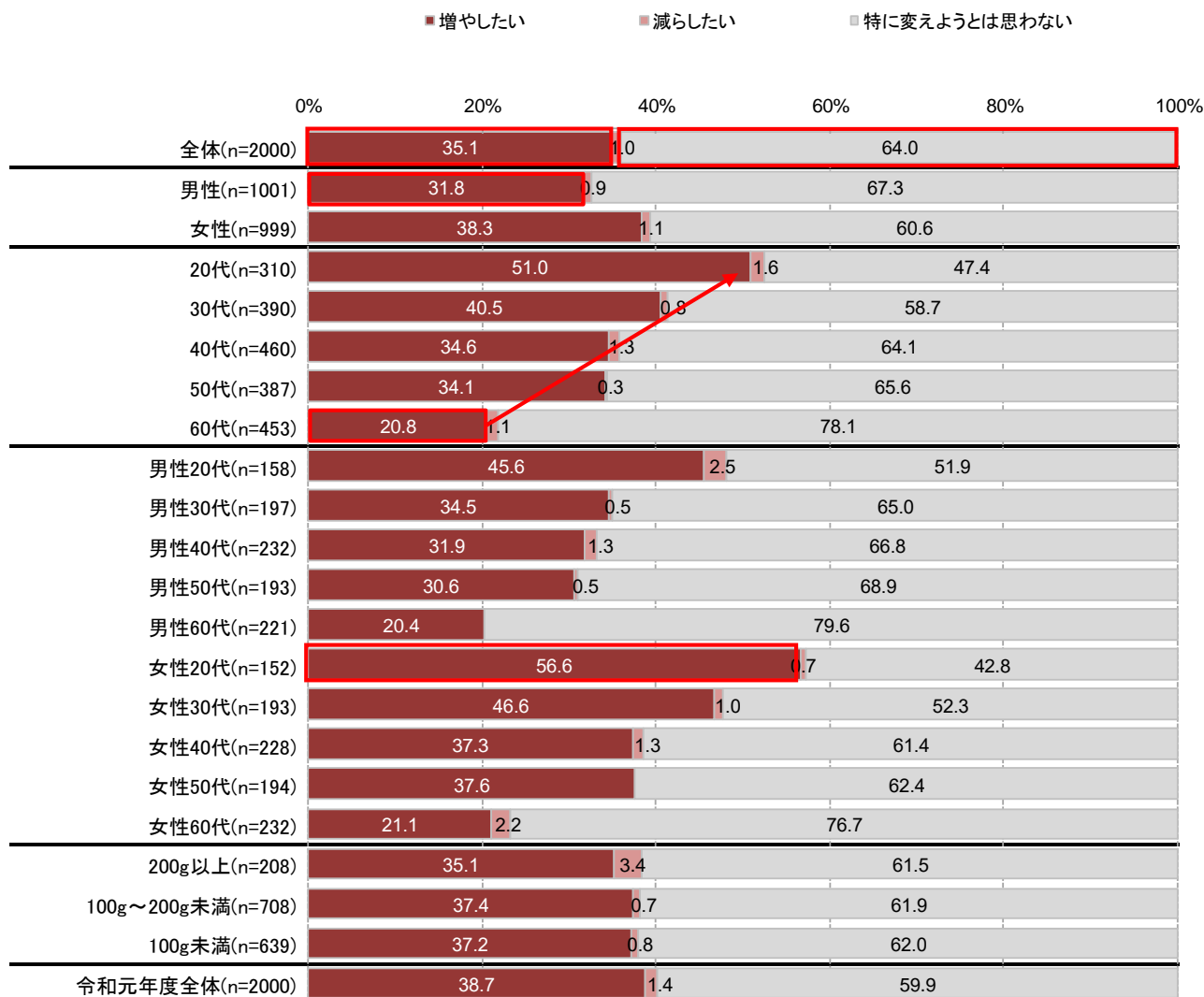
## (2) 今後の果物の摂取意向

### ①今後の果物の摂取量の変化

- 全体では、「特に変えようとは思わない」が6割台半ばを占めている。次いで、「増やしたい」が3割台半ばで、「減らしたい」はごくわずか。
- 令和元年度結果と比較すると、「増やしたい」が減少した。
- 性別で見ると、『男性』は「増やしたい」の割合が『女性』よりも低い。
- 年代別にみると、高年代層ほど「増やしたい」の割合が低く、『60代』では2割強にとどまる。
- 性別×年代で見ると、『女性20代』では「増やしたい」が5割台後半で、他の層より高い。

Q6. あなたは今後、果物を食べる量を増やしたいと思いますか。(SA)

※コメントで触れている箇所は

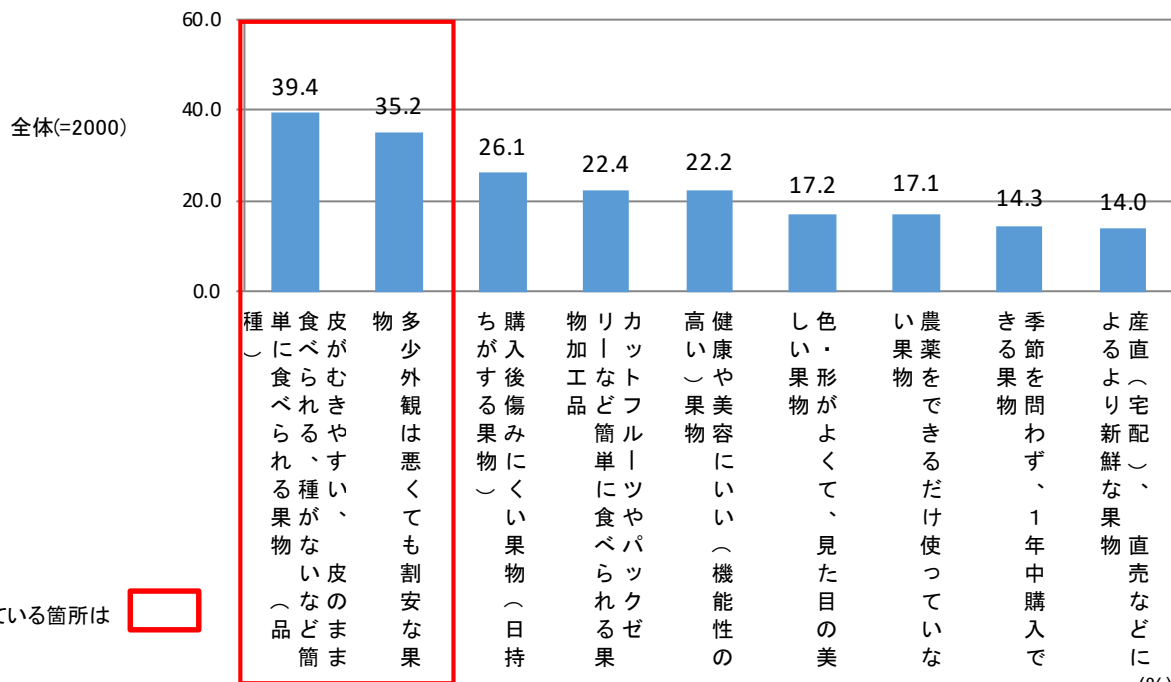


## ②果物の消費量を増やすための提供方法

- 全体では「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が最も高く、「多少外観は悪くても割安な果物」が続く。
- 令和元年度結果と比較すると、「カットフルーツやパックゼリーなど簡単に食べられる果物加工品」が増加している。
- 性別で見ると、『女性』は「農業をできるだけ使っていない果物」の割合が『男性』を大きく上回っている。
- 果物摂取量が多いほど「産直、直売などによるより新鮮な果物」「少々値段が高くて、おいしさが確かな果物」の割合が高くなる傾向が顕著である。

Q12. どのような果物が提供されれば、果物をより多く食べるようになると思いますか。(MA)

(%)



※コメントで触れている箇所は



		全体 (n=2000)	39.4	35.2	26.1	22.4	22.2	17.2	17.1	14.3	14.0
性別	男性 (n=1001)		33.0	29.9	20.3	24.1	16.2	19.2	9.7	11.2	9.2
	女性 (n=999)		45.8	40.4	31.9	20.6	28.1	15.1	24.4	17.4	18.8
年代	20代 (n=310)		41.9	29.4	23.9	25.5	22.9	28.7	11.3	13.2	8.7
	30代 (n=390)		41.0	34.4	25.6	23.8	20.0	16.7	13.1	14.6	12.1
	40代 (n=460)		37.0	37.8	25.2	22.8	21.7	13.7	15.9	12.2	11.5
	50代 (n=387)		39.8	35.4	23.5	23.8	20.9	16.5	16.5	13.7	14.2
	60代 (n=453)		38.4	36.9	31.1	17.2	24.9	13.7	26.0	17.4	21.6
性別年代	男性20代 (n=158)		34.8	28.5	14.6	24.1	17.1	32.3	5.7	8.2	7.0
	男性30代 (n=197)		34.5	31.0	20.8	22.8	18.3	16.2	9.1	12.7	10.2
	男性40代 (n=232)		33.6	30.2	17.2	26.7	15.1	14.7	9.1	9.1	7.3
	男性50代 (n=193)		30.1	30.1	20.2	24.9	12.4	19.7	9.3	13.0	8.8
	男性60代 (n=221)		32.1	29.4	27.1	21.7	18.1	16.7	14.0	12.7	12.2
	女性20代 (n=152)		49.3	30.3	33.6	27.0	28.9	25.0	17.1	18.4	10.5
	女性30代 (n=193)		47.7	37.8	30.6	24.9	21.8	17.1	17.1	16.6	14.0
	女性40代 (n=228)		40.4	45.6	33.3	18.9	28.5	12.7	22.8	15.4	15.8
女性50代 (n=194)		49.5	40.7	26.8	22.7	29.4	13.4	23.7	14.4	19.6	
女性60代 (n=232)		44.4	44.0	34.9	12.9	31.5	10.8	37.5	22.0	30.6	
果物摂取量	200g以上 (n=208)		44.2	35.6	19.7	20.2	25.5	26.9	24.0	14.9	21.2
	100g~200g未満 (n=708)		42.2	41.8	30.9	20.2	27.4	17.2	22.9	19.9	18.1
	100g未満 (n=639)		40.1	38.2	29.6	20.3	24.7	17.1	15.8	12.8	13.9
令和元年度全体 (n=2000)			35.5	36.9	23.2	17.7	24.6	16.5	17.8	12.8	13.9

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。



## (2) 今後の果物の摂取意向 まとめ

- 35.1%の人が果物の摂取量を増やしたいと考えている。
  - 摂取量を増やしたいと考えている人の割合は、前回から減少。
  - 男性、高齢層の「増やしたい」の割合は低め。
  - 果物の摂取量を増やすための提供方法では、「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」「多少外観は悪くても割安な果物」が中心。
  - 果物摂取量が多いほど「産直、直売などによるより新鮮な果物」「少々値段が高くても、おいしさが確かな果物」の割合が高い。  
→新鮮さやおいしさの訴求により、ヘビーユーザーの摂取量をより拡大できる可能性がうかがわれる。
- 
- 今後の果物の摂取量についての意向では、「特に変えようとは思わない」が64.0%を占めるが、「増やしたい」も35.1%に上っており、「減らしたい」という人はほとんどいない。(p34)
  - 摂取量を増やしたい人の割合は令和元年度調査(38.7%)から減少。(p34)
  - 男性では「増やしたい」が31.8%にとどまり、女性の38.3%を下回っている。(p34)
  - 年代が高くなるほど、摂取量を増やしたい人の割合が低くなる傾向。(p34)
  - 果物の摂取量を増やすための提供方法では、「皮がむきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物」が最も高く、「多少外観は悪くても割安な果物」が続く。(p35~36)
  - 令和元年度結果と比較すると、「カットフルーツやパックゼリーなど簡単に食べられる果物加工品」が増加。(p35~36)
  - 女性は「農薬をできるだけ使っていない果物」の割合が男性を大きく上回る。(p35~36)
  - 果物摂取量が多いほど「産直、直売などによるより新鮮な果物」「少々値段が高くても、おいしさが確かな果物」の割合が高くなる傾向が顕著。(p35~36)

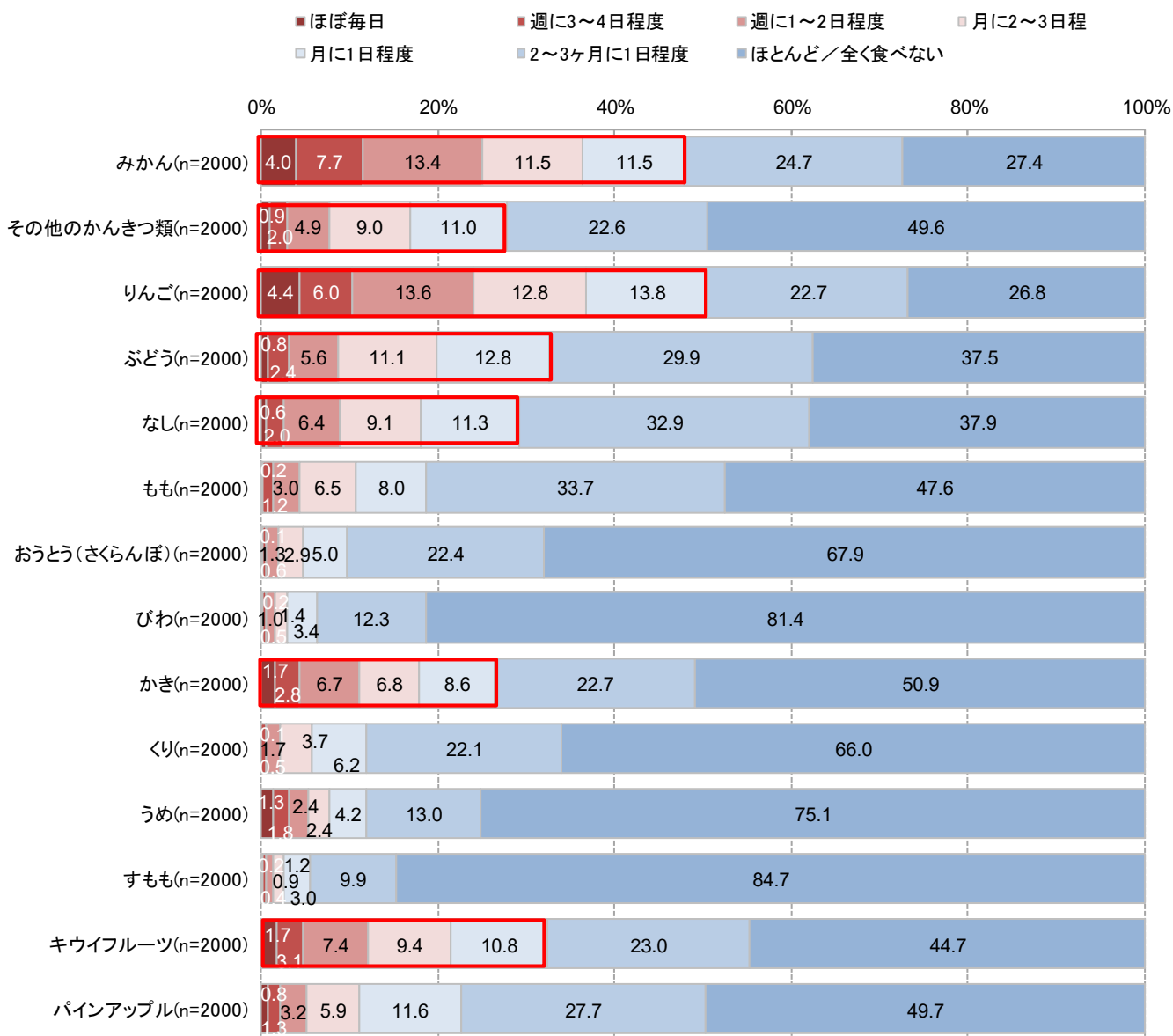
### (3) 果樹振興法14品目について

### ①-1 果樹振興法14品目の喫食

- 「月に1日程度」以上の割合を比較すると、『りんご』が5割強で最も高く、『みかん』が5割弱で続く。以下、『ぶどう』『キウイフルーツ』『なし』『その他のかんきつ類』『かき』が、いずれも3割前後で続いている。

Q14. 以下のそれぞれの食材について、あなたがそれを召し上がる量・頻度をお答えください。(SA)

※コメントで触れている箇所は  

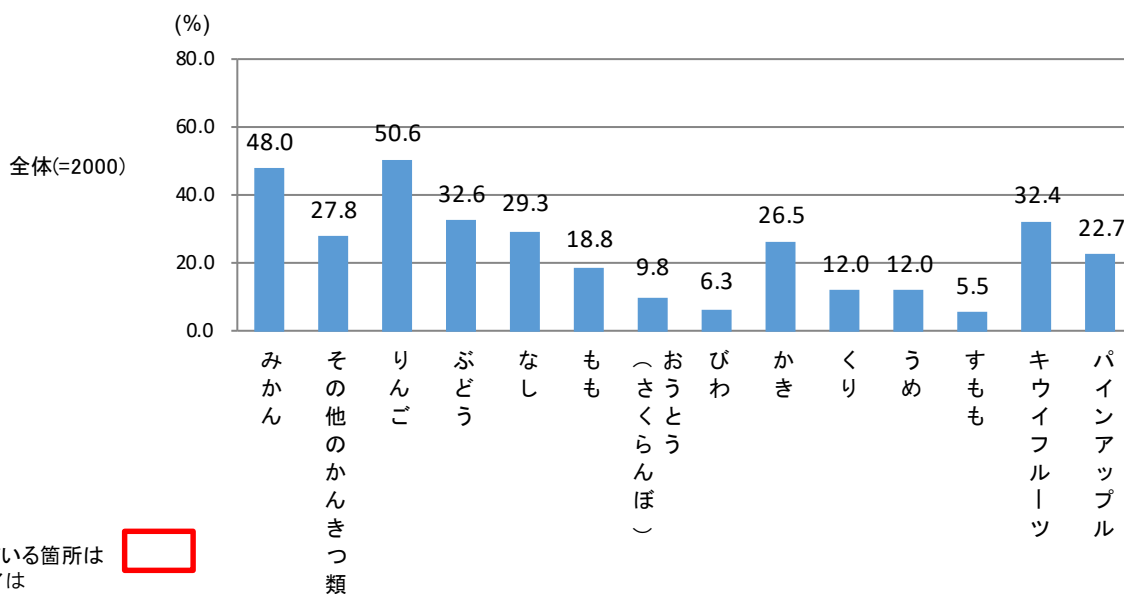




### ①-2 果樹振興法14品目の喫食（月1回以上喫食）

- 令和元年度結果と比較すると、「みかん」が1割弱減少し、「りんご」と順位が入れ替わった。
- 性別で見ると、『女性』は「りんご」「キウイフルーツ」「かき」を月1回以上喫食している割合が『男性』より顕著に高い。
- 年代別にみると、『60代』の月1回以上喫食している割合が全般的に高く、特に「りんご」「みかん」は6割を超えている。
- 果物摂取量別で見ると、全品目で摂取量が多いほど月1回以上喫食している割合が高く、特に「みかん」については『200g以上』の層の月1回以上喫食している割合が7割台半ばに及んでいる。

Q14. 以下のそれぞれの食材について、あなたがそれを召し上がる量・頻度をお答えください。（SA）



※コメントで触れている箇所は  
※グラフのスコアは

「月1回以上喫食」のスコア

		全体	(%)													
全体		(n=2000)	48.0	27.8	50.6	32.6	29.3	18.8	9.8	6.3	26.5	12.0	12.0	5.5	32.4	22.7
性別	男性	(n=1001)	44.9	25.9	46.1	30.6	28.3	18.4	10.3	7.6	21.6	11.8	13.0	6.1	27.2	23.5
	女性	(n=999)	51.1	29.7	55.1	34.6	30.2	19.1	9.2	5.0	31.4	12.2	10.9	4.9	37.5	21.8
年代	20代	(n=310)	38.7	15.8	39.0	22.6	21.6	12.9	7.7	5.2	14.8	7.7	10.0	5.8	23.2	19.7
	30代	(n=390)	46.9	24.9	47.4	34.6	28.2	18.2	10.5	7.4	23.8	12.3	13.6	7.4	31.3	23.8
	40代	(n=460)	43.5	27.0	47.0	28.9	27.4	17.2	10.2	6.1	22.6	11.7	11.5	5.7	31.3	21.5
	50代	(n=387)	46.0	29.5	49.4	30.2	27.1	15.8	7.5	4.9	24.8	10.1	10.3	3.9	32.0	20.2
	60代	(n=453)	61.4	38.0	65.8	43.5	39.1	27.4	11.9	7.5	42.2	16.6	13.7	4.9	40.8	26.9
性別年代	男性20代	(n=158)	38.6	17.7	38.0	23.4	24.1	15.8	11.4	8.2	14.6	8.9	8.9	7.0	19.0	19.6
	男性30代	(n=197)	49.2	25.9	46.2	32.5	26.9	17.8	11.2	10.7	19.8	12.2	16.2	9.1	25.9	23.4
	男性40代	(n=232)	40.1	25.0	44.0	26.3	27.6	19.4	10.8	6.0	16.4	9.9	11.2	4.7	25.9	21.6
	男性50代	(n=193)	37.8	25.9	40.9	27.5	25.9	14.5	10.9	6.2	21.2	9.3	13.0	5.7	26.9	22.3
	男性60代	(n=221)	56.6	32.6	58.4	41.2	35.3	23.1	7.7	7.2	33.9	17.6	14.9	4.5	35.7	29.4
	女性20代	(n=152)	38.8	13.8	40.1	21.7	19.1	9.9	3.9	2.0	15.1	6.6	11.2	4.6	27.6	19.7
	女性30代	(n=193)	44.6	23.8	48.7	36.8	29.5	18.7	9.8	4.1	28.0	12.4	10.9	5.7	36.8	24.4
	女性40代	(n=228)	46.9	28.9	50.0	31.6	27.2	14.9	9.6	6.1	28.9	13.6	11.8	6.6	36.8	21.5
	女性50代	(n=194)	54.1	33.0	57.7	33.0	28.4	17.0	4.1	3.6	28.4	10.8	7.7	2.1	37.1	18.0
女性60代	(n=232)	65.9	43.1	72.8	45.7	42.7	31.5	15.9	7.8	50.0	15.5	12.5	5.2	45.7	24.6	
果物摂取量	200g以上	(n=208)	76.0	51.9	78.4	57.7	58.7	45.7	28.8	21.2	53.8	30.8	25.5	17.3	56.3	47.6
	100g~200g未満	(n=708)	64.5	40.1	68.2	46.2	41.7	26.1	13.7	8.9	38.6	16.7	16.1	8.2	46.0	32.6
	100g未満	(n=639)	49.6	24.3	53.8	30.4	24.3	14.1	5.8	2.8	21.6	8.3	9.7	2.5	31.1	18.2
令和元年度全体		(n=2000)	56.6	31.0	54.5	30.4	29.0	20.7	11.1	6.7	27.7	11.0	12.5	5.8	31.5	23.7

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

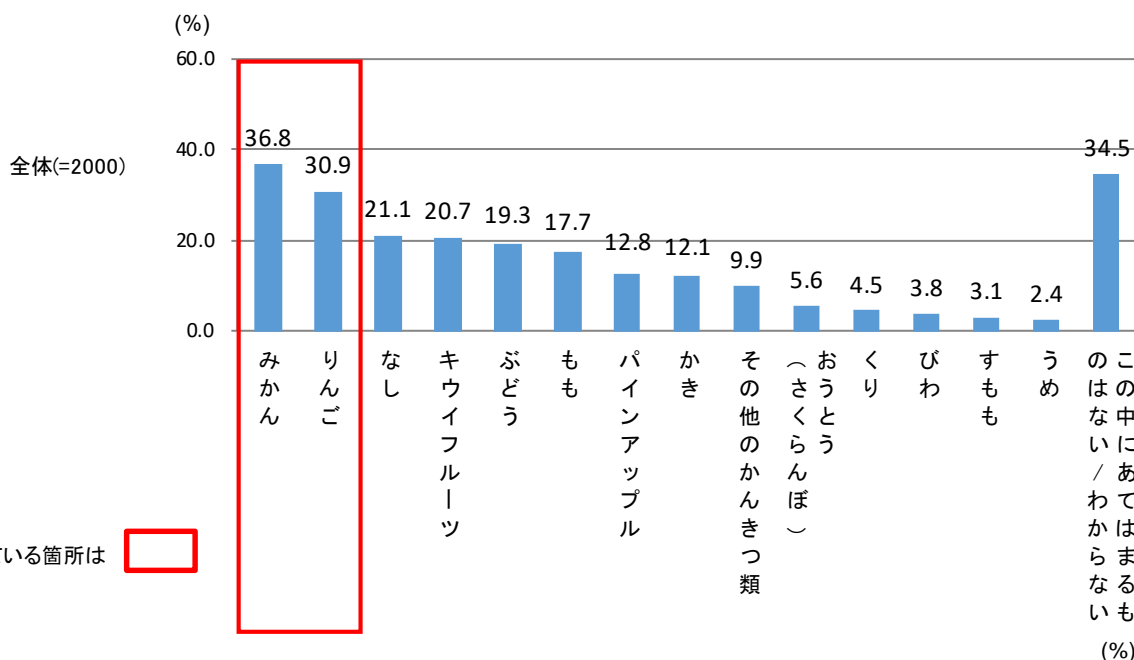
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

## ②果樹振興法14品目のうち増やしたいもの

- 全体では、「みかん」が3割台後半で最も高く、「りんご」が3割強で続く。以下、「なし」「キウイフルーツ」「ぶどう」「もも」がいずれも2割前後で続いている。
- 性別で見ると、『女性』は「りんご」「キウイフルーツ」の割合が『男性』より顕著に高い。
- 年代別にみると、低年代ほど「パインアップル」の割合が高くなる傾向がみられる。
- 果物摂取量別で見ると、摂取量が多いほど、「みかん」「なし」「ぶどう」「かき」の割合が高くなる傾向が顕著である。

Q15. 以下のそれぞれの果物のうち、あなたが今後、買う量を増やしたいと思うものがありましたら、全てお答えください。(MA)



※コメントで触れている箇所は



		全体	(n=2000)	36.8	30.9	21.1	20.7	19.3	17.7	12.8	12.1	9.9	5.6	4.5	3.8	3.1	2.4	2.4	34.5
性別	男性	(n=1001)	33.2	25.9	20.5	14.3	16.7	17.0	13.2	9.8	6.5	4.2	4.3	3.5	2.4	2.1	2.1	2.1	39.9
	女性	(n=999)	40.4	35.9	21.7	27.1	21.8	18.3	12.3	14.4	13.2	6.9	4.7	4.0	3.8	2.7	2.7	2.7	29.1
年代	20代	(n=310)	43.2	31.0	27.1	20.3	23.5	23.2	19.4	8.1	9.7	8.1	4.2	2.9	3.5	3.2	3.2	3.2	31.3
	30代	(n=390)	39.0	29.7	24.9	21.0	17.9	16.9	13.3	10.3	8.2	7.4	4.4	4.4	4.6	3.8	3.8	3.8	33.1
	40代	(n=460)	31.3	25.4	19.8	20.4	20.2	18.5	13.3	10.0	8.5	7.0	6.1	4.8	3.7	2.2	2.2	2.2	41.1
	50代	(n=387)	34.1	31.0	19.9	20.2	15.5	17.8	9.8	10.9	13.4	3.6	2.3	4.4	1.8	1.3	1.3	1.3	34.4
	60代	(n=453)	38.4	37.3	16.1	21.4	19.6	13.5	9.7	19.6	9.7	2.4	5.1	2.2	2.0	1.8	1.8	1.8	31.3
性別年代	男性20代	(n=158)	41.8	25.9	23.4	12.7	17.1	19.6	15.8	6.3	7.6	5.7	3.2	2.5	1.9	1.3	1.3	1.3	36.7
	男性30代	(n=197)	35.0	26.4	24.9	14.7	13.7	12.7	14.2	8.1	6.1	6.1	5.1	4.1	3.6	4.1	4.1	4.1	37.1
	男性40代	(n=232)	28.9	23.7	17.7	15.5	15.9	19.0	15.1	9.9	5.6	4.7	3.9	4.3	3.4	1.7	1.7	1.7	44.4
	男性50代	(n=193)	26.9	22.3	20.7	12.4	15.5	20.2	8.8	5.2	7.3	3.6	1.6	5.2	0.5	0.5	0.5	0.5	42.5
	男性60代	(n=221)	35.3	30.8	17.2	15.4	20.8	14.0	12.2	17.6	6.3	1.4	7.2	1.4	2.3	2.7	2.7	2.7	37.6
	女性20代	(n=152)	44.7	36.2	30.9	28.3	30.3	27.0	23.0	9.9	11.8	10.5	5.3	3.3	5.3	5.3	5.3	5.3	25.7
	女性30代	(n=193)	43.0	33.2	24.9	27.5	22.3	21.2	12.4	12.4	10.4	8.8	3.6	4.7	5.7	3.6	3.6	3.6	29.0
	女性40代	(n=228)	33.8	27.2	21.9	25.4	24.6	18.0	11.4	10.1	11.4	9.2	8.3	5.3	3.9	2.6	2.6	2.6	37.7
	女性50代	(n=194)	41.2	39.7	19.1	27.8	15.5	15.5	10.8	16.5	19.6	3.6	3.1	3.6	3.1	2.1	2.1	2.1	26.3
女性60代	(n=232)	41.4	43.5	15.1	27.2	18.5	12.9	7.3	21.6	12.9	3.4	3.0	3.0	1.7	0.9	0.9	0.9	25.4	
果物摂取量	200g以上	(n=208)	51.0	39.4	31.3	24.0	29.8	25.5	14.9	22.6	9.6	11.5	6.7	4.3	7.2	3.8	3.8	3.8	16.8
	100g~200g未満	(n=708)	42.1	37.6	24.4	26.7	22.9	20.8	16.0	15.7	13.7	7.5	5.6	5.1	3.2	2.8	2.8	2.8	23.9
	100g未満	(n=639)	35.2	30.4	19.4	21.8	17.8	16.4	11.3	10.8	9.9	3.9	3.6	3.8	2.7	2.3	2.3	2.3	34.4
令和元年度全体		(n=2000)	37.7	31.0	18.2	20.4	19.9	19.5	12.9	10.9	10.9	5.7	4.1	4.2	2.8	2.5	2.5	2.5	33.1

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### (3) 果樹振興法14品目について まとめ

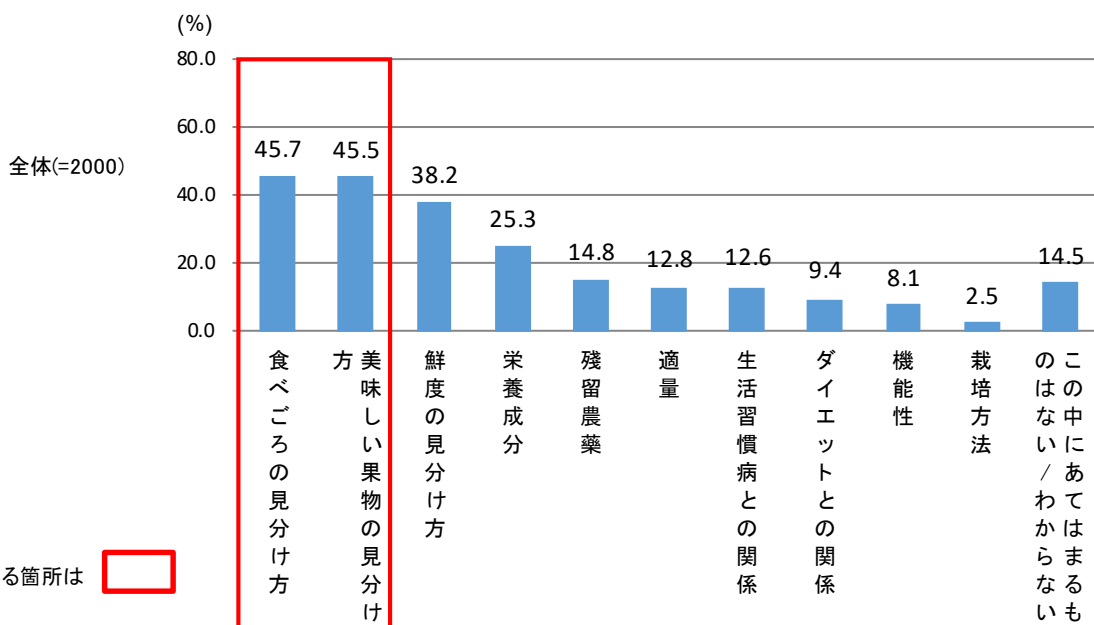
- 月に1回以上喫食している割合が高い品目は「りんご」と「みかん」。
  - 今後、購入量を増やしたい品目でもトップ2は「みかん」「りんご」であり、この2品目中心の傾向が継続すると考えられる。
- 
- ・ 果樹振興法14品目の月1日程度以上喫食している割合では、「りんご」が50.6%で最も高く、「みかん」が48.0%で続く。以下、「ぶどう」「キウイフルーツ」「なし」「その他のかんきつ類」「かき」を月に1日程度以上喫食している割合が、いずれも3割前後。(p39)
  - ・ 令和元年度結果と比較すると、「みかん」が1割弱減少し、「りんご」と順位が入れ替わった。(p40)
  - ・ 女性は「りんご」「キウイフルーツ」「かき」を月1回以上喫食している割合が男性より顕著に高い。(p40)
  - ・ 60代は、月1回以上喫食している割合が全般的に高く、特に「りんご」「みかん」は6割超。(p40)
- 
- ・ 今後、購入量を増やしたい品目では「みかん」が36.8%でトップ。次いで、「りんご」が30.9%で続く。(p41)
  - ・ 女性は「りんご」「キウイフルーツ」の割合が男性より顕著に高い。(p41)
  - ・ 低年代ほど「パインアップル」の割合が高くなる傾向。(p41)
  - ・ 果物摂取量が多いほど、「みかん」「なし」「ぶどう」「かき」の割合が高くなる傾向が顕著。(p41)

#### (4) 果物消費拡大施策について

### ①果物購入時の希望情報

- 全体では、「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」がともに4割台半ばで並んだ。次いで、「鮮度の見分け方」が続いている。
- 令和元年度結果と比較すると、「美味しい果物の見分け方」がやや増加している。
- 性別でみると、『女性』では「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」の割合が、『男性』より顕著に高い。
- 年代別でみると、年代が高いほど「残留農薬」の割合が高く、『60代』では2割を超えた。

Q13. 果物について知っておきたいことは何ですか。上位3つまでお答え下さい。(MA)



※コメントで触れている箇所は



		全体	(n=2000)	45.7	45.5	38.2	25.3	14.8	12.8	12.6	9.4	8.1	2.5	14.5
性別	男性	(n=1001)	39.9	38.3	34.6	26.2	10.9	13.1	13.2	8.1	8.4	2.7	19.5	
	女性	(n=999)	51.6	52.7	41.7	24.3	18.7	12.5	11.9	10.7	7.7	2.3	9.5	
年代	20代	(n=310)	41.0	48.4	37.7	27.4	8.1	12.3	8.4	12.3	8.1	3.2	15.5	
	30代	(n=390)	45.9	43.8	39.7	27.4	12.8	14.9	11.0	8.7	8.5	2.1	14.9	
	40代	(n=460)	43.9	42.6	37.0	24.1	14.8	13.3	13.0	10.2	8.5	2.8	15.9	
	50代	(n=387)	49.1	47.0	38.0	24.0	15.5	9.8	12.4	9.3	6.7	1.8	15.8	
	60代	(n=453)	47.7	46.4	38.4	24.1	20.5	13.5	16.3	7.3	8.4	2.6	11.0	
性別年代	男性20代	(n=158)	33.5	38.0	32.9	29.7	7.6	13.9	11.4	8.9	11.4	3.8	18.4	
	男性30代	(n=197)	40.1	36.5	37.6	30.5	12.2	16.2	11.2	5.6	8.6	2.5	18.8	
	男性40代	(n=232)	37.9	35.3	33.6	24.6	9.5	10.8	12.9	9.5	9.9	3.4	21.6	
	男性50代	(n=193)	44.0	39.4	31.6	24.9	13.5	9.3	15.0	10.4	5.7	2.6	20.7	
	男性60代	(n=221)	42.5	42.1	36.7	22.6	11.3	15.4	14.9	6.3	6.8	1.4	17.6	
	女性20代	(n=152)	48.7	59.2	42.8	25.0	8.6	10.5	5.3	15.8	4.6	2.6	12.5	
	女性30代	(n=193)	51.8	51.3	42.0	24.4	13.5	13.5	10.9	11.9	8.3	1.6	10.9	
	女性40代	(n=228)	50.0	50.0	40.4	23.7	20.2	15.8	13.2	11.0	7.0	2.2	10.1	
女性50代	(n=194)	54.1	54.6	44.3	23.2	17.5	10.3	9.8	8.2	7.7	1.0	10.8		
女性60代	(n=232)	52.6	50.4	40.1	25.4	29.3	11.6	17.7	8.2	9.9	3.9	4.7		
果物摂取量	200g以上	(n=208)	43.8	49.5	34.1	25.0	16.3	12.5	13.5	12.0	9.1	8.7	7.7	
	100g~200g未満	(n=708)	51.1	52.1	44.2	28.5	17.7	14.5	13.6	9.7	9.7	3.1	6.2	
	100g未満	(n=639)	46.2	47.1	40.7	26.3	16.1	14.6	12.7	10.3	7.4	1.3	12.1	
令和元年度全体		(n=2000)	47.7	41.9	41.7	26.3	18.3	11.3	16.2	10.2	10.3	4.0	12.5	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

## ②-1 果物消費拡大施策の認知

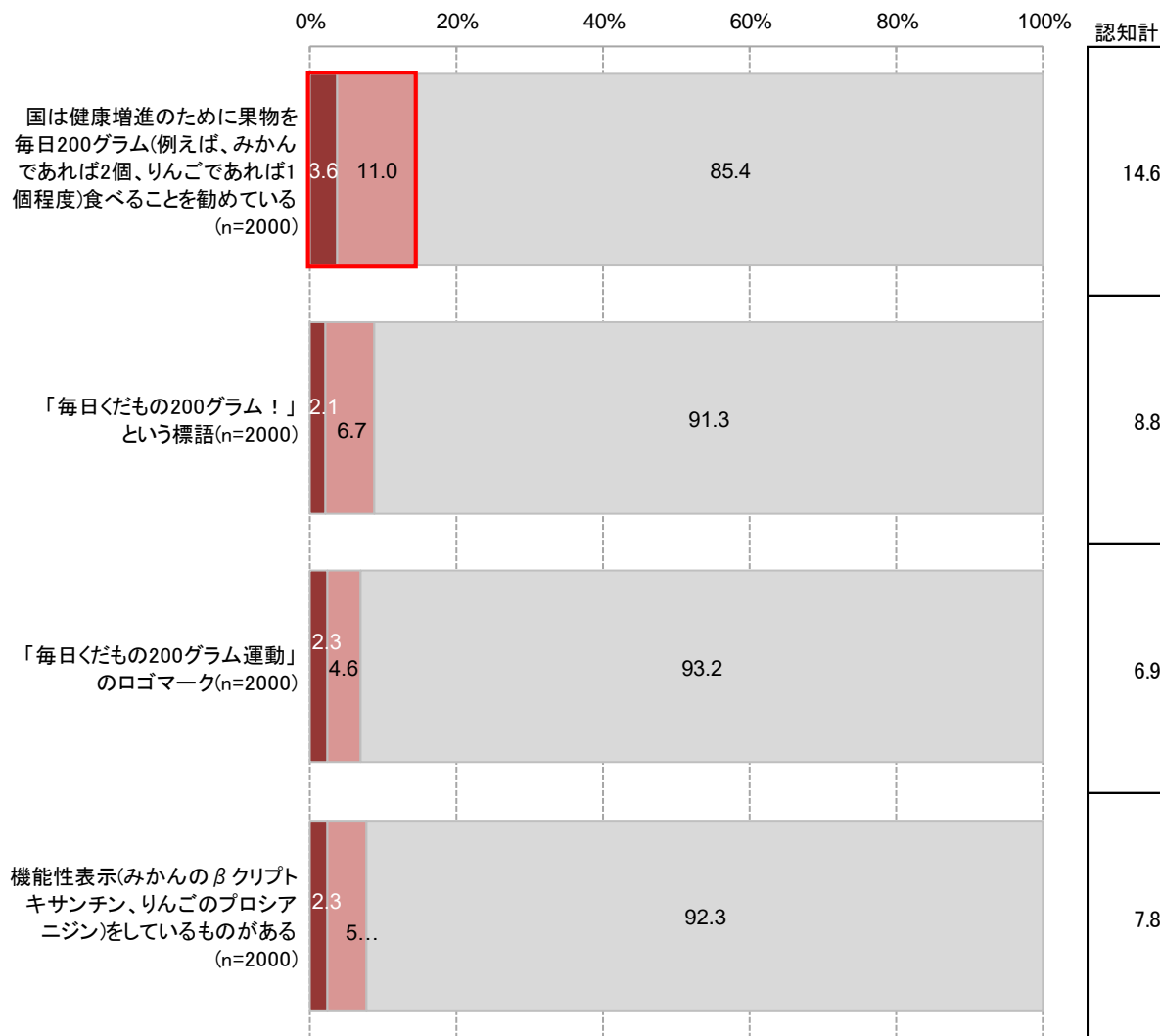
- 果物消費拡大施策に関する事柄では、『国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている』の認知が1割台半ばで最も高い。
- 『「毎日くだもの200グラム!」という標語』『「毎日くだもの200グラム運動」のロゴマーク』『機能性表示をしているものがある』の認知は、いずれも1割未満となった。

Q16. 以下の果物に関する事を、あなたをご存知でしたか。

当てはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。(SA)

※コメントで触れている箇所は

- 知っていた(見たことがある)
- 何となく聞いたことがある(見たことがあるような気がする)
- 知らなかった(見たことはない)



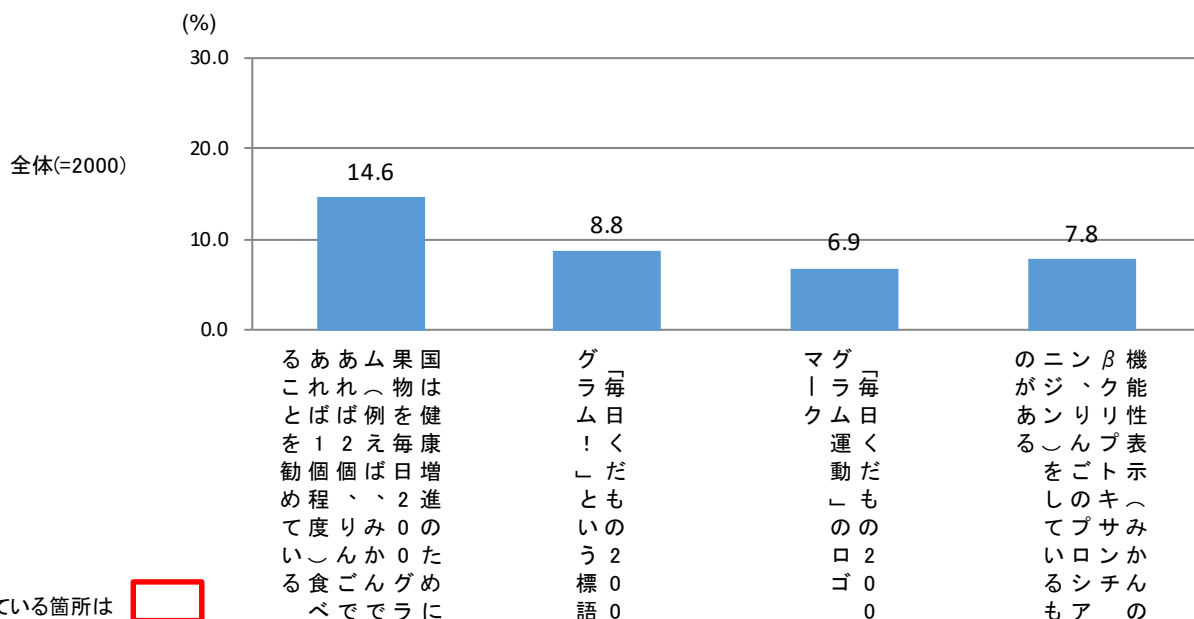
※「認知計」=「知っていた(見たことがある)」+「何となく聞いたことがある(見たことがあるような気がする)」

## ②-2 果物消費拡大施策の認知（認知計）

- 年代別にみると、全ての事柄で『20代』の認知が最も高く、特に「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」の認知が2割を超えている。
- 果物摂取量別でみると、全ての事柄で摂取量が多いほど認知が高くなる傾向が顕著であり、特に「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」「『毎日くだもの200グラム!』という標語」については『200g以上』の層の認知が3割を超えている。

Q16. 以下の果物に関する事を、あなたをご存知でしたか。

当てはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。（SA）



※コメントで触れている箇所は

		全体 (n=2000)	14.6	8.8	6.9	7.8
性別	男性 (n=1001)	13.3	9.8	9.0	8.3	
	女性 (n=999)	15.9	7.7	4.7	7.2	
年代	20代 (n=310)	21.0	12.9	11.0	13.9	
	30代 (n=390)	15.4	11.5	8.5	10.5	
	40代 (n=460)	11.3	6.7	6.7	6.1	
	50代 (n=387)	13.2	7.5	5.2	5.9	
	60代 (n=453)	14.1	6.6	4.2	4.4	
性別年代	男性20代 (n=158)	21.5	15.2	14.6	15.2	
	男性30代 (n=197)	18.3	14.7	13.2	13.7	
	男性40代 (n=232)	9.9	6.9	8.2	6.5	
	男性50代 (n=193)	8.8	7.3	5.7	4.7	
	男性60代 (n=221)	10.4	6.8	5.0	3.6	
	女性20代 (n=152)	20.4	10.5	7.2	12.5	
	女性30代 (n=193)	12.4	8.3	3.6	7.3	
	女性40代 (n=228)	12.7	6.6	5.3	5.7	
女性50代 (n=194)	17.5	7.7	4.6	7.2		
女性60代 (n=232)	17.7	6.5	3.4	5.2		
果物摂取量	200g以上 (n=208)	36.5	30.8	24.5	23.1	
	100g~200g未満 (n=708)	19.9	12.1	9.5	11.0	
	100g未満 (n=639)	9.1	3.1	2.2	3.6	

全体と比べて10ポイント以上高い。

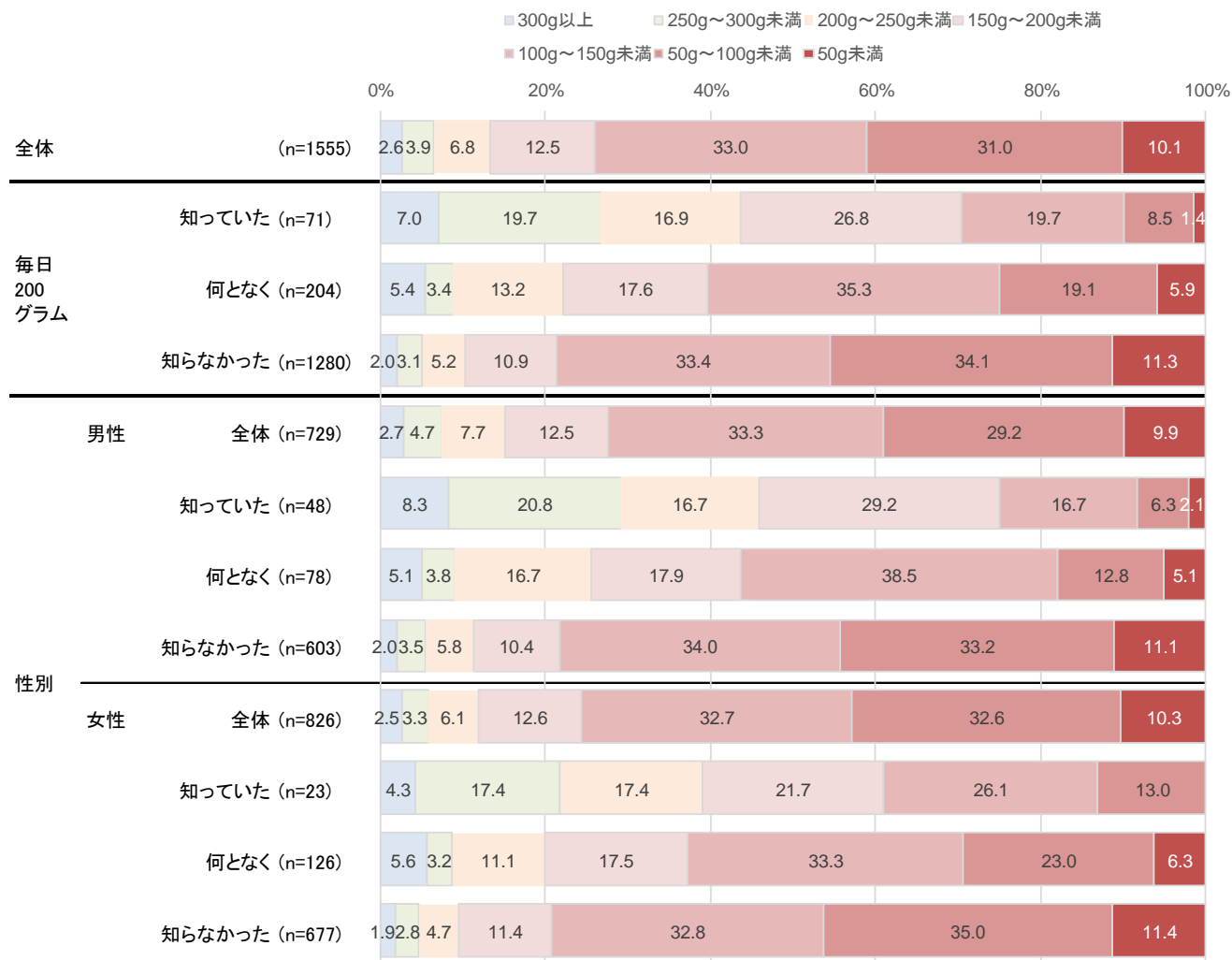
全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### ②-3 果物消費拡大施策の認知（認知別の果物摂取量）

- 以下は、『毎日200グラム』の商品拡大施策認知の有無別の、一日平均果物摂取量を整理したものである。  
一日平均200グラム以上の摂取者割合は、『毎日200グラムを知っていた』では4割を超えるのに対して、『何となく』認知者では約2割、『知らなかった』層では約1割となっており、消費拡大施策認知者ほど果物摂取量が多くなっている。
- 男女別にみても、下図の通り、同様の傾向が認められる。





#### (4) 果物消費拡大施策について まとめ

- 果物購入時の希望情報では、「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」がトップ2。
- 高年代層では「残留農薬」への関心も高い。
- 果物消費拡大施策に関する事柄の中では、「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」ことの認知が唯一1割を超えたが、全般的に認知が低い。
- 『毎日200グラム』訴求の認知者ほど、一日平均果物摂取量が多い。  
→果物消費拡大を実現するためには、さらなる訴求が必須であると考えられる。

- 果物購入時の希望情報では、「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」がともに4割台半ばでトップ2。「鮮度の見分け方」が続く。(p44)
- 令和元年度結果と比較すると、「美味しい果物の見分け方」がやや増加。(p44)
- 女性は「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」の割合が、男性より顕著に高い。(p44)
- 年代が高いほど「残留農薬」の割合が高くなる傾向。(p44)
- 果物消費拡大施策に関する事柄の中では、「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」ことの認知が14.6%と1割を超えたが、「『毎日くだもの200グラム!』という標語」「『毎日くだもの200グラム運動』のロゴマーク」「機能性表示をしているものがある」の認知は1割未満にとどまった。(p45)
- 20代の認知が比較的高く、特に「国は健康増進のために果物を毎日200グラム食べることを勧めている」の認知は2割超。(p46)
- 全ての事柄で摂取量が多いほど認知が高くなる傾向が顕著。(p46)
- 『毎日200グラム』施策認知者では、一日平均果物摂取量200グラム以上の割合が約4割に及んでいる。(p47)

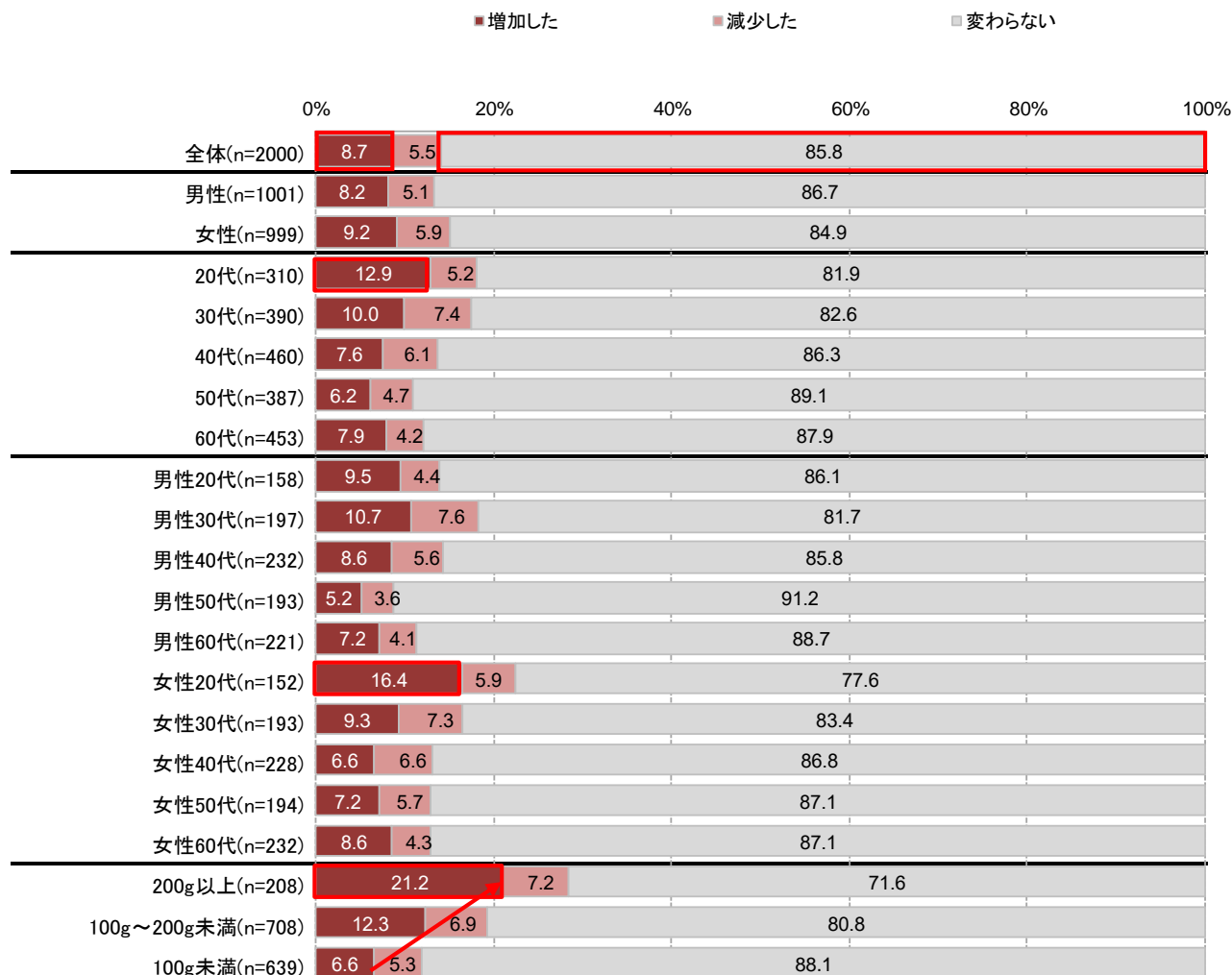
## (5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響

### ①新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化

- 全体では「変わらない」が8割台半ばを占める。次いで、「増加した」が1割弱となった。
- 年代別で見ると、『20代』では「増加した」の割合が1割を超えており、他の年代よりやや高い。
- 性別×年代で見ると、『女性20代』では「増加した」の割合が1割台半ばで、他の層より高い。
- 果物摂取量別で見ると、摂取量が多いほど「増加した」の割合が高くなる傾向で、『200g以上』の層では2割を超えた。

Q17. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、果物の摂取量は変化しましたか。(SA)

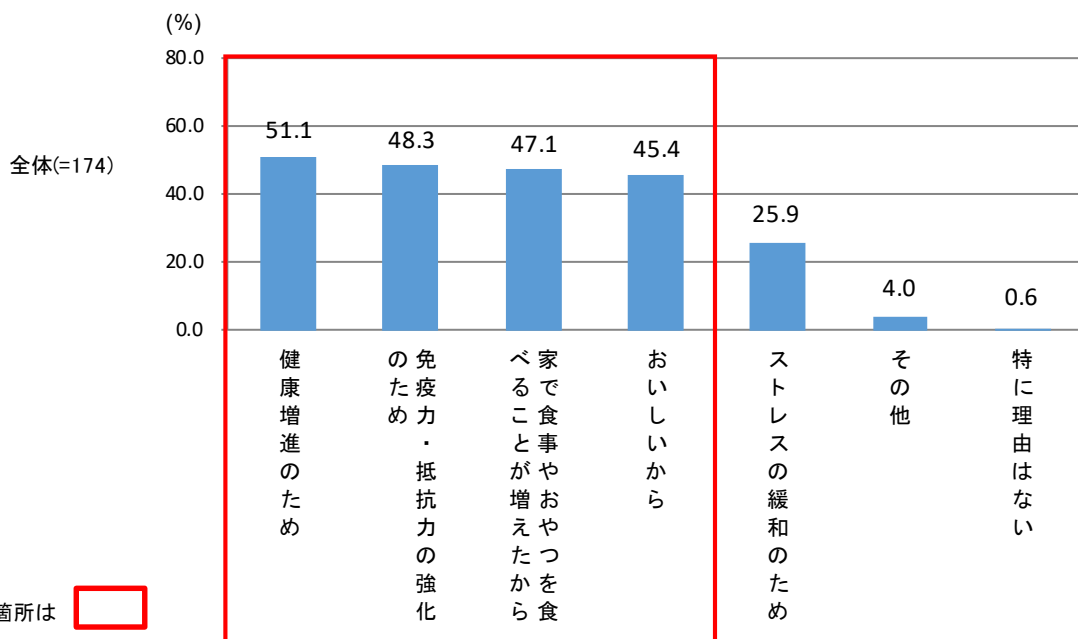
※コメントで触れている箇所は



②摂取量増加者の増加理由〔果物摂取量増加層〕

- 全体では「健康増進のため」が5割強で最も高く、次いで、「免疫力・抵抗力の強化のため」「家で食事やおやつを食べることが増えたから」「おいしいから」の順で続く。
- 性別でみると、『男性』は「健康増進のため」が『女性』より顕著に高い。一方、『女性』は「免疫力・抵抗力の強化のため」「家で食事やおやつを食べることが増えたから」が『男性』より顕著に高い。

Q18. 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。増えた理由は何ですか。(MA)



※コメントで触れている箇所は



		全体 (n=174)	51.1	48.3	47.1	45.4	25.9	4.0	0.6
性別	男性 (n=82)	57.3	41.5	42.7	41.5	23.2	2.4	1.2	
	女性 (n=92)	45.7	54.3	51.1	48.9	28.3	5.4	0.0	
年代	20代 (n=40)	55.0	42.5	40.0	45.0	32.5	2.5	0.0	
	30代 (n=39)	46.2	43.6	46.2	43.6	23.1	2.6	2.6	
	40代 (n=35)	51.4	42.9	51.4	45.7	17.1	5.7	0.0	
	50代 (n=24)	54.2	58.3	45.8	62.5	45.8	0.0	0.0	
	60代 (n=36)	50.0	58.3	52.8	36.1	16.7	8.3	0.0	
性別年代	男性20代 (n=15)	73.3	40.0	26.7	33.3	20.0	6.7	0.0	
	男性30代 (n=21)	61.9	33.3	42.9	33.3	23.8	0.0	4.8	
	男性40代 (n=20)	40.0	40.0	55.0	45.0	10.0	0.0	0.0	
	男性50代 (n=10)	50.0	50.0	50.0	70.0	50.0	0.0	0.0	
	男性60代 (n=16)	62.5	50.0	37.5	37.5	25.0	6.3	0.0	
	女性20代 (n=25)	44.0	44.0	48.0	52.0	40.0	0.0	0.0	
	女性30代 (n=18)	27.8	55.6	50.0	55.6	22.2	5.6	0.0	
	女性40代 (n=15)	66.7	46.7	46.7	46.7	26.7	13.3	0.0	
女性50代 (n=14)	57.1	64.3	42.9	57.1	42.9	0.0	0.0		
女性60代 (n=20)	40.0	65.0	65.0	35.0	10.0	10.0	0.0		
果物摂取量	200g以上 (n=44)	61.4	52.3	52.3	45.5	38.6	2.3	0.0	
	100g~200g未満 (n=87)	48.3	48.3	49.4	43.7	20.7	4.6	1.1	
	100g未満 (n=42)	47.6	45.2	38.1	50.0	23.8	2.4	0.0	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

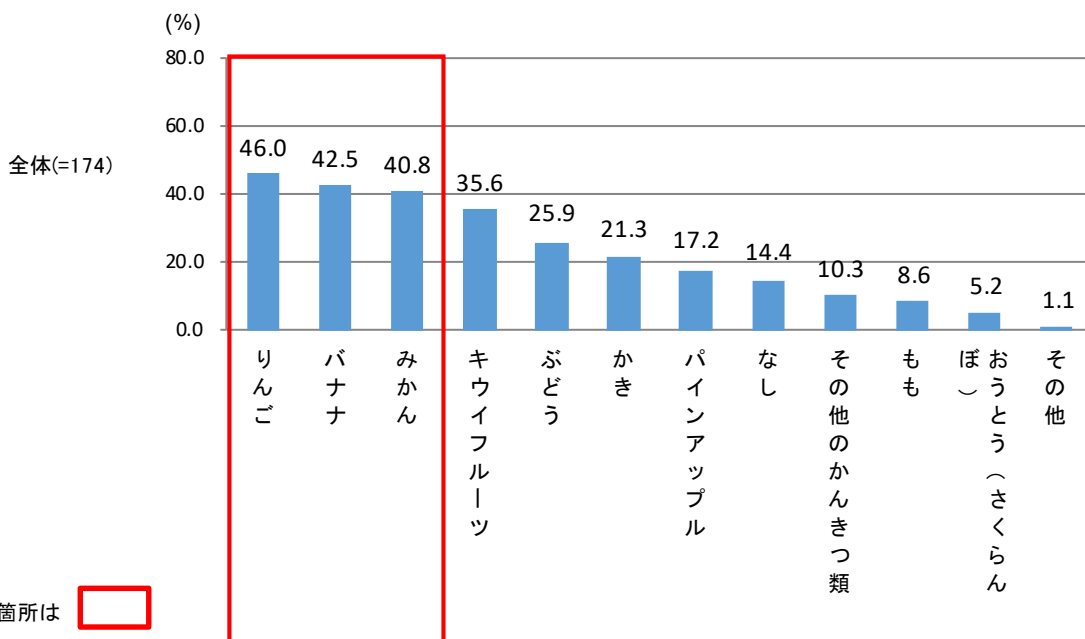
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### ③摂取量が増加した品目〔果物摂取量増加層〕

- 全体では「りんご」が4割台半ばで最も高い。次いで、「バナナ」「みかん」が4割超で続く。
- 性別でみると、『女性』は「キウイフルーツ」の割合が『男性』より顕著に高い。
- 果物摂取量別でみると、『200g以上』の層では「りんご」が5割台後半で、他の層より顕著に高い。

Q19. 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。どんな果物の摂取が増えましたか。(MA)



※コメントで触れている箇所は

		全体	(n=174)	46.0	42.5	40.8	35.6	25.9	21.3	17.2	14.4	10.3	8.6	5.2	1.1
性別	男性	(n=82)	43.9	42.7	40.2	30.5	28.0	17.1	20.7	17.1	13.4	12.2	7.3	1.2	
	女性	(n=92)	47.8	42.4	41.3	40.2	23.9	25.0	14.1	12.0	7.6	5.4	3.3	1.1	
年代	20代	(n=40)	40.0	25.0	45.0	27.5	30.0	10.0	22.5	17.5	7.5	10.0	2.5	2.5	
	30代	(n=39)	53.8	41.0	43.6	38.5	28.2	25.6	17.9	15.4	12.8	5.1	7.7	0.0	
	40代	(n=35)	40.0	40.0	31.4	34.3	14.3	22.9	14.3	22.9	8.6	8.6	8.6	0.0	
	50代	(n=24)	45.8	54.2	45.8	50.0	20.8	20.8	16.7	4.2	8.3	16.7	0.0	0.0	
	60代	(n=36)	50.0	58.3	38.9	33.3	33.3	27.8	13.9	8.3	13.9	5.6	5.6	2.8	
性別年代	男性20代	(n=15)	46.7	26.7	40.0	26.7	26.7	13.3	26.7	13.3	13.3	20.0	6.7	0.0	
	男性30代	(n=21)	57.1	47.6	57.1	33.3	23.8	19.0	23.8	14.3	19.0	4.8	9.5	0.0	
	男性40代	(n=20)	35.0	40.0	35.0	15.0	20.0	10.0	15.0	30.0	10.0	10.0	5.0	0.0	
	男性50代	(n=10)	40.0	40.0	20.0	50.0	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	30.0	0.0	0.0	
	男性60代	(n=16)	37.5	56.3	37.5	37.5	37.5	25.0	18.8	12.5	12.5	6.3	12.5	6.3	
	女性20代	(n=25)	36.0	24.0	48.0	28.0	32.0	8.0	20.0	20.0	4.0	4.0	0.0	4.0	
	女性30代	(n=18)	50.0	33.3	27.8	44.4	33.3	33.3	11.1	16.7	5.6	5.6	5.6	0.0	
	女性40代	(n=15)	46.7	40.0	26.7	60.0	6.7	40.0	13.3	13.3	6.7	6.7	13.3	0.0	
	女性50代	(n=14)	50.0	64.3	64.3	50.0	7.1	21.4	14.3	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	
女性60代	(n=20)	60.0	60.0	40.0	30.0	30.0	30.0	10.0	5.0	15.0	5.0	0.0	0.0		
果物摂取量	200g以上	(n=44)	56.8	40.9	47.7	36.4	34.1	25.0	27.3	20.5	18.2	15.9	15.9	2.3	
	100g~200g未満	(n=87)	47.1	46.0	37.9	37.9	24.1	21.8	16.1	16.1	6.9	8.0	2.3	0.0	
	100g未満	(n=42)	33.3	35.7	40.5	31.0	19.0	14.3	9.5	4.8	9.5	2.4	0.0	2.4	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

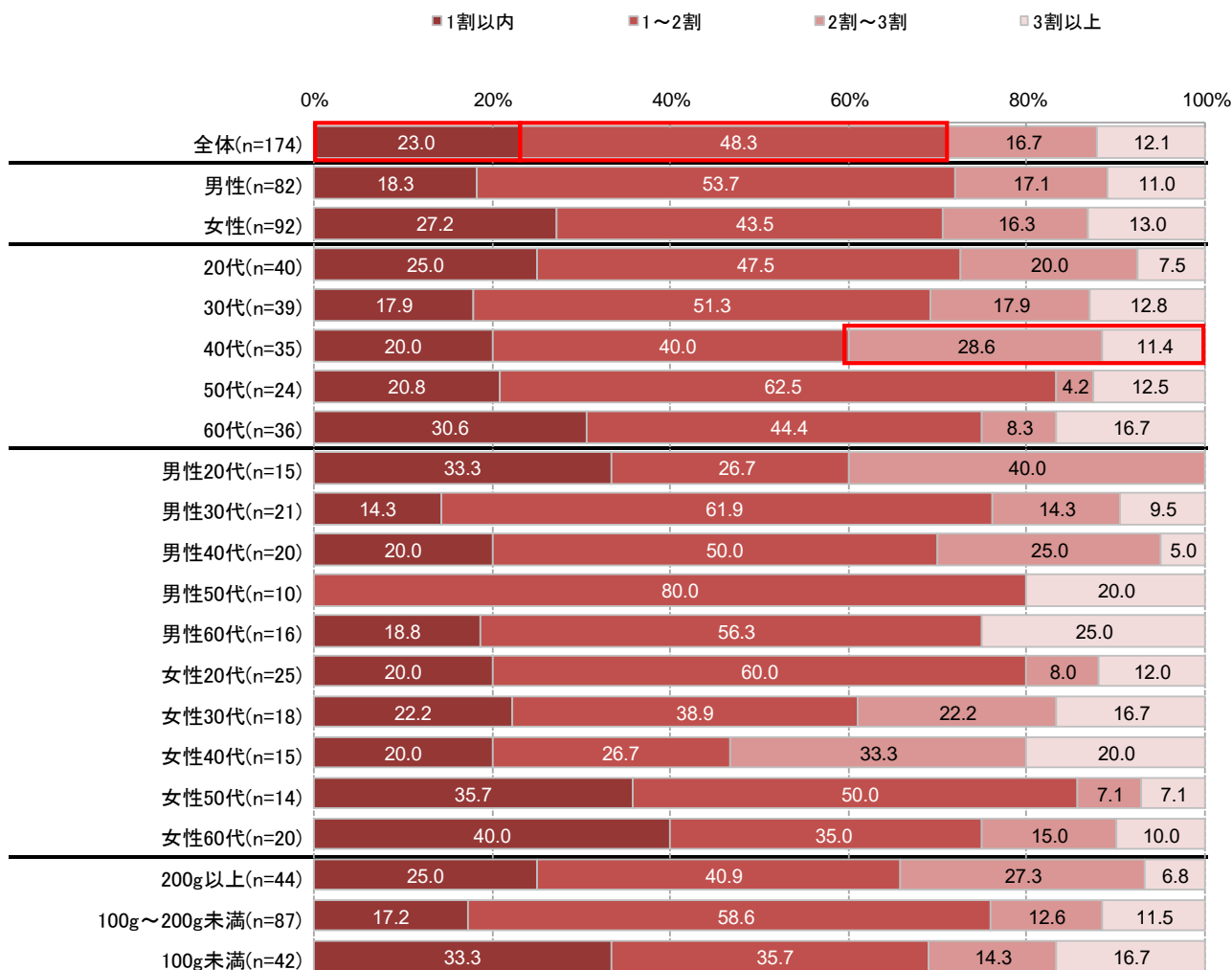
全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### ④摂取の増加量 [果物摂取量増加層]

- 全体では「1～2割」が4割台後半で最も高い。次いで、「1割以内」が2割台前半で、2割以内が7割強を占めた。
- 年代別でみると、『40代』では2割以上の割合が4割で、他の年代より高い。

Q20. 果物の摂取量が増えた方にお聞きます。以前と比べてどの程度増えましたか。 (SA)

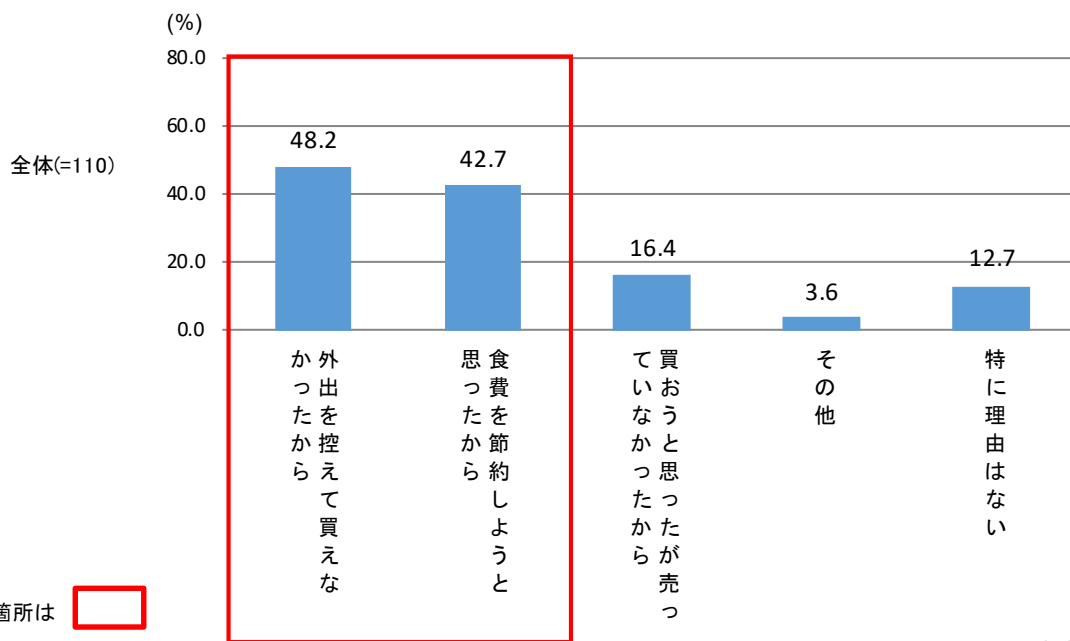
※コメントで触れている箇所は



⑤摂取量減少者の減少理由〔果物摂取量減少層〕

- 全体では「外出を控えて買えなかったから」が4割台後半で最も高い。次いで、「食費を節約しようと思ったから」が4割台前半で続く。
- 性別で見ると、『男性』は「買おうと思ったが売っていなかったから」が『女性』より顕著に高い。一方、『女性』は「食費を節約しようと思ったから」が『男性』より顕著に高い。

Q 2 1. 果物の摂取量が減った方にお聞きます。減った理由は何ですか。(MA)



※コメントで触れている箇所は

		全体 (n=110)	48.2	42.7	16.4	3.6	12.7
性別	男性 (n=51)	49.0	35.3	23.5	3.9	13.7	
	女性 (n=59)	47.5	49.2	10.2	3.4	11.9	
年代	20代 (n=16)	31.3	37.5	0.0	6.3	31.3	
	30代 (n=29)	62.1	51.7	6.9	0.0	3.4	
	40代 (n=28)	39.3	35.7	21.4	7.1	17.9	
	50代 (n=18)	55.6	38.9	33.3	0.0	11.1	
	60代 (n=19)	47.4	47.4	21.1	5.3	5.3	
性別年代	男性20代 (n=7)	28.6	28.6	0.0	0.0	42.9	
	男性30代 (n=15)	66.7	33.3	13.3	0.0	6.7	
	男性40代 (n=13)	46.2	30.8	38.5	7.7	15.4	
	男性50代 (n=7)	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0	
	男性60代 (n=9)	33.3	55.6	22.2	11.1	11.1	
	女性20代 (n=9)	33.3	44.4	0.0	11.1	22.2	
	女性30代 (n=14)	57.1	71.4	0.0	0.0	0.0	
	女性40代 (n=15)	33.3	40.0	6.7	6.7	20.0	
女性50代 (n=11)	54.5	45.5	27.3	0.0	18.2		
女性60代 (n=10)	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0		
果物摂取量	200g以上 (n=15)	53.3	33.3	26.7	0.0	13.3	
	100g~200g未満 (n=49)	57.1	42.9	16.3	4.1	8.2	
	100g未満 (n=34)	47.1	41.2	11.8	2.9	14.7	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

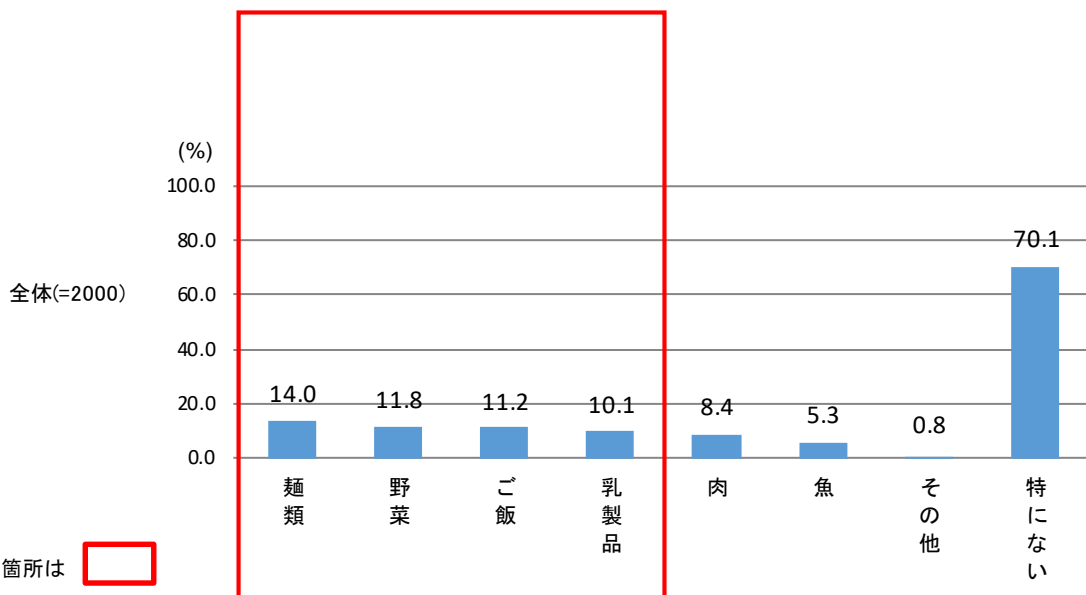
全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

### ⑥-1 果物以外で摂取が増えた食品

- 全体では「麺類」が1割台半ばで最も高い。次いで、「野菜」「ご飯」「乳製品」が1割以上となった。
- 性別×年代でみると、『女性20代』では「麺類」が2割を超えており、他の層より高い。
- 果物摂取量別でみると、摂取量が多いほど「野菜」「ご飯」「肉」「魚」の割合が高くなる傾向が見られる。

Q 2 2. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って摂取が増えた食品、減った食品はありますか。(MA)



※コメントで触れている箇所は

		全体 (n=2000)	14.0	11.8	11.2	10.1	8.4	5.3	0.8	70.1
性別	男性 (n=1001)		12.5	11.8	10.5	8.8	9.2	5.1	0.8	72.0
	女性 (n=999)		15.4	11.8	11.8	11.3	7.5	5.4	0.7	68.2
年代	20代 (n=310)		18.4	15.2	14.5	10.6	12.9	6.1	0.3	63.9
	30代 (n=390)		17.7	13.1	15.1	13.6	8.7	6.9	0.8	63.1
	40代 (n=460)		11.1	10.4	11.5	7.0	7.4	3.7	0.4	73.3
	50代 (n=387)		13.2	7.8	9.0	9.6	6.5	4.1	1.3	74.9
	60代 (n=453)		11.3	13.2	6.8	10.2	7.5	5.7	0.9	73.1
性別年代	男性20代 (n=158)		14.6	15.2	13.3	8.9	15.8	5.7	0.0	69.0
	男性30代 (n=197)		15.7	13.7	15.2	13.2	10.2	7.1	1.0	61.9
	男性40代 (n=232)		11.2	12.1	10.3	5.6	8.6	3.0	0.4	74.6
	男性50代 (n=193)		11.4	6.2	7.8	7.8	6.7	4.7	1.6	76.2
	男性60代 (n=221)		10.4	12.2	6.8	9.0	6.3	5.4	0.9	76.9
	女性20代 (n=152)		22.4	15.1	15.8	12.5	9.9	6.6	0.7	58.6
	女性30代 (n=193)		19.7	12.4	15.0	14.0	7.3	6.7	0.5	64.2
	女性40代 (n=228)		11.0	8.8	12.7	8.3	6.1	4.4	0.4	71.9
女性50代 (n=194)		14.9	9.3	10.3	11.3	6.2	3.6	1.0	73.7	
女性60代 (n=232)		12.1	14.2	6.9	11.2	8.6	6.0	0.9	69.4	
果物摂取量	200g以上 (n=208)		22.6	20.7 ↑	19.2 ↑	13.9	13.5 ↑	10.1 ↑	1.0	53.8
	100g~200g未満 (n=708)		14.7	14.7	12.1	14.0	9.9	6.8	0.8	65.8
	100g未満 (n=639)		14.9	11.1	11.0	9.7	7.8	4.1	0.3	69.8

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

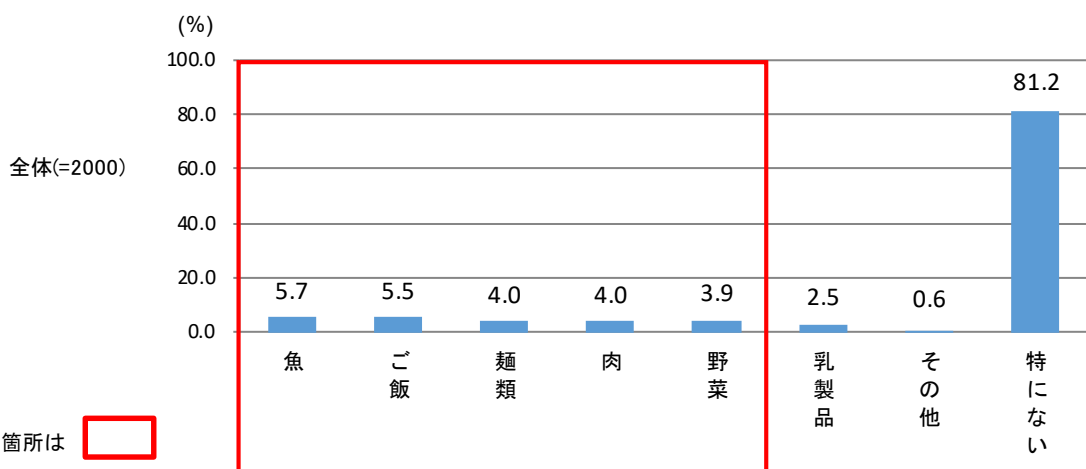
全体と比べて5~10ポイント未満低い。



### ⑥-2 果物以外で摂取が減った食品

- 全体では「魚」「ご飯」がほぼ並び、「麺類」「肉」「野菜」が僅差で続くが、いずれも1割未満にとどまった。
- 果物摂取量別でみると、摂取量が多いほど「ご飯」「肉」「野菜」の割合が高くなる傾向が見られる。

Q 2 2. 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って摂取が増えた食品、減った食品はありますか。(MA)



※コメントで触れている箇所は

		全体	(n=2000)	5.7	5.5	4.0	4.0	3.9	2.5	0.6	81.2
性別	男性	(n=1001)	5.5	5.2	4.3	3.6	3.8	2.4	0.3	81.2	
	女性	(n=999)	5.8	5.7	3.6	4.3	3.9	2.6	0.8	81.2	
年代	20代	(n=310)	8.4	7.7	5.5	2.9	5.8	4.5	0.3	73.5	
	30代	(n=390)	7.7	4.6	5.9	5.1	5.9	3.1	0.8	77.2	
	40代	(n=460)	4.8	4.8	3.5	3.5	3.7	1.5	0.4	83.3	
	50代	(n=387)	3.6	5.4	3.9	3.9	1.8	1.8	0.8	83.7	
	60代	(n=453)	4.6	5.3	1.8	4.2	2.6	2.2	0.4	85.7	
性別年代	男性20代	(n=158)	7.6	5.7	3.2	0.6	7.0	5.1	0.0	78.5	
	男性30代	(n=197)	7.1	6.1	8.1	5.6	6.1	2.0	0.5	74.6	
	男性40代	(n=232)	5.2	4.3	3.0	3.4	3.9	2.2	0.4	81.9	
	男性50代	(n=193)	4.1	5.7	5.2	3.1	2.1	2.6	0.0	81.9	
	男性60代	(n=221)	4.1	4.5	2.3	4.5	0.9	0.9	0.5	87.8	
	女性20代	(n=152)	9.2	9.9	7.9	5.3	4.6	3.9	0.7	68.4	
	女性30代	(n=193)	8.3	3.1	3.6	4.7	5.7	4.1	1.0	79.8	
	女性40代	(n=228)	4.4	5.3	3.9	3.5	3.5	0.9	0.4	84.6	
女性50代	(n=194)	3.1	5.2	2.6	4.6	1.5	1.0	1.5	85.6		
女性60代	(n=232)	5.2	6.0	1.3	3.9	4.3	3.4	0.4	83.6		
果物摂取量	200g以上	(n=208)	8.7	12.5	4.3	9.1	6.7	4.8	0.5	66.8	
	100g~200g未満	(n=708)	5.6	6.1	4.7	4.2	4.7	2.3	0.7	78.8	
	100g未満	(n=639)	5.8	5.2	4.4	2.7	2.5	2.3	0.5	82.9	

全体と比べて10ポイント以上高い。

全体と比べて5~10ポイント未満高い。

全体と比べて10ポイント以上低い。

全体と比べて5~10ポイント未満低い。

## (5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響 まとめ

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、果物摂取量が「増加した」人は全体の1割弱。
  - 果物摂取量が多い層では「増加した」割合が高い。
  - 摂取量増加者の理由は「健康増進のため」「免疫力・抵抗力の強化のため」「家で食事やおやつを食べることが増えたから」など。
  - 摂取量が増加した品目は「りんご」「バナナ」「みかん」など。
  - 摂取増加量は2割以内が7割強を占める。
  - 摂取量減少者の理由は「外出を控えて買えなかったから」「食費を節約しようと思ったから」など。
- 
- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う果物摂取量の変化では、大半が「変わらない」。「増加した」(8.7%)が「減少した」(5.5%)を若干ながら上回った。(p50)
  - 20代では、「増加した」が12.9%と1割を上回った。(p50)
  - 果物摂取量が多い層では「増加した」割合が2割超。(p50)
  - 摂取量増加者の理由では「健康増進のため」(51.1%)、「免疫力・抵抗力の強化のため」(48.3%)、「家で食事やおやつを食べることが増えたから」(47.1%)がトップ3。(p51)
  - 男性は「健康増進のため」、女性は「免疫力・抵抗力の強化のため」「家で食事やおやつを食べることが増えたから」が高い。(p51)
  - 摂取量が増加した品目は「りんご」(46.0%)、「バナナ」(42.5%)、「みかん」(40.8%)がトップ3。(p52)
  - 女性は「キウイフルーツ」の割合が男性より顕著に高い。(p52)
  - 果物摂取量が多い層では「りんご」の割合が特に高い。(p52)
  - 摂取増加量では「1～2割」が48.3%を占め、2割以内が7割強。(p53)
  - 摂取量減少者の減少理由では「外出を控えて買えなかったから」(48.2%)、「食費を節約しようと思ったから」(42.7%)がトップ2。(p54)
  - 男性は「買おうと思ったが売っていなかったから」、女性は「食費を節約しようと思ったから」が高い。(p54)
  - 果物以外で摂取が増えた食品は、「麺類」「野菜」「ご飯」「乳製品」など。(p55)
  - 一方、果物以外で摂取が減った食品は、「魚」「ご飯」「麺類」「肉」「野菜」などだが、いずれも1割未満。(p56)

## 2. アンケート調査の分析結果 ー (5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響



## (1) 日常の果物の消費行動について

- 果物を200g以上摂取できている人の割合は13.4%（令和元年度調査14.8%からやや減少）。
- 果物の（ほぼ）毎日摂取者は24.2%と令和元年度調査（25.8%）から微減だが、週1回以上摂取者は60.5%（同58.8%）から微増。
- 女性、高齢層は、男性、若年層よりも摂取頻度が高い。



女性・高齢層では摂取頻度・摂取量などが堅調だが、相対的に他の層は低調。また、高価格感が購入手控えの背後にある他、喫食方法の広がりもみられない。低消費層の底上げには、果物の楽しみ方など、新たな切り口の魅力アピールなども考慮に値する。

## (2) 今後の果物の摂取意向

- 3人に1人（35.1%）は果物の摂取量を増やしたいと考えているが、その割合は前回から減少。特に男性、高齢層では増加意向が低調。
- 摂取量増大への要望では、「簡単に食べられる」「割安」の他、ヘビーユーザーでは「新鮮」「高くてもおいしい」などが挙げられる。



摂取意向の弱含み傾向がみられる点には注意が必要。消費拡大への需要喚起方向が、低意向層とヘビーユーザーとで二分化している可能性を考え、消費の動向に応じたきめ細かい、多様な施策の展開が望まれる。

### (3) 果樹振興法14品目について

- 月に1回以上喫食している割合が高い品目は「りんご」と「みかん」。
- 今後、購入量を増やしたい品目でもトップ2は「みかん」「りんご」



「みかん」「りんご」という国産果実の両巨頭が、果物消費のけん引役となっていることが示されている。他の果物への波及を期待する意味でも、ベーシックな国産果実の消費拡大へのモチベーションを持たせていく必要がある。

### (4) 果物消費拡大施策について

- 希望情報は、「食べごろの見分け方」「美味しい果物の見分け方」、高年代層では「残留農薬」も。
- 果物消費拡大施策の認知は総じて低調。最多の「毎日200グラム」でも1割。



果物情報に関しては、果物の味、食べごろなど“品質”に関するものの希望が強いことが示されており、この点の強化が望まれている。  
このような消費者の知りたい情報と併せて、消費者の理解を十分得られていない健康に関する情報を興味を持てるような形で提供するなど果物の消費拡大に向けた一層の取組が必要である。

### (5) コロナウィルス感染症の果物消費への影響

- 新型コロナウイルスの感染拡大に関連して、1割近くが果物摂取量が増加。
- 増加理由は「健康増進」に加え「免疫力・抵抗力の強化」や「家食の増加」も寄与。
- 一方、摂取量減少理由は「外出控え」「食費節約」など。



新型コロナウイルスは、人々の健康認識を一変させた。直接的な需要拡大は大きなものではないが、ここで果物の持つ機能性を健康維持と結びつけることにより、果物そのものへの生活者の認識を一新する局面と捉えることも一考に値する。

### 3. 調査のまとめ





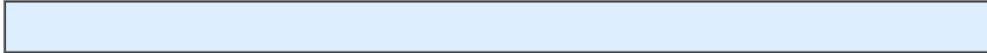
## 果物についてのアンケート

下記アンケートにご協力をお願いします。

### 当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの各欄にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いします。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう(掲示板やホームページへの書き込みを含む)、ご協力をお願いします。



このアンケートにおいて『果物』とは、  
 「生鮮果物」にカットフルーツ・果汁・フルーツゼリーなどの「果物加工品」を含めたものを指します。  
 「生鮮果物」及び「果物加工品」の主な例は、下記をご参照ください。  
 また、果汁(ジュース)については果汁100%のものに限ります(果実・野菜ミックスジュース(果物分10%以上)を含む)。

#### ※「生鮮果物」の主な例

・温州(うんしゅう)みかん	・りんご	・おとう(さくらんぼ)	・すもも	・いちご
・オレンジ	・ぶどう	・びわ	・キウイフルーツ	・すいか
・グレープフルーツ	・日本なし	・柿(かき)	・パインアップル	・メロン
・上記3種以外のかんきつ類 (いはかん、はっさく等)	・西洋なし(ラ・フランス等)	・栗(くり)	・いちじく	
	・もも	・うめ	・バナナ	

#### ※「果物加工品」の主な例

・果汁(ジュース)	・果物缶詰	・カットフルーツ	・ジャム類(フルーツジャム)	・ドライフルーツ
・フルーツゼリー	・フルーツヨーグルト	・フルーツケーキ		

- ①必須入力(全項目)

### 【現在の果物摂取についてお聞きします】

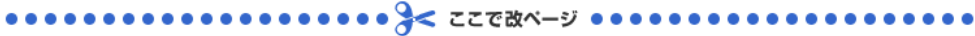
**Q1** あなたは果物(生鮮果物と果物加工品)をどの程度の頻度で買い、また食べますか。  
 【必須入力】

	1	2	3	4	5
	ほぼ毎日 5日以上	週3〜4日	週1〜2日	月1〜3日	ほとんど買わない／ 食べない月1日未満
1. 果物を買う頻度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 果物を食べる頻度 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- ・ セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ ①項目【1】 8\_FA: 必須入力
- ・ ①項目【2】 8\_FA: 必須入力
- ・ 包含チェック: 項目【1】×項目【2】  
包含チェックする選択肢: 1-8
- ・ SA 項目【2】

**Q2** 果物を食べるのはいつが多いですか。  
【必須入力】

	1 朝食時	2 昼食時	3 夕食時	4 間食のおやつ時	5 運動をした後	6 入浴後	7 のどが渴いた時	8 その他
1. 多い時間帯 (いくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に
2. その中で最も多い時間帯 (ひとつだけ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 具体的に



- ・ セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ ①項目【1】 9\_FA: 必須入力
- ・ ①項目【2】 9\_FA: 必須入力
- ・ 包含チェック: 項目【1】×項目【2】  
包含チェックする選択肢: 1-9
- ・ SA 項目【2】

**Q3** 果物を食べる理由は何ですか。  
【必須入力】

	1 健康に良いから	2 おいしく好きだから (嗜好品・デザートとして)	3 手頃な値段で買えるから	4 匂いや味覚を楽しめるから	5 美容に良いから	6 習慣になっっているから	7 手間がかからず いつでも食べられるから	8 安心して食べられるから	9 その他
1. あてはまる理由 (いくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に	
2. その中で最もあてはまる理由 (ひとつだけ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 具体的に	



- ・セレクト条件：【Q1項目2】で2-5と答えた方
- ・①必須入力(全項目)
- ・①項目【1】 10\_FA: 必須入力
- ・①項目【2】 10\_FA: 必須入力
- ・包含チェック: 項目【1】×項目【2】
- ・包含チェックする選択肢: 1-10
- ・SA 項目【2】

**Q4** 果物を(毎日)食べない理由は何ですか。  
【必須入力】

	1 あまり好きでないから	2 他に食べる食品があるから	3 食べるとき皮をむくのが手間がかかるから	4 太るといけないから	5 買い置きができないから	6 口持たせず	7 他の食品に比べて値段が高いから	8 味や甘みなどの品質が好みでないから	9 近くに買いやすい店がないから	10 その他
1. あてはまる理由(いくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. その中で最もあてはまる理由(ひとつだけ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



- ・セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ・①必須入力

**Q5** あなたが果物を食べる場合、一日あたりどの程度の量を食べていますか。  
※果物100gの目安…りんごなら半分、みかんなら1個、バナナなら1本に相当  
【必須入力】

- 1. 300g以上
- 2. 250g～300g未満
- 3. 200g～250g未満
- 4. 150g～200g未満
- 5. 100g～150g未満
- 6. 50g～100g未満
- 7. 50g未満



・ ①必須入力

【今後の果物摂取についての意向をお聞きます】

**Q6** あなたは今後、果物を食べる量を増やしたいと思いますか。  
【必須入力】

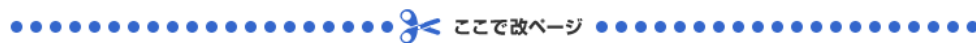
- 1. 増やしたい
- 2. 減らしたい
- 3. 特に変えようとは思わない



- ・ セレクト条件：【Q5】で4-7と答えた方
- ・ ①必須入力(全項目)
- ・ ①項目【1】 9\_FA: 必須入力
- ・ ①項目【2】 9\_FA: 必須入力
- ・ 包含チェック: 項目【1】×項目【2】
- ・ 包含チェックする選択肢: 1-9
- ・ 回答参照: 【Q5】
- ・ SA 項目【2】

**Q7** 国では一日に【【Q5の選択内容】】よりも多く果物を食べることを推奨しています。  
あなたが現状の果物摂取量にとどまっている理由をお教え下さい。  
【必須入力】

	1 甘すぎるから	2 他に食べる 食品があるから	3 食費に余裕がないから	4 値段が高く 量を食べられないから	5 一度にそんなに 太るといけないから	6 手間がかかるから	7 皮をむくまでに 食べるまでに	8 重くて購入が大変だから	9 あまり好きでないから	その他
1. あてはまる理由 (いくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. その中で最もあてはまる理由 (ひとつだけ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

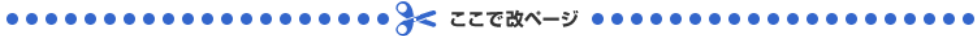


- セレクト条件：【Q1項目2】で1-4と答えた方
- ①必須入力(全項目)
- ①項目【1】 11\_FA: 必須入力
- ①項目【2】 11\_FA: 必須入力
- 包含チェック: 項目【1】×項目【2】
- 包含チェックする選択肢: 1-11
- SA 項目【2】

**Q8** あなたは主にどのような食べ方・手段で、果物を食べていますか？

当てはまるものをすべてお選びください。  
また、最も当てはまるものをひとつお選びください。  
【必須入力】

	1 そのまま	2 ヨーグルトに入れて	3 フルーツジュースとして	4 ケーキ・クレープなどのお菓子に入れて	5 ジャムとして	6 料理に使う	7 フルーツサラダとして	8 ゼリーとして	9 スムージーとして	10 ミルクをかけて	11 その他
1. あてはまるもの (いくつでも)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に <input type="text"/>
2. 最もあてはまるもの (ひとつだけ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 具体的に <input type="text"/>



- セレクト条件：【Q1項目2】で5と答えた方
- ①必須入力
- ①9\_FA: 必須入力

**Q9** どのような食べ方であれば、今までよりも多く果物を食べると思っていますか？

当てはまるものを全て選んでください。  
【必須入力】

- 1. 果物と野菜を組み合わせた手作りのミックスジュース/スムージー
- 2. 果物を食材のひとつとして調理した食事
- 3. 果汁(100%ジュース)
- 4. カットフルーツ
- 5. 果物を使ったスイーツ
- 6. 蒲団からテーブルの上においてある小腹満たし
- 7. 歩きながら手軽に食べられるもの
- 8. ヨーグルトをかけて/ヨーグルトの中に入れて
- 9. その他 (具体的に: )



- ①: 必須入力
- ①37\_FA: 必須入力

**Q10** あなたは果物にどのようなイメージがありますか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. おいしい
- 2. 甘い
- 3. 新鮮
- 4. 身体をつくるのに欠かせない食品
- 5. 毎日食べるべき食品
- 6. 健康を維持するのに欠かせない食品
- 7. 野菜の代わりにビタミンや食物繊維を摂取できる食品
- 8. 食事時に食べるデザート
- 9. 間食に食べるおやつ
- 10. 忙しい朝の手軽な食事
- 11. 季節を感じられる食品
- 12. 生活に彩りや間食を添えてくれる存在
- 13. 食べると気分転換になる
- 14. 家族に食べさせたい
- 15. おみやげ/贈り物に最適だ
- 16. 生活習慣病の予防になる
- 17. がん予防になる
- 18. メタボ予防になる
- 19. 疲労回復になる
- 20. ダイエットに適している
- 21. 美肌に効果がある
- 22. 健康によい
- 23. バランスがよい食生活になる
- 24. 栄養価が高い
- 25. 食物繊維が豊富
- 26. ビタミンが多い
- 27. 抗酸化成分が豊富
- 28. カリウムが豊富
- 29. 手軽に食べられる
- 30. 食べるまでが面倒(皮をむくなど)
- 31. 傷など見た目が気になる
- 32. 傷むのが早い(日持ちしない)
- 33. 太る
- 34. 値段が高い
- 35. 酸味
- 36. 産地や国産かどうか気になる
- 37. その他(具体的に: )



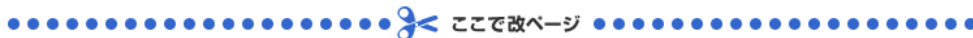
- ① 必須入力

**Q11** あなたにとって果物は、以下のどのカテゴリーに入る食べ物とお考えですか。もっとも近いと思うものをひとつ選んでください。

必ずひとつ選んでください。

【必須入力】

- 1. 主食(主となる食べ物)
- 2. 主菜(メインディッシュ)
- 3. 副菜(主菜に添えて出る惣菜)
- 4. デザート
- 5. お菓子(おやつ)

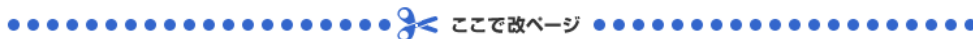


- ① 必須入力
- ① 17\_FA: 必須入力
- 排他選択肢: 18. 提供方法が変わっても、果物をより多く食べるようになることはない

**Q12** どのような果物が提供されれば、果物をより多く食べるようになると思いますか。(いくつでも)

【必須入力】

- 1. 色・形がよくて、見た目の美しい果物
- 2. 多少外観は悪くても割安な果物
- 3. 少々値段が高くても、おいしさが確かな果物(味がバラつきがない)
- 4. 皮がもきやすい、皮のまま食べられる、種がないなど簡単に食べられる果物(品種)
- 5. 健康や美容にいい(機能性の高い)果物
- 6. 今よりも1つの実が大ぶりの果物
- 7. 今よりも1つの実が小さめで1人分サイズの果物
- 8. 冷凍果物
- 9. カットフルーツやパックゼリーなど簡単に食べられる果物加工品
- 10. 産直(宅配)、直売などによるより新鮮な果物
- 11. 生産者、栽培履歴などの栽培情報がわかる果物
- 12. 農薬をできるだけ使っていない果物
- 13. 料理や調理方法に合った果物(品種)
- 14. 今までに食べたことがない(日本ではあまり食べることが出来ない)珍しい果物
- 15. 購入後傷みにくい果物(日持ちがする果物)
- 16. 季節を問わず、1年中購入できる果物
- 17. その他(具体的に: )
- 18. 提供方法が変わっても、果物をより多く食べるようになることはない





- ・ ①必須入力
- ・ マルチの選択数: 上限を設定→【3】個まで選択
- ・ 排他選択肢: 11. この中であてはまるものはない/わからない
- ・ 選択肢ランダムサイズ: 選択肢1-10

**Q13** 果物について知っておきたいことは何ですか。上位3つまでお答え下さい。

【必須入力】(3個まで選択)

- 1. 食べごころの見分け方
- 2. 美味しい果物の見分け方
- 3. 鮮度の見分け方
- 4. 栄養成分
- 5. 生活習慣病との関係
- 6. ダイエットとの関係
- 7. 適量
- 8. 機能性
- 9. 栽培方法
- 10. 残留農薬
- 11. この中であてはまるものはない/わからない

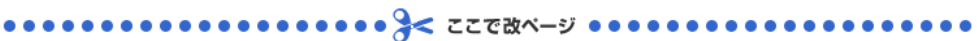


- ・ ①必須入力(全項目)

**Q14** 以下のそれぞれの食材について、あなたがそれを召し上がる量・頻度をお答えください。

【必須入力】

	1 ほぼ毎日	2 週に3~4日程	3 週に1~2日程	4 月に2~3日程	5 月に1日程	6 2~3ヶ月に1日程	7 ほとんど全く食べない
1. みかん →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. その他のかんきつ類 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. りんご →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. ぶどう →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. なし →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. もも →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. おうとう(さくらんぼ) →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. ひわ →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. かき →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. くり →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. うめ →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. すもも →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. キウイフルーツ →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14. バインアップル →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>



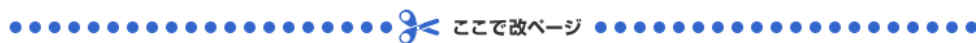
- ①必須入力
- 排他選択肢: 15. この中であてはまるものはない/わからない

Q15

以下のそれぞれの果物のうち、あなたが今後、買う量を増やしたいと思うものがありましたら、  
全てお答えください。

【必須入力】

- 1. みかん
- 2. その他のかんきつ類
- 3. りんご
- 4. ぶどう
- 5. なし
- 6. もも
- 7. おうとう(さくらんぼ)
- 8. びわ
- 9. かき
- 10. くり
- 11. うめ
- 12. すもも
- 13. キウイフルーツ
- 14. パインアップル
  
- 15. この中であてはまるものはない/わからない



・ ①必須入力(全項目)

**Q16** 以下の果物に関する事を、あなたはご存知でしたか。  
当てはまるものをそれぞれひとつずつお選びください。  
【必須入力】

	1 知っていた 見たことがある	2 何となく聞いたことがあ る 見たことがあ るような気がす る	3 知らなかった 見たことがな い
1. 国は健康増進のために果物を毎日200グラム(例えば、みかんであれば2個、りんごであれば1個程度)食べることを勧めている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 「毎日くだもの200グラム!」という標語	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 「毎日くだもの200グラム運動」のロゴマーク	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			
4. 機能性表示(みかんのβクリプトキサンチン、りんごのプロシアニジン)をしているものがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

●●●●●●●●●●  ここで改ページ ●●●●●●●●●●

・ ①必須入力

**Q17** 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、果物の摂取量は変化しましたか。  
【必須入力】

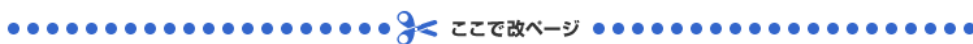
- 1. 増加した
- 2. 減少した
- 3. 変わらない

●●●●●●●●●●  ここで改ページ ●●●●●●●●●●

- ・ セレクト条件：【Q17】で1と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①6\_FA: 必須入力
- ・ 排他選択肢: 7. 特に理由はない
- ・ 選択肢ランダムイズ: 選択肢1-5

**Q18** 果物の摂取量が増えた方にお聞きします。増えた理由は何ですか。(いくつでも)  
【必須入力】

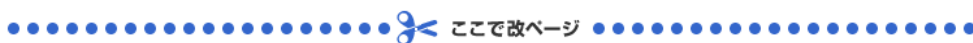
- 1. 家で食事やおやつを食べることが増えたから
- 2. 健康増進のため
- 3. 免疫力・抵抗力の強化のため
- 4. おいしいから
- 5. ストレスの緩和のため
- 6. その他(具体的に: )
- 7. 特に理由はない



- ・ セレクト条件：【Q17】で1と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ①12\_FA: 必須入力
- ・ 選択肢ランダムイズ: 選択肢1,3-11

**Q19** 果物の摂取量が増えた方にお聞きします。どんな果物の摂取が増えましたか。(いくつでも)  
【必須入力】

- 1. みかん
- 2. その他のかんきつ類
- 3. りんご
- 4. ぶどう
- 5. もも
- 6. おうとう(さくらんぼ)
- 7. なし
- 8. かき
- 9. キウイフルーツ
- 10. バインアップル
- 11. バナナ
- 12. その他(具体的に: )



- ・ セレクト条件：【Q17】で1と答えた方
- ・ ①必須入力

**Q20** 果物の摂取量が増えた方にお聞きします。以前と比べてどの程度増えましたか。  
【必須入力】

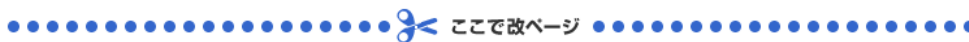
- 1. 1割以内
- 2. 1～2割
- 3. 2割～3割
- 4. 3割以上



- ・ セレクト条件：【Q17】で2と答えた方
- ・ ①必須入力
- ・ ④MFA: 必須入力
- ・ 排他選択肢: 5. 特に理由はない
- ・ 選択肢ランダムイズ: 選択肢1-3

**Q21** 果物の摂取量が減った方にお聞きします。減った理由は何ですか。(いくつでも)  
【必須入力】

- 1. 外出を控えて買えなかったから
- 2. 買おうと思ったが売っていなかったから
- 3. 食費を節約しようと思ったから
- 4. その他(具体的に: )
- 5. 特に理由はない



- ① 必須入力(全項目)
- ①項目【1】 7.FA: 必須入力
- ①項目【2】 7.FA: 必須入力
- 排他選択肢: 8. 特になし

**Q22** 新型コロナウイルスの感染拡大に伴って  
 摂取が増えた食品、減った食品はありますか。(それぞれいくつでも)  
 【必須入力】

	1 ご飯	2 麺類	3 野菜	4 肉	5 魚	6 乳製品	7 その他	8 特になし
1. 摂取が増えた食品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に	<input type="checkbox"/>
2. 摂取が減った食品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に	<input type="checkbox"/>

アンケートH以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
 送信ボタンを押してください。

送信